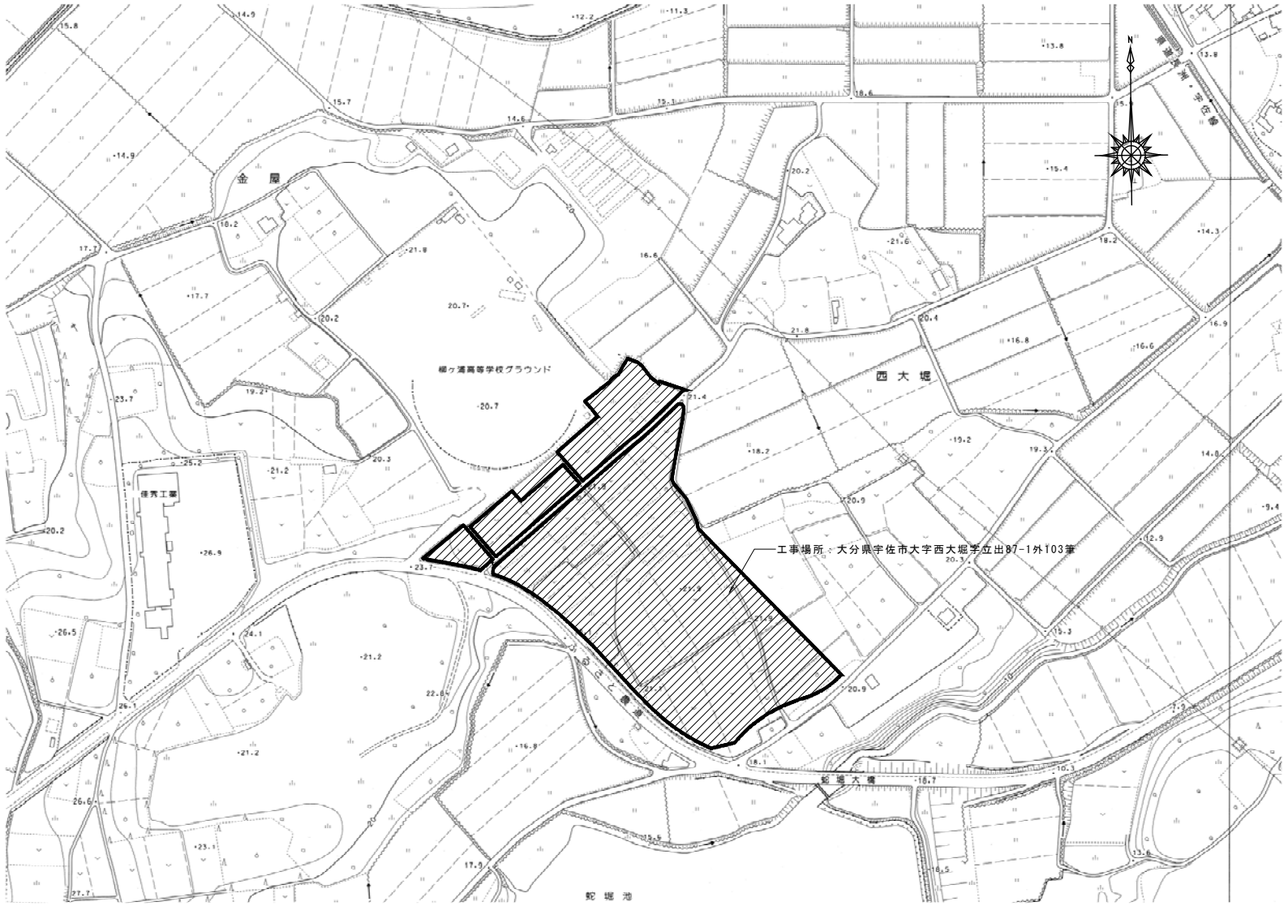
宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業
（管理棟外付属棟建設工事）

管理棟、屋外階段、渡り廊下

No.	図面名称	SCALE	No.	図面名称	SCALE	No.	図面名称	SCALE
N52-KA-13-A000	表紙・図面リスト		N52-KA-13-A034	展開図-8	1/50	S008	ベースパック柱脚工法 設計施工標準図(2)	－
N52-GR-13-G001	附近見取図	1/2,500	A035	展開図-9	1/50	S009	ベースパック柱脚工法 設計施工標準図(3)	－
G002	配置図	1/500	A036	求積図（１，２階個別面積）	1/100	S010	ＱＬデッキ設計施工標準図	－
G003	敷地求積図	1/500	A037	求積図（３階個別面積）	1/100	S011	ボーリング柱状図	－
G004	工事区分表	－	A038	LVS検討書	－	S012	杭伏図・基礎伏図	1/100
G005	現状地盤敷地平面図	1/500	A039	１、２階建具伏図	1/100	S013	ＲＣ部材リスト・ＲＣ雑詳細図	1/30
G006	全体地盤改良計画図	1/500	A040	３階建具伏図	1/100	S014	２階梁伏図・３階梁伏図	1/100
G007	管理棟地盤改良計画図	1/500	A041	建具表-１	1/50	S015	Ｒ階梁伏図	1/100
			A042	建具表-２	1/50	S016	鉄骨部材リスト・雑詳細図	1/30
A001	特記仕様書（1）	－	A043	建具表-３	1/50	S017	軸組図(1)	1/100
A002	特記仕様書（2）	－	A044	建具表-４	1/50	S018	軸組図(2)	1/100
A003	特記仕様書（3）	－	A045	昇降機設備図（１）	ｋ/50・1/20	S019	軸組図(3)	1/100
A004	特記仕様書（4）	－	A046	昇降機設備図（２）		S020	鉄骨詳細図	1/30
A005	特記仕様書（5）	－	A047	昇降機設備図（３）	1/20	S021	MAXウェヴレン標準仕様書（1）	－
A006	特記仕様書（6）	－	A048	昇降機設備図（４）	1/20	S022	MAXウェヴレン標準仕様書（2）	－
A007	欠番	－	A049	昇降機設備図（５）	1/10	S023	スーパーハリーＺＭタイプ標準図	－
A008	欠番		A050	移動間仕切詳細図	1/60	S024	ダイヤレンNS設計施工標準仕様書	－
A009	求積図	1/500	A051	シャッター詳細図-1	1/30	管理棟(屋外階段)		
A010	防火区画求積図	1/500	A052	シャッター詳細図-2	1/3	N52-KA-13-S051	構造特記仕様書	－
A011	外部仕上表-1	－	A053	シャッター詳細図-3	1/60	S052	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(1)	－
A012	内部仕上表-2	－	A054	シャッター詳細図-4	1/30	S053	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(2)	－
A013	１、２階平面図	1/100	A055	シャッター詳細図-5	1/3	S054	鉄骨工作標準図(1)	－
A014	３階平面図・屋根伏図	1/100	A056	シャッター詳細図-6	1/3	S055	鉄骨工作標準図(2)	－
A015	西、南、北立面図	1/100	A057	部分詳細図-１	1/3・5・10	S056	Hyper-MEGA工法標準図	－
A016	東立面図　断面図	1/100	A058	部分詳細図-２	1/3	S057	ベースパック柱脚工法 設計施工標準図(1)	－
A017	１、２階天井伏図	1/100	A059	部分詳細図-３	1/3・50	S058	ＱＬデッキ設計施工標準図	－
A018	３階天井伏図	1/100	A060	部分詳細図-４	1/10・20	S059	ボーリング柱状図	－
A019	矩計図(1)	1/50	A061	部分詳細図-５	1/3・20	S060	伏図	1/100
A020	矩計図(2)	1/50	A062	部分詳細図-６	1/3・10	S061	ＲＣ部材リスト・ＲＣ雑詳細図	1/30
A021	矩計図(3)	1/50	A063	部分詳細図-７	1/50	S062	軸組図	1/100
A022	矩計図(4)	1/50	A064	部分詳細図-８	1/3	S063	鉄骨部材リスト・雑詳細図	1/30
A023	矩計図(5)	1/50	A065	部分詳細図-９	1/3	S064	鉄骨詳細図	1/30
A024	１階平面詳細図	1/60	A066	部分詳細図-１０	1/3	S065	MAXウェヴレン標準仕様書（1）	－
A025	２階平面詳細図	1/60	A067	部分詳細図-１１	1/3	S066	MAXウェヴレン標準仕様書（2）	－
A026	３階平面詳細図	1/60	管理棟(本体棟)			S067	スーパーハリーＺＭタイプ標準図	－
A027	展開図-1	1/50	N52-KA-13-S001	構造特記仕様書	－	S068	ダイヤレンNS設計施工標準仕様書	－
A028	展開図-2	1/50	S002	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(1)	－	渡り廊下		
A029	展開図-3	1/50	S003	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(2)	－	N52-WA-13-S001	構造特記仕様書	－
A030	展開図-4	1/50	S004	鉄骨工作標準図(1)	－	S002	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(1)	－
A031	展開図-5	1/50	S005	鉄骨工作標準図(2)	－	S003	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(2)	－
A032	展開図-6	1/50	S006	Hyper-MEGA工法標準図	－	S004	鉄骨工作標準図(1)	－
A033	展開図-7	1/50	S007	ベースパック柱脚工法 設計施工標準図(1)	－	S005	鉄骨工作標準図(2)	－

付属棟（計量棟、ストックヤード棟、洗車場、屋外トイレ）

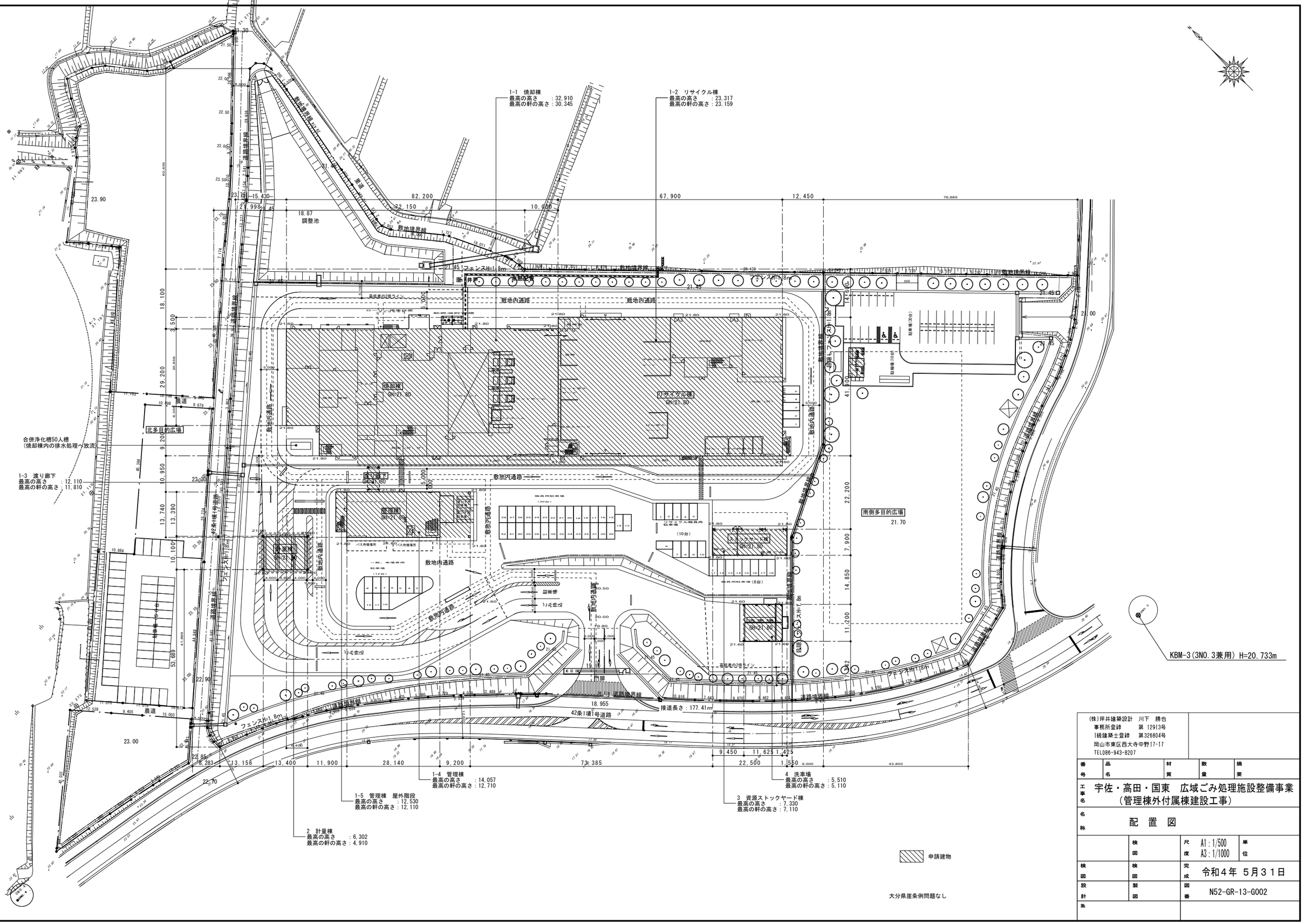
No.	図面名称	SCALE	No.	図面名称	SCALE	No.	図面名称	SCALE
S006	ＱＬデッキ合成スラブ 設計施工標準	－	A007	建具表・矩計図	1/50	屋外トイレ		
S007	ボーリング柱状図	－	N52-ST-13-S001	構造特記仕様書	－	N52-TO-13-A001	建築工事特記仕様書１	－
S008	梁伏図・軸組図	1/100	S002	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(1)	－	A002	建築工事特記仕様書２	－
S009	部材リスト	1/30	S003	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(2)	－	A003	建築工事特記仕様書３	－
S010	鉄骨詳細図	1/30	S004	鉄骨工作標準図(1)	－	A004	建築工事特記仕様書４	－
S011	MAXウェヴレン標準仕様書（1）	－	S005	鉄骨工作標準図(2)	－	A005	建築工事特記仕様書５	－
S012	MAXウェヴレン標準仕様書（2）	－	S006	ボーリング柱状図	－	A006	欠番	
S013	スーパーハリーＺＭタイプ標準図	－	S007	伏図	1/100	A007	欠番	
S014	ダイヤレンNS設計施工標準仕様書	－	S008	軸組図	1/100	A008	仕上表、平面図、立面図、建具表	1/100・1/50
			S009	部材リスト	1/30	A009	矩計図、展開図	1/50
			S010	鉄骨詳細図・架構配筋図	1/30	N52-TO-13-S001	構造特記仕様書	－
計量棟			S011	MAXウェヴレン標準仕様書（1）	－	S002	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(1)	－
N52-KE-13-A001	特記仕様書（1）	－	S012	MAXウェヴレン標準仕様書（2）	－	S003	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(2)	－
A002	特記仕様書（2）	－	S013	スーパーハリーＺＭタイプ標準図	－	S004	ボーリング柱状図	－
A003	特記仕様書（3）	－	S014	ダイヤレンNS設計施工標準仕様書	－	S005	伏図、軸組図、リスト	1/100・1/30
A004	特記仕様書（4）	－				S006	架構詳細図・1階壁曲げ補強筋詳細図	－
A005	特記仕様書（5）	－				S007	MAXウェヴレン標準仕様書（1）	－
A006	平面図・立面図・断面図	1/100				S008	MAXウェヴレン標準仕様書（2）	－
A007	矩計詳細図・建具表	1/50	洗車場			S009	スーパーハリーＺＭタイプ標準図	－
A008	計量機ピット図	1/30	N52-SN-13-A001	特記仕様書（1）	－	S010	ダイヤレンNS設計施工標準仕様書	－
N52-KE-13-S001	構造特記仕様書	－	A002	特記仕様書（2）	－			
S002	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(1)	－	A003	特記仕様書（3）	－			
S003	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(2)	－	A004	特記仕様書（4）	－			
S004	鉄骨工作標準図(1)	－	A005	特記仕様書（5）	－	防球ネット		
S005	鉄骨工作標準図(2)	－	A006	平面図・立面図・断面図	1/100	N52-TN-13-A001	防球ネット平面図	1/200
S006	合成スラブ設計施工標準		A007	矩計詳細図	1/50	A002	展開図	1/100
S007	ボーリング柱状図	－	N52-SN-13-S001	構造特記仕様書	－	A003	取付詳細図、基礎詳細図	1/15
S008	各伏図・ＲＣ部材リスト	1/100	S002	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(1)	－	A004	カーテン詳細図	1/15
S009	軸組図・Ｓ部材リスト	1/100	S003	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(2)	－			
S010	架構図・雑詳細図	1/30、50	S004	鉄骨工作標準図(1)	－			
S011	MAXウェヴレン標準仕様書	－	S005	鉄骨工作標準図(2)	－			
S012	スーパーハリーＺＭタイプ標準図	－	S006	ボーリング柱状図	－	焼却棟 エレベーター		
S013	ダイヤレンNS設計施工標準仕様書	－	S007	伏図	1/100	N52-EN-13-EV001	昇降機設備図(1)	－
			S008	軸組図	1/100	EV002	昇降機設備図(2)	1/20
			S009	部材リスト	1/30	EV003	昇降機設備図(3)	1/20
ストックヤード棟			S010	鉄骨詳細図・架構配筋図	1/30	EV004	昇降機設備図(4)	1/20・30
N52-ST-13-A001	特記仕様書（1）	－	S011	MAXウェヴレン標準仕様書（1）	－	EV005	昇降機設備図(5)	1/50
A002	特記仕様書（2）	－	S012	MAXウェヴレン標準仕様書（2）	－	EV006	昇降機設備図(6)	1/30
A003	特記仕様書（3）	－	S013	スーパーハリーＺＭタイプ標準図	－	EV007	昇降機設備図(7)	1/30
A004	特記仕様書（4）	－	S014	ダイヤレンNS設計施工標準仕様書	－	EV008	昇降機設備図(8)	1/15
A005	特記仕様書（5）	－						
A006	平面図・立面図・断面図	1/100						



(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
1級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）		
名称	付近見取図		
	検図	尺度	A1：1/2500 A3：1/5000
		単位	
検図	検図	完成	令和４年　５月３１日
設計	製図	図番	N52-GR-13-G001
施			



大分県崖条例問題なし

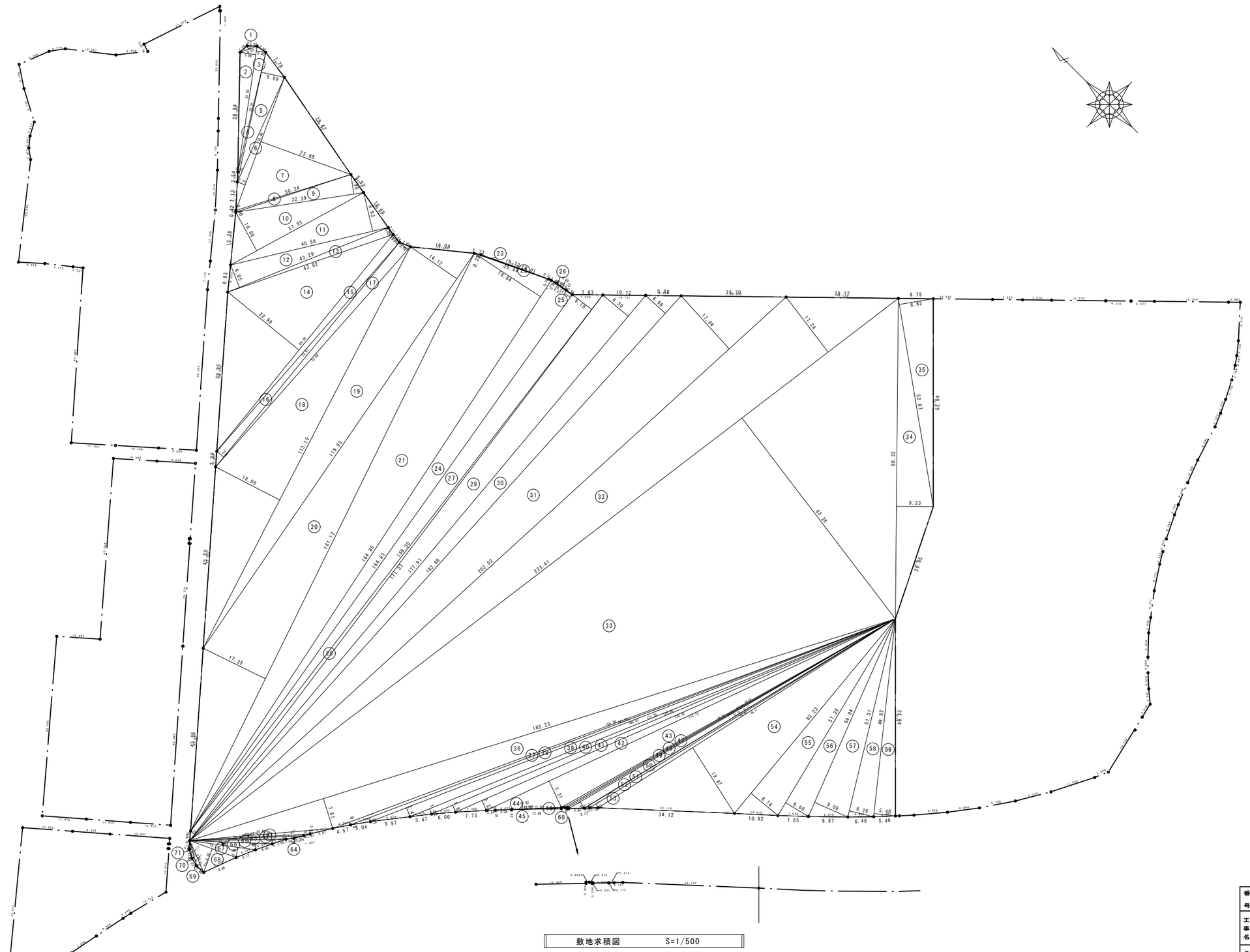
(株)坪井建築設計 川下 勝也
事務所登録 第 12913号
1級建築士登録 第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名 宇佐・高田・国東 広域ごみ処理施設整備事業
(管理棟外付属棟建設工事)

名称 配 置 図

	検図	尺度	A1:1/500 A3:1/1000
検図	検図	完成	令和4年 5月31日
設計	製図	図番	N52-GR-13-G002
施			



敷地求積図　　S=1/500

NO	底辺	高さ	倍面積
1	4.52	0.95	4.2940
2	31.83	3.98	126.6834
3	31.83	2.40	76.3920
4	33.22	0.42	13.9524
5	33.22	5.89	195.6658
6	35.48	2.10	74.5080
7	35.48	23.98	850.8104
8	30.34	0.40	12.1360
9	32.39	4.95	160.3305
10	37.93	10.98	416.4714
11	40.58	9.93	402.9594
12	43.29	6.05	261.9045
13	43.82	2.03	88.9546
14	69.98	22.99	1608.8402
15	69.98	2.49	174.2502
16	72.67	2.24	162.7808
17	73.58	2.79	205.2882
18	113.10	18.06	2042.5860
19	119.93	14.12	1693.4116
20	161.12	17.35	2795.4320
21	164.80	19.84	3269.6320
22	20.44	0.10	2.0440
23	19.72	0.22	4.3384
24	164.83	6.37	1049.9671
25	6.37	0.07	0.4459
26	4.42	0.15	0.6630
27	169.30	6.10	1032.7300
28	171.33	1.28	219.3024
29	177.91	8.30	1476.6530
30	183.66	6.66	1223.1756
31	202.02	17.94	3624.2388
32	223.41	17.34	3873.9294
33	223.41	63.28	14137.3848
34	80.23	9.23	740.5229
35	52.87	8.62	455.7394
36	185.23	7.81	1446.6463
37	150.36	0.72	108.2592
38	145.86	1.01	147.3186
39	140.93	2.41	339.6413
40	131.28	1.42	186.4176
41	126.00	1.87	235.6200
42	120.32	2.73	328.4736
43	113.12	7.31	826.9072
44	18.82	0.01	0.1882
45	16.58	0.02	0.3316
46	12.50	0.30	3.7500
47	96.05	0.40	38.4200
48	95.33	0.33	31.4589
49	94.74	0.38	36.0012
50	94.61	1.84	174.0824
51	91.25	0.09	8.2125
52	91.11	0.60	54.6660
53	90.06	1.10	99.0660
54	88.17	19.47	1716.6699
55	63.23	8.74	552.6302
56	57.36	6.68	383.1648
57	54.04	9.09	491.2236
58	51.01	6.26	319.3226
59	49.82	5.40	269.0280
60	0.40	0.22	0.0880
61	35.93	0.91	32.6963
62	30.14	0.34	10.2476
63	28.57	0.69	19.7133
64	4.55	0.20	0.9100
65	24.08	1.10	26.4880
66	20.64	1.68	34.6752
67	16.60	2.54	42.1640
68	12.37	6.30	77.9310
69	8.69	0.98	8.5162
70	6.57	0.64	4.2048
71	4.49	0.45	2.0205
		合計	50535.5727
		1/2	25267.78635
		面積	25267.79 ㎡

番号	品名	材質	数量	摘要
工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）			
名称	敷地求積図			
	検図	尺度	A1：1/500 A3：1/1000	単位
検図	検図	完成	令和4年 5月31日	
設計	製図	図番	N52-GR-13-G003	
風				

（株）坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

工　事　区　分　表

	工事項目	建築	電気	機械	プラント	外構	多目的広場	別途	備考
一般事項	仮設電力、上水道、通信使用料金	○	○	○	○	○	○		
	本受電後引き渡しまでの電気使用料金	○	○	○	○	○	○		各試運転等に使用分（それ以外はプラント）
	仮設電力、上水道、通信の引き込み負担金	○	○	○	○	○	○		
	仮設上水道の引込工事	○	○	○	○	○	○		
	仮設電気の引込工事	○	○	○	○	○	○		
	仮設電気の引込配管	○	○	○	○	○	○		
	同上引込柱	○	○	○	○	○	○		必要に応じて
	同上二次側配線接続	○	○	○	○	○	○		
	仮設通信引込工事	○	○	○	○	○	○		
貫通部	Ｓ造・ＲＣ造及びALC板のｽﾘｰﾌﾞ・箱入れ	○	○	○	○	○	○		位置は事前に打ち合わせを行うこと。
	同上貫通箇所の補強	○							
	防火区画、防火壁を貫通するﾀﾞｸﾄ･配管等の防火処理	○	○	○	○	○	○		
点検口	点検口（壁・天井）及び開口補強	○							
	同上位置出し	○	○	○	○				
天井埋込機器	照明器具・ｽﾋﾟｰｶｰ等の天井埋込機器の切込み及び開口補強	○							
	同上位置出し		○						
	吹出口・吸込み口空調機器等の天井埋込機器の切込み・及び開口補強・補修	○							
	同上位置出し			○					
換気扇	換気扇の取付工事（取付け枠共）			○					
	同上電気配管・配線（接続共）		○						
	同上ﾘﾓｰﾄｽｲｯﾁ取付		○						
	同上天井切込み及び補強・補修	○							
	同上位置出し			○					
	機器及びダクト			○					
	防火区画貫通部			○					
設備機器関係	設備機器（ﾀﾞｸﾄ・配管等）下の天井下地の吊ﾎﾞﾙﾄ支持及び補強	○							
	屋内外・屋上の設備機器の基礎及び仕上、床補強	○							
	同上ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄｾｯﾄ及び位置出し		○	○					
	屋上ハト小屋の躯体及び仕上	○							
	同上ﾀﾞｸﾄ・配管等施工後の穴埋め、塞ぎﾊﾞﾃﾙ（周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ共）の施工		○	○					
受変電設備	ｷｭｰﾋﾞｸﾙの架台（ＲＣ・Ｓ）一式	○							
	ｷｭｰﾋﾞｸﾙの機器・配管配線一式				○				
排水関係	建物雨水配管（外部）（設計ＧＬ以上）	○							
	同上（設計ＧＬ以下）			○					
	建物雨水配管（内部）（第一会所までのｺｺ引き管を含む）			○					
	屋外排水管（雨水）（桝共）			○					
	同上（汚水）（桝共）			○					
	同上（雑排水）（桝共）			○					
	玄関ﾎﾟｰﾁ、排水溝（排水穴開け共）	○							
	同上排水管（接続共）			○					
	地下ﾋﾟｯﾄ、外部通気口及び床排水管	○							
キッチンコンパクト	ｺﾝﾊﾟｸﾄｷｯﾁﾝ（ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ共）	○							
	同上電気設備工事		○						
	同上一次側電気配管・配線（接続共）		○						
	同上給水給湯管・排水管（接続共）			○					
	同上換気ﾀﾞｸﾄ（接続共）			○					
ユニットシャワー	ユニットシャワー（水栓・換気扇共）	○							
	同上電気設備工事		○						
	同上一次側電気配管・配線（接続共）		○						
	同上給水給湯管・排水管（接続共）			○					
	同上換気ﾀﾞｸﾄ（接続共）			○					
衛生設備	化粧鏡（既製品）（取付共）			○					
	洗面ｶｳﾝﾀｰ（穴開け共）（取付共）			○					
	同上衛生機器（ｶﾗﾝ共）（取付共）			○					
	同上給水給湯管・排水管（接続共）			○					

	工事項目	建築	電気	機械	プラント	外構	多目的広場	別途	備考
建具関係	多目的便所、便所、手摺関係（取付共）			○					
	自動扉	○							
	同上一次側電気配管・配線（接続共）		○						
	同上二次側電気配管・配線（接続共）	○							
	電気錠ﾘｰﾀﾞｰ（取付共）及び配管・配線（接続共）	○							
	制御盤、操作盤		○						
シャッター関係	電動ｼｬｯﾀｰ	○							
	同上一次側電気配管・配線（接続共）		○						
	同上ﾘﾓｰﾄｽｲｯﾁの機器取付及び二次側電気配管・配線（接続共）	○							
防火防煙関係	煙感知器連動の防火戸・防火防煙ｼｬｯﾀｰ及び防煙垂れ壁	○							
	同上ﾚﾘｰｽﾞ		○						
	同上動作用煙感知器及び電気配管・配線（接続共）		○						
	同上動作表示及び電気配管・配線（接続共）		○						
	同上制御盤及び一次側電気配管・配線（接続共）（予備電源共）		○						
屋内消火栓	屋内消火栓箱総合盤（本体組込型）			○					
	同上盤組込みの発信網・表示灯及び起動押し釦		○						
	同上開口補強	○							
	ﾕﾆｯﾄ型消火栓ﾎﾞｯｸﾌﾞ・自動給水装置等の付属型制御盤			○					
	同上一次側電気配管・配線（接続共）		○						
	同上二次側電気配管・配線（接続共）			○					
消火水槽	消火水槽の躯体及び仕上	○							
	同上液面電極工事			○					
	消火用充水槽の液面電極工事			○					
	液面電極以外の水位制御器（ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ等）			○					
空調設備の制御盤	空調設備の制御盤			○					
	同上一次側電気配管・配線（接続共）		○						
	同上機器連動ｲﾝﾀｰﾛｯｸ（火災発生時の空調停止を含む）		○						
	同上遠方操作用機器（取付共）及び電気配管・配線（接続共）		○						
自動制御機器	自動制御機器の計装盤			○					
	同上一次側電気配管・配線（接続共）（電源供給）		○						
	自動制御用電気配管・配線（接続共）			○					
空調機器関係	空調機器の一次側電気配管・配線（接続共）		○						
	同上ﾘﾓｰﾄｽｲｯﾁの機器取付及び電気配管・配線（接続共）			○					但し機器は別途
	ｾﾊﾟﾚｰﾄ型空調機の二次側電気配管・配線（接続共）			○					
	空調機器のﾄﾞﾚﾝ排水管（最寄り会所への接続を含む）			○					
エレベーター	本体機器及び出入口廻り開口（枠共）	○							管理棟及び付属棟建設工事
	同上動力・電灯用一次側電気配管・配線（接続共）		○						
	同上保守点検用ｺﾝｾﾝﾄ		○						
	同上火災報知器		○						
	同上点検口	○							
	設置用鉄骨	○							管理棟及び焼却棟工事それぞれで行う。
映写スクリーン	映写ｽｸﾘｰﾝ（回路ﾎﾞｯｸｽ、操作ｽｲｯﾁ共）（取付共）	○							管理棟及び付属棟建設工事
	同上一次側電気配管・配線及び操作線（接続共）		○						
上下水	上水引込み（申請手続き共）			○					※引き込み手数料は別途
	合併浄化槽（接続及び放流先までの配管共）			○					
煙突	煙突外筒（基礎共）	○							
	煙突内歩廊及び階段	○							
	内筒振れ止め金物				○				
	同上内筒及び煙道横引き管（接続共）				○				
	同上内筒排水工事			○					
地下のピット・水槽設備等	躯体水槽・ピット	○							
	同上一次側配管接続			○	○				
	同上二次側配管（ポンプ共）				○				
	同上マンホール蓋	○							
	灰汚水沈殿槽蓋	○							
	ゴミピット汚水受槽スクリーン	○							
	水槽内タラップ	○							
	流入管、放流管接続及び隙間埋め工事			○	○				

	工事項目	建築	電気	機械	プラント	外構	多目的広場	別途	備考
非常用発電機	発電機本体				○				
	同上基礎	○							
	同上給気及び排気ダクト			○					
	制御盤及び接続				○				
	一次側配線及び接続				○				
	二次側配線及び接続		○		○				
プラットホーム入口自動大扉	プラットホーム入口自動大扉				○				
	同上取り付け用下地鉄骨	○							
	同上一次側配線及び接続				○				
	同上一次側電気配管・配線（接続共）				○				
	同上ﾘﾓｰﾄｽｲｯﾁの機器取付及び二次側電気配管・配				○				
	同上ループコイル				○				
	入口上部エアーカーテン（大扉と連動）				○				
	同上取り付け用下地鉄骨	○							
	同上一次側配線及び接続				○				
	同上一次側電気配管・配線（接続共）				○				
井水工事	井水削孔工事			○					
	井水用受水槽			○					
	同上ポンプ一次側及び二次側配管接続			○					
	浄水設備			○					
余熱利用設備	廃熱ボイラー				○				
	蒸気タービン				○				
	同上2次側配線接続及び制御盤				○				
	同上基礎	○							独立基礎とする
	同上メンテナンスホイスト				○				
	同上ホイストレール	○							
	同上点検歩廊	○							
場内余熱利用設備	温水熱交換器			○					
	温水循環タンク			○					
	温水循環ポンプ			○					
	同上一次側二次側配管接続・制御盤			○					
	予備ボイラー			○					
場外余熱利用設備	温水熱交換器			○					
	温水循環タンク			○					
	温水循環ポンプ			○					
	同上一次側二次側配管接続・制御盤			○					敷地境界線でプラグ止め
工場内床排水	床排水溝	○							
	同上溜桝及びポンプ桝	○							
	同上排水ポンプ及び配管接続			○					汚水受槽へ接続
給水設備プラント工事・排水設備	給水設備配管及び接続				○				
	排水設備配管及び接続				○				
給水設備・排水設備生活工事	焼却棟（管理部門）、リサイクル棟（管理部門）、管理棟、計量棟			○					
	生活用受水槽			○					
	合併浄化槽			○					排水先は施設内の排水処理槽へ
電気設備工事	引込工事（申請手続き共）				○				
	引込柱				○				
	受電設備				○				
	電気メーター				○				
通信情報設備	通信情報引込工事（空配管まで）		○						空配管は、管理棟事務所、焼却棟事務所、リサイクル棟中央制御室までの３回線

	工事項目	建築	電気	機械	プラント	外構	多目的広場	別途	備考
炉室換気設備	ベンチレーター	○							
	給気設備機			○					
	同上ダクト			○					ダクトのルートは施工図作成の上プラント側と打ち合せの上決定すること。
	同上基礎	○							
	壁吸気口	○							
	同上開口補強	○							
各プラント機器	プラント機器			○					
	同上プラント架台及び点検歩廊			○					
	同上階段			○					
	同上階段基礎	○							
	同上プラント機器及びその架台の基礎	○							
	同上基礎による補強	○							
	同上アンカーボルト取付、箱入	○							プラント側よりアンカーボルト支給
	同上墨出し	○		○					プラントは確認のみ

番号	品名	材質	数量	摘要

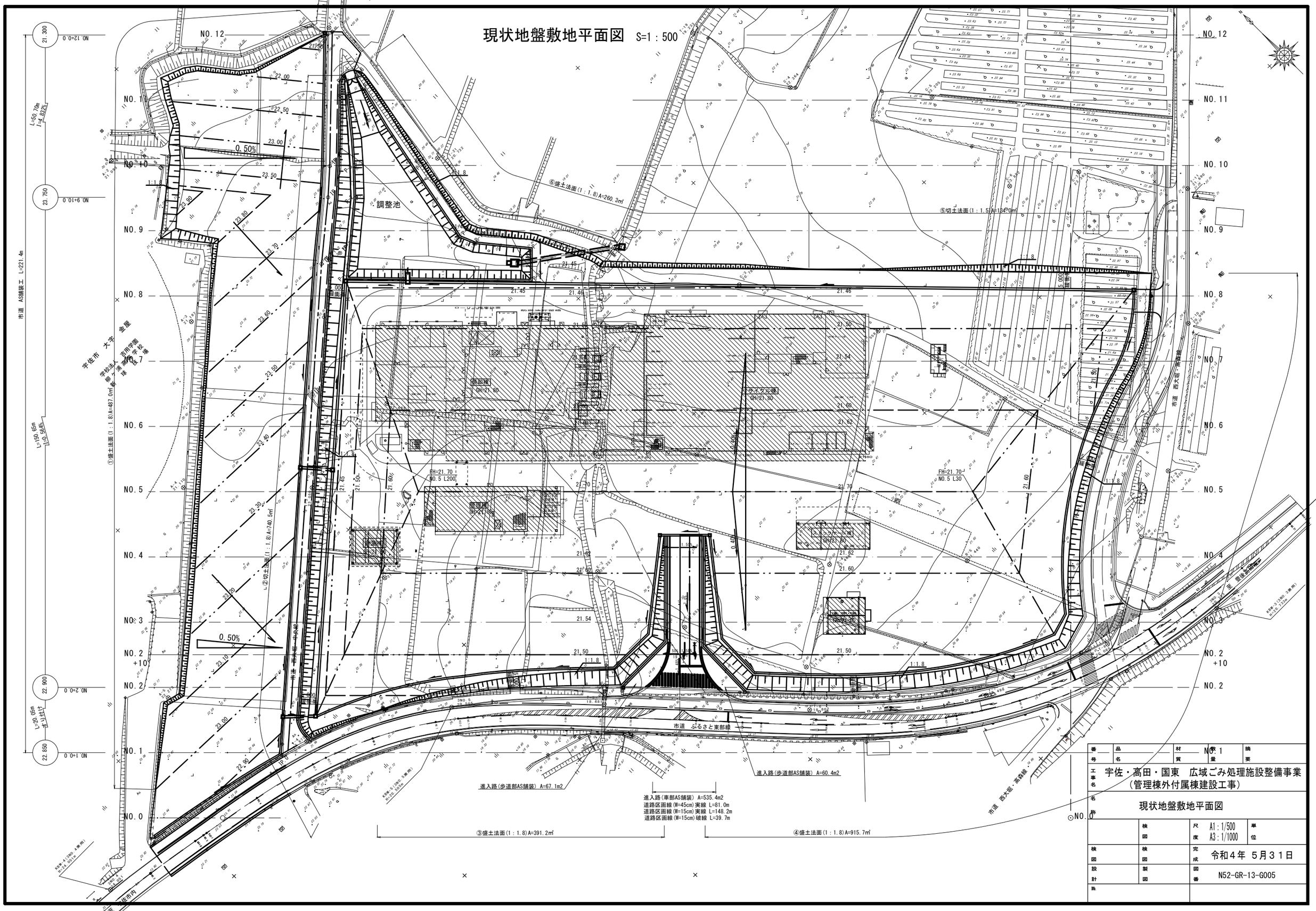
工事名	宇佐・高田・国東　広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）		
名称	工事区分表		
	検図	尺度 A1: ― A3: ―	単位
検図	検図	完成	令和４年 ５月３１日
設計	製図	図番	N52-GR-13-G004
DWNo.			

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

設備関係規定の法適合確認を行った者
谷川　和也
一級建築士登録　第366130号
設備設計一級建築士交付　第6259号

A3- ―

現状地盤敷地平面図 S=1：500



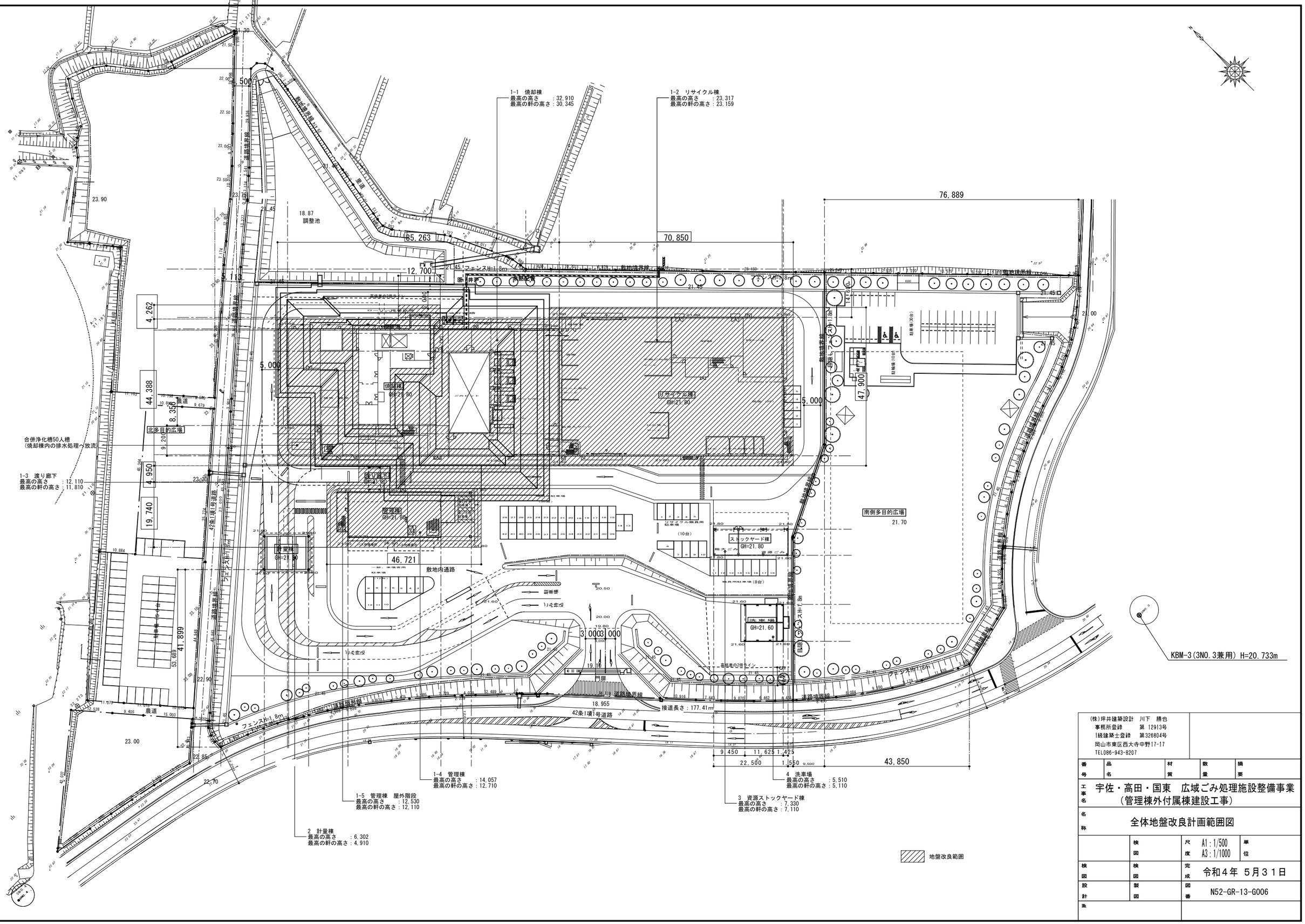
番号	品名	材質	数量	摘要

工事名：宇佐・高田・国東　広域ごみ処理施設整備事業
（管理棟外付属棟建設工事）

名称：現状地盤敷地平面図

	検図	尺度	A1：1/500 A3：1/1000
検図	検図	完成	令和４年 ５月３１日
設計	製図	図番	N52-GR-13-G005
監			

単位



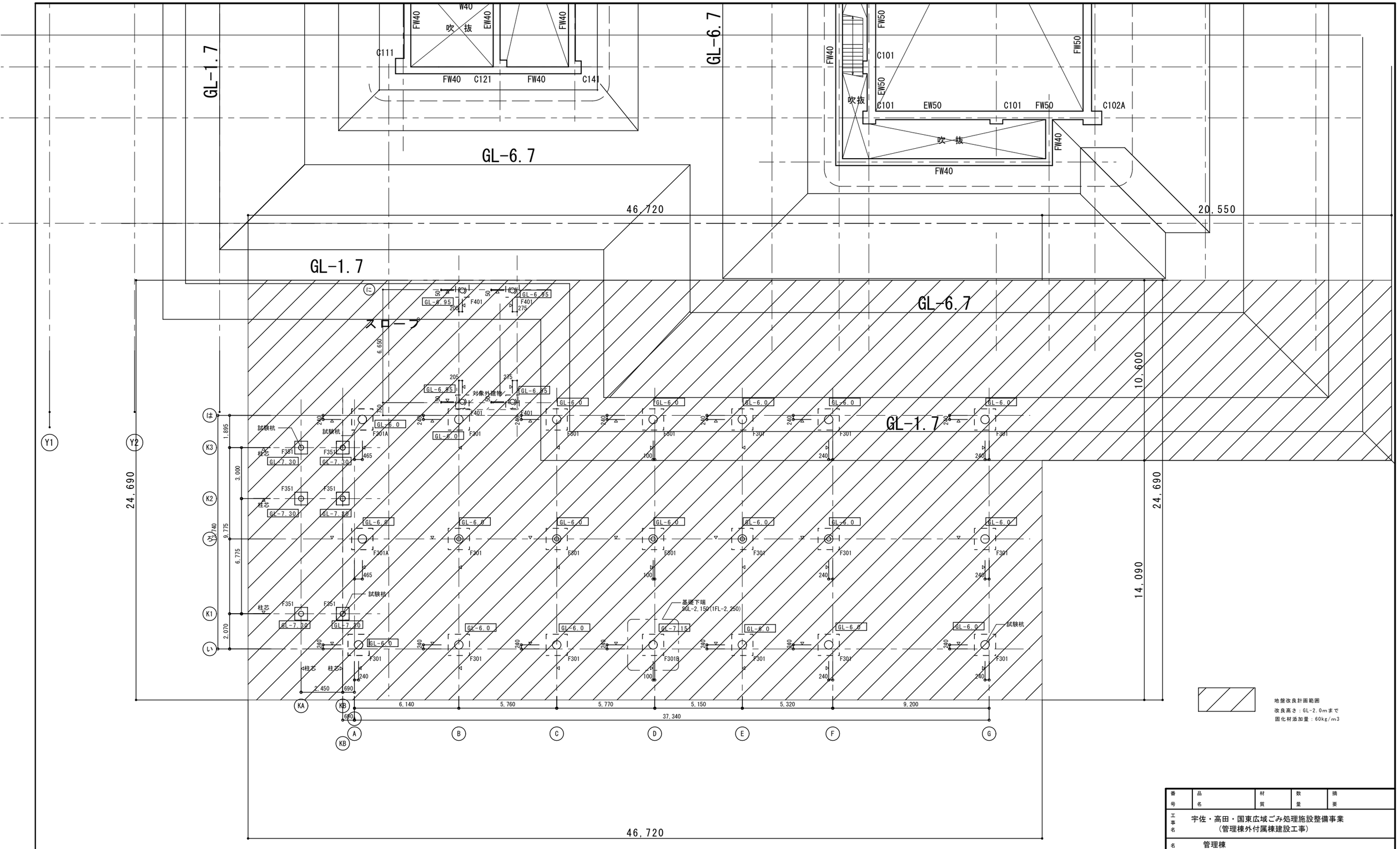
(株)坪井建築設計 川下 勝也
事務所登録 第 12913号
1級建築士登録 第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名 宇佐・高田・国東 広域ごみ処理施設整備事業
(管理棟外付属棟建設工事)

名称 全体地盤改良計画範囲図

	検図	尺度 A1:1/500 A3:1/1000	単位
検図	検図	完成	令和4年 5月31日
設計	製図	図番	N52-GR-13-G006
備考			



地盤改良計画範囲
改良高さ：GL-2.0mまで
固化材添加量：60kg/m3

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）		
名称	管理棟 地盤改良計画図		
	検図	尺度 A1=1/100 A3=1/200	単位
検図	検図	完成	令和4年7月1日
設計	製図	図番	N52-KA-13-S012

建築工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要　（管理様、渡り廊下）

工事名称	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟及び付属棟建設工事）
工事場所	大分県宇佐市大字西大堀字立出地内
敷地面積	約41,000㎡

床面積（㎡）

	管理棟　S造	屋外階段　S造	渡り廊下　S造		
3　階	386.64	27.30	27.83		
2　階	343.43	27.30	―――		
1　階	475.85	27.30	―――		
階					
階					
階					
小　計	1，205.92	81.90	27.83		
合　計	1，315.65				

建築面積（㎡）	589.89 ㎡		
消防法施行令別表第一区分	（15）		
建ぺい率（指定率）	%（　60　%）	容積率（指定率）	%（　200　%）
用途地域	無指定	防火地域	・防火地域　・準防火地域　⊙指定なし

工事範囲：管理様、屋外階段、渡り廊下　の建築工事一式

別途工事：電気設備工事／機械設備工事

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様

（1）　図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版[令和４年５月１０日改定]」（以下、「標準仕様書」という。）による。
図面、本特記仕様書及び標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版[令和４年５月１０日改定]」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（2）　建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）が必要な工事の場合、受注者は完了検査（中間検査含む）時には、官公署（建築主事等）が求める検査に必要な書類（報告書）等を用意するものとする。

2．特記仕様

（1）　項目は番号に○印のついたものを適用する。

（2）　特記事項は⊙印のついたものを適用する。
⊙印のつかない場合は、⊗印のついたものを適用する。
⊙印と⊗印のついた場合は共に適用する。

（3）　特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表す

（4）　関係法令の改正等により（条例を含む）、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。

（5）　材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①	適用基準等	※建築工事標準詳細図（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 （以下「標準詳細図」という） ※営繕工事写真撮影要領（令和３年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	②	電気保安技術者 （1．3．3）	配置する
	③	施工条件 （1．3．5）	⊙施工時間帯　※指定なし　・指定あり（　　） ・施工ができない日等　※指定なし　・指定あり（　　） ⊙部位別の施工順序　※指定なし　⊙指定あり（・図示　⊙ 渡り廊下の杭２本（焼却棟側）を先行。） ⊙工事車両の駐車場所　（※図示　・　　） ⊙資機材置場　（※図示　・　　） ⊙建設発生土仮置場　（※図示　・　　）
	④	工事安全計画書 （1．3．7）	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）に基づき、工事の施工に先立ち工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑤	発生材の処理等 （1．3．11）	・引き渡しを要するもの（　　） ・現場において再利用を図るもの（　　） ⊙再生資源化を図るもの ⊙コンクリート塊　⊙アスファルトコンクリート塊　⊙建設発生木材
	⑥	環境への配慮 （1．4．1）	化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の１）から４）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ２）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含まない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ４）１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ホルムアルデヒド放散量　第三種 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⑦	材料の品質等 （1．4．2）	1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）本工事に使用する材料のうち、3）に指定する材料の製造業者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されているもの （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われているもの （3）安定的な供給が可能であるもの （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があるもの （6）販売、保守等の営業体制が整えられているもの（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場で施工体制が整えられているもの） 3）製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床型枠用鋼製デッキプレート	クローザ類	煙突用成形ライニング材	
鉄骨柱下無収縮モルタル	自動扉機構	天井点検口	
無収縮グラウト材	自閉式上吊り引戸機構	床点検口	
乾式保護材	重量シャッター	グレーチング	
既成調合モルタル	軽量シャッター	屋上緑化システム	
ルーフドレン	オーバーヘッドドア	トップライト	
吸水調整材	防水剤	エポキシ樹脂	
アルミニウム製建具	現場発泡断熱材	ポリマーセメントモルタル	
鋼製建具	フリーアクセスフロア	既成調合目地材	
鋼製軽量建具	可動間仕切	鋳鉄製ふた	
ステンレス製建具	移動間仕切		
錠前類	トイレブース		

⑧	特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
9	技能士 （1．5．2）	

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	とび	・とび作業
ＣＢ・ＡＬＣパネル工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業
	ＡＬＣパネル施工	・ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業
木工事	建築大工	・大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業
金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
左官工事	左官	・左官作業
建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ガラス工事作業
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業
	ガラス用フィルム施工	・建築フィルム作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ガラス工事作業
塗装工事	塗装	・建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業
	表装	・壁装作業
排水工事	配管	・建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・造園工事作業

1.0	化学物質の濃度測定 （1．5．9）	図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するものとする。 パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う ①３０分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する。 ②５時間閉鎖 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ　②の状態のままで測定する。 ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する。 ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けるものとする。 ・厚生労働省の標準的方法による
1.1	完成写真	工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出するものとする。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 １箇所	・カラー印画紙キャビネ判		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	・電子データ（ＪＰＥＧフルカラー圧縮率1/4程度）			
	・カラー木製パネル半切（324×400㎜）			
上記と異なる 外部（　）箇所 内部（　）箇所	カラー印画紙　・キャビネ判　※Ｌ判			
	※電子データ（ＪＰＥＧフルカラー圧縮率1/4程度）			
外部（　）箇所 内部（　）箇所	カラー印画紙　・キャビネ判　※Ｌ判	2	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	※電子データ（ＪＰＥＧフルカラー）	1		

撮影部位は監督職員の指示による
電子データは、ＣＤ－Ｒ等で提出する
※提出部数は、発注仕様書による。

1.2	完成時の提出図書 （1．7．1~3）	完成図（ＣＡＤデータの提出（※　要　・　不要　））　表1．7．1 保全に関する資料（提出部数　※　1部　・　部） 提出書類の詳細については、別途、発注仕様書による。	
1.3	施工図及び施工計画書 （1．7．2）	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	
1.4	設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けるものとする。	
1.5	設計ＧＬ	※図示　⊙（　21．8　）	
1.6	適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風圧力風速　　Ｖｏ＝ 32　ｍ／ｓ 地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ 積雪量　建築基準法施行令第８６条第３項の規定に基づく岡山県建築基準法施行細則による数値	
2 仮設工事	① 足場その他 （2．2．4）	足場を設ける場合は、標準仕様書２．２．４（２）、（３）による。	
	2 監督職員事務所 （2．3．1）	※設けない　・設ける　　㎡ 備品等は、監督職員の指示を受けて設置するものとする。	
	③ 工事用水	※ 新規引き込みとする。	
	④ 工事用電力	※ 新規引き込みとする。	
3 土工事	① 埋戻し及び盛土 （3．2．3）	※種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土　表3．2．1 Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行うものとする。 ・材料：　　工法：	
	② 建設発生土の処理 （3．2．5）	※構外指示の場所に処分　・構内指示の場所に敷き均し　・構内指示の場所に堆積	
	③ 山留めの撤去 （3．3．3）	鋼矢板等の抜き後の処理　※ 直ちに砂で充填する 存置範囲（・図示　・　　）	
4 地業工事	① 共通仕様 （4．2．2） （4．2．4）	⊙杭基礎 支持地盤の位置及び種類（基礎ぐいの先端位置含む） ※構造図による 試験杭（　）本　位置は構造図による ・直接基礎 支持地盤の位置及び種類（ラップルコンクリートの底面位置含む） ※構造図による 地盤の平板載荷試験　※行わない ・行う（　）箇所 位置、深さ、対象地盤及び最大載荷加重は構造図による。 試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による。	
	② 既製コンクリート杭地業 （4．2．2） （4．3．1~7）	材料 ※遠心力高強度コンクリート杭（ＰＨＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭） ・プレストレス鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭） ・ ・ 寸法、継手、性能等	

	符号	杭径（㎜）	杭長（m）及び種別	厚さ	継手数	セット数	コンクリート強度（Ｎ／㎟）	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭	構造図又は構造特記による					
本　杭			上杭 中杭 下杭						

ＳＣ杭の鋼管　・ＳＫＫ４００　・ＳＫＫ４９０　・
ＳＣ杭の板厚　※構造図による
ＰＨＣ杭の種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
ＰＲＣ杭の種別　・Ⅰ種　・Ⅱ種　・Ⅲ種　・Ⅳ種
なお、特定埋込杭工法における杭材料はＪＩＳＡ5525は認定条件に適合するものとする。
杭先端部形状　※開放形　・半開放形　・閉そく形
ネガティブフリクション対策
※不要　・要（構造図による）
杭の継手　・溶接継手
・機械式無溶接継手（建築基準法に基づき評定等を受けたもの）
機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う。
施工は評定等に記された施工管理基準によるものとする。
杭頭の処理　・切断しない　・切断する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）　※構造図による
杭頭の中詰材料　※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）　・
支持地盤　※構造図による
施工方法
・セメントミルク工法
根固め液及び杭周固定液の管理試験
※標準仕様書4．3．4(6)(3)による
・構造図による
※特定埋込杭工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝　　、β＝　　、γ＝
を採用できる工法
工法　・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液の使用　・する　・しない
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の１／４かつ１００㎜以下　・構造図による
杭の傾斜　・１／１００以内　・評定条件または認定条件による　・構造図による
種類の記号　・ＳＫＫ４００　・ＳＫＫ４９０
寸法、継手、性能等

	符号	杭径（㎜）	杭長（m）及び種類の記号	板厚（㎜）	継手数	セット数	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭					
本杭			上杭 中杭 下杭					

3 鋼杭地業 （4．2．2） （4．3．7） （4．4．1~6）		施工方法 ・特定埋込み杭工法 ・Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法 ・Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝　、β＝　、γ＝ を採用できる工法 工法　・中掘り拡大根固め工法 杭の精度 水平方向の位置ずれ　・杭径の１／４かつ１００㎜以下　・ 杭の傾斜　・１／１００以内　・評定条件または認定条件による　・ 杭の現場継手　・溶接継手 形状　・JIS A 5525による 溶接材料　・標準仕様書7.2.5(1)、(2)による　・構造図による ・機械式無溶接継手　（※建築基準法に基づき評定等を受けたもの） 機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理　・切断しない ・切断する 処理方法（切断にともなう補強方法含む）　・構造図による 杭頭の中詰材料　※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）
4 直接基礎		支持地盤の設計支持力度　・　ｋＮ／㎡以上 支持地盤　※構造図による
⑤ 砂利地業 （4．6．2）（4．6．3）		材料　※再生クラッシャラン　・切込砂利及び切込砕石 厚さ及び使用範囲 厚さ：※60，100　使用範囲：・図示による　・ 厚さ：・　使用範囲：・図示による　・
⑥ 捨コンクリート地業 （4．6．4）		材料 設計基準強度　※１８Ｎ／㎟　・　Ｎ／㎟ スランプ　※１５㎝　・１８㎝ 厚さ及び使用範囲 厚さ：※５０　使用範囲：⊙図示による　・ 厚さ：※１００　使用範囲：・図示による　⊙ベースバック部分
⑦ 床下防湿層 （4．6．5）		施工範囲　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） 防湿工法　※ポリエチレンフィルム厚さ０．１５㎜以上 ・ 防湿層の位置　※図示による
8 地盤改良		工法　・浅層混合処理工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による） ・深層混合処理工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による）
9 置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）		材料 コンクリートの種類　※普通コンクリート　・ 設計基準強度　※１８Ｎ／㎟　・　Ｎ／㎟ スランプ　※１５㎝　・１８㎝ 形状　※構造図による 支持地盤の長期設計支持力　・　ｋＮ／㎡ 支持地盤　※構造図による 型枠使用の有無　※有り　・無し
1.0 杭残土（杭汚泥）の重金属等溶出試験		カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレンの６種類の溶出試験を行うこと。 溶出量基準及び測定方法は、Ｈ３環境庁告示第４６号による。
1.1 杭残土（杭汚泥）の再資源化		１０の試験結果が基準値未満の場合は、杭残土（杭汚泥）を再資源化処理施設へ搬入するものとする。
5 鉄筋工事	① 鉄筋の種類 （5．2．1）	規格の名称：※異形鉄筋　・鉄筋コンクリート用棒鋼 種類の記号：※ＳＤ２９５Ａ　※ＳＤ３４５　・　・ 使用箇所： 呼び径（㎜）：⊙Ｄ１６以下　⊙Ｄ１９　⊙Ｄ２２　⊙Ｄ２５　・　・　・　・　・　・ 備考：
	② 溶接金網 （5．2．2）	種類：⊙溶接金網　・鉄筋格子 使用箇所：６φ-150ｘ150 呼び径・寸法・形状(㎜)：⊙図示　・　・図示　・
	③ 鉄筋の継手 （5．3．4）	部位：⊙基礎梁主筋　⊙主筋　⊙大梁主筋　⊙小梁主筋　⊙壁　・　・ 継手の方法と適用径：・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（　　） ・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（　　） ・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（　　） ・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（　　） ※重ね継手（Ｄ１６以下）・機械式継手（Ｄ１９以上）・機械式継手（　　） ・重ね継手（　　）・ガス圧接（　　）・機械式継手（　　） ・重ね継手（　　）・ガス圧接（　　）・機械式継手（　　）
	④ 鉄筋の継手位置 （5．3．4）	部位：⊙基礎梁主筋　⊙主筋　⊙大梁主筋　⊙小梁主筋　⊙壁 継手位置：・図示　・各部配筋参考図1.3による　・図示　・各部配筋参考図2.1による　・図示　・各部配筋参考図3.1による　・図示　・各部配筋参考図3.4による　・図示　・各部配筋参考図4.2による 部位：・　・　・　・　・ 継手位置：・図示　・　・図示　・　・図示　・
	⑤ 重ね継手の長さ （5．3．4）	部位：⊙基礎梁主筋　⊙主筋　⊙大梁主筋　⊙小梁主筋　⊙付け壁　・　・ 重ね継手の長さ：・図示　⊙４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値　・ ・図示　⊙４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値　・ ・図示　⊙４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値　・ ・図示　⊙４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値　・ ・図示　⊙４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値　・ ・図示　・４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値　・ ・図示　・４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値　・
	⑥ 鉄筋の定着の長さ （5．3．4）	柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ・図示　・４０ｄと標準仕様書 表5.3.4のうち大きい値　・
	⑦ 耐久上不利な箇所の最小かぶり厚さ （5．3．5）	施工箇所：・柱、梁、壁及び底などの外気に接する面 標準仕様書 表5.3.6に加える寸法（㎜）：※１０　・ ・　・

【工事名称】　宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）

【図面名称】　管理棟　建築工事特記仕様書１

【図面番号】　N52-KA-13-A001

（株）坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

⑧ 鉄筋の定着方法、位置、長さ及び各部配筋
(5. 3. 4)(5. 3. 7)

鉄筋の定着方法、位置、長さ及び余長

部位	鉄筋の定着方法、位置、長さ及び余長
○基礎接合部の補強配筋	・図示　○各部配筋参考図1. 2による
○基礎梁主筋	・図示　○各部配筋参考図1. 3による
○柱主筋	・図示　○各部配筋参考図2. 1による
○柱の打増し補強	・図示　○各部配筋参考図2. 3による
○大梁主筋	・図示　○各部配筋参考図3. 1による
○梁の打増し補強	・図示　○各部配筋参考図3. 3による
○小梁主筋	・図示　○各部配筋参考図3. 4による
○片持梁主筋	・図示　○各部配筋参考図3. 5による
○壁	・図示　○各部配筋参考図4. 2による
○壁の交差部及び端部	・図示　○各部配筋参考図4. 3による
○壁の開口部補強	・図示　○各部配筋参考図4. 4による
○壁の打増し補強	・図示　○各部配筋参考図4. 5による
○バラペット	・図示　○各部配筋参考図4. 6による
○スラブ筋	・図示　○各部配筋参考図5. 2による
○片持ちスラブ	・図示　○各部配筋参考図5. 3及び5. 4による
○スラブ開口部	・図示　○各部配筋参考図5. 5による
○スラブ出隅部及び入隅部の補強	・図示　○各部配筋参考図5. 6による
○スラブの打継ぎ補強	・図示　○各部配筋参考図5. 7による
○段差のあるスラブの補強	・図示　○各部配筋参考図5. 8による
○片持スラブ形階段	・図示　○各部配筋参考図6. 1による
○二辺固定スラブ形階段	・図示　○各部配筋参考図6. 2による
○梁貫通孔	・図示　○各部配筋参考図7. 1による
・コンクリートブロック帳壁との取合い	・図示　・各部配筋参考図7. 3による

各部配筋

部位	配筋方法
○直接基礎	※図示　・各部配筋参考図1. 1による
○基礎接合部の補強配筋	※図示　・各部配筋参考図1. 2による
○基礎梁のあばら筋	※図示　・各部配筋参考図1. 4による
○帯筋組立の形	※図示 ・各部配筋参考図2. 2 ※Ｈ形　・(イ)　・(ロ)　・(ハ)　・(ニ) ・Ｗ－Ｉ形　・(イ)　・(ロ)　・(ハ) ・ＳＰ形　・(イ)　・(ロ) ・丸形　・(イ)　・(ロ)
○帯筋の割付け	※図示　○各部配筋参考図2. 2の図2. 3による
○あばら筋の組立の形	※図示 ○各部配筋参考図3. 2 ※(イ)　・(ロ)　・(ハ)　・(ニ)
○あばら筋の割付け	※図示　○各部配筋参考図3. 2による
○腹筋及び幅止め筋	※図示　・各部配筋参考図3. 2による
○梁の打増し補強	※図示　・各部配筋参考図3. 3による
・壁の基準配筋	※図示 ・各部配筋参考図4. 1 ・表4. 1 ・Ｗ１２　・Ｗ１５Ａ　・Ｗ１５Ｂ　・Ｗ１８Ａ ・Ｗ１８Ｂ　・Ｗ２０Ａ　・Ｗ２０Ｂ ・表4. 2 ・ＫＷ１　・ＫＷ２
・壁の交差部及び端部の配筋	※図示　・各部配筋参考図4. 3による
・壁（耐震壁を除く）の開口部補強	※図示　・各部配筋参考図4. 4（・Ａ形　・Ｂ形）による
・耐震壁の開口部補強	※図示
・壁の打増し補強	※図示　・各部配筋参考図4. 5による
・バラペットの配筋	※図示　・各部配筋参考図4. 6による
○スラブの基準配筋	※図示 ・各部配筋参考図5. 1 ・Ｓ１　・Ｓ２　・Ｓ３　・Ｓ４　・Ｓ５　・Ｓ６ ・Ｓ７　・Ｓ８　・Ｓ９　・Ｓ１０　・Ｓ１１ ・Ｓ１２　・Ｓ１３　・Ｓ１４
○片持ちスラブの基準配筋	※図示 ・各部配筋参考図5. 3 ・ＣＳ１　・ＣＳ２　・ＣＳ３　・ＣＳ４ ・ＣＳ５　・ＣＳ６　・ＣＳ７
・片持ちスラブ先端に壁が付く場合の配筋	※図示　・各部配筋参考図5. 4による
○スラブ開口部補強	※図示　○各部配筋参考図5. 5による
○スラブ出隅部及び入隅部の補強配筋	※図示　○各部配筋参考図5. 6による
○スラブの打継ぎ補強配筋	※図示　○各部配筋参考図5. 7による
○段差のあるスラブの補強配筋	※図示　○各部配筋参考図5. 8による
・片持スラブ形階段の基準配筋	※図示 ・各部配筋参考図6. 1 ・ＫＡ１　・ＫＡ２　・ＫＡ３　・ＫＡ４
・二辺固定スラブ形階段の基準配筋	※図示 ・各部配筋参考図6. 2 ・ＫＢ１　・ＫＢ２　・ＫＢ３　・ＫＢ４　・ＫＢ５ ・ＫＢ６　・ＫＢ７
○梁貫通孔の配筋	※図示　○各部配筋参考図7. 1による
○梁貫通孔の補強形式	※図示 ・各部配筋参考図7. 2 ・表7. 1 ・Ｈ１　・Ｈ２　・Ｈ３　・Ｈ４　・Ｈ５ ・Ｈ６　・Ｈ７ ・表7. 2 ・Ｍ１　・Ｍ２　・Ｍ３　・Ｍ４ ・表7. 3 ・ＭＨ１　・ＭＨ２　・ＭＨ３　・ＭＨ４ ・ＭＨ５　・ＭＨ６　・ＭＨ７
・コンクリートブロック帳壁との取合い	※図示　・各部配筋参考図7. 3による

⑨ 圧接完了後の試験
(5. 4. 10)

外観試験　※行う（全圧接部）
抜取試験　※超音波探傷試験　・引張試験

⑩ 機械式継手
(5. 5. 2)

適用箇所
　※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能
　※A級　・（　　）
機械式継手の種類、鉄筋相互のあき、施工完了後の継手部の試験、
不合格となった継手部への措置
　※構造図による

⑪ 溶接継手
(5. 5. 3)

適用箇所
　※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能
　※A級　・（　　）
溶接継手の工法、鉄筋相互のあき、施工完了後の継手部の試験、
不合格となった継手部への措置
　※構造図による

6 コンクリート工事

① コンクリートの種類及び強度
（6. 2. 1～4）

※普通コンクリート　　表6. 2. 1

設計基準強度 Fc(N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m³)	スランプ(cm)	適用場所
・21 ※24 ・27	2. 3種度	※18 ※18 ※18	○基礎　○基礎梁 ・土間スラブ　○捨コンクリート ○建物躯体（上記除く）
・18	2. 3種度	・15 ・18	

② レディーミクストコンクリート
(6. 2. 1)(6. 4. 1～2)

※Ⅰ類（ＪＩＳ　Ａ５３０８「レディーミクストコンクリート」への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（ＪＩＳ　Ａ５３０８に適合したコンクリート）

③ セメントの種類
(6. 3. 1)

表6. 3. 1

セメントの種類	使用部位
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種	
・高炉セメントＢ種	
・フライアッシュセメントＢ種	

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ　Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱	7日目	352J/g以下
	28日目	402J/g以下

④ 骨材の種類
(6. 3. 1)(6. 5. 4)

アルカリシリカ反応による区分
　※A　　・B　（※コンクリート中のアルカリ総量 Rt＝3．0kg／m³ 以下）

⑤ 混和材料
(6. 3. 1)

※混和剤（ＪＩＳ　Ａ６２０４に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はⅠ種とする。また、防錆材を併用する場合はＪＩＳ　Ａ６２０５による防錆材とする。）
・混和材（ＪＩＳ　Ａ６２０１に適合するフライアッシュのⅠ種、Ⅱ種、若しくはⅣ種、ＪＩＳ　Ａ６２０６による高炉スラグ微粉末、ＪＩＳ　Ａ６２０７によるシリカフュームスはＪＩＳ　Ａ６２０２による膨張材とする。）

⑥ 無筋コンクリート
(6. 3. 1)　・
(6. 14. 1～3)

コンクリートの種類　※普通コンクリート　・
適用箇所　・構造仕様書6．14．1(e)による
設計基準強度Fc（N／m㎡）　※18
スランプ　※15又は18
セメントの種類　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントＡ種
・高炉セメントＢ種
・フライアッシュセメントＢ種

⑦ ひび割れ誘発目地 打継目地
(6. 6. 4)(6. 8. 1)
(9. 7. 3)(11. 1. 3)

目地寸法　※標準仕様書9．7．3による
間隔　※図示による
位置　※図示による
ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する

⑧ コンクリートの仕上り
(6. 2. 5)(6. 6. 6)
(6. 8. 2)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　　表6. 2. 4

種類	適用箇所
○A種	地上部
○B種	地下部
・C種	

⑨ 打増し厚さ
(6. 8. 1)

打増し厚さ
○打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
　※20mm
○打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm　・20mm
・外装タイル後張り面の打増し処理
　※20mm
・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理
　プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う
　※10mm　・20mm

⑩ 型枠
(6. 8. 1～3)

せき板の材料　※合板(※12mm　・　　)
・メッシュ型枠（使用部位　※構造図による）
・床型枠用鋼製デッキプレート（施工範囲　※構造図による　・　　）
スリーブ材　※標準仕様書6．8．2(9)(イ)による　・構造図による
断熱材兼用型枠
・使用する　※25mm以下かつ熱抵抗値1mh℃／kCal以上
・使用しない
ＭＣＲ工法用シートの使用
・使用する　　使用部位　※図示による
・使用しない

⑪ 型枠の在置期間及び取外し
(6. 8. 4)

※6．8．4による

⑫ コンクリートの単位水量測定

○行う　・行わない
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(C)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
　1)測定した単位水量が、配合計画書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま打設する。
　2)測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車の生コンは打設してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
　3)測定した単位水量が設計値±20kg/m³を超える場合は、その運搬車は打込まずに持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m³以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
　4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

⑬ 止水板

○行う　・行わない　日本リステン　リステンシール8同等

7 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場
(7. 1. 1)
(7. 1. 3)

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法第７７条の５６第１項に基づく国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鉄構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とするものとする。
（　・Ｊグレード　・Ｒグレード　○Ｍグレード　・Ｈグレード　・Ｓグレード　）

② 施工管理技術者
(7. 1. 3)(7. 1. 4)
(7. 6. 2)(7. 12. 2)

※配置する　・配置しない

③ 鋼材
(7. 2. 1)

鋼材の材質　　表7. 2. 1

種類の記号	適用箇所	規格等
BCR295	柱	※ＪＩＳ規格による
SS400	梁	※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による

④ 高力ボルト
(7. 2. 2)(7. 3. 2)
(7. 4. 2)

ボルトの区分
○トルシア形高力ボルト　　２種（Ｓ１０Ｔ）建築基準法に基づき認定を受けたもの
○ＪＩＳ形高力ボルト　　２種（Ｆ１０Ｔ）
高力ボルトの径　※図示による
すべり係数試験　※行わない　・行う（試験方法等　※構造図による）
ＪＩＳ形高力ボルトの締付けがナット回転法による回転量（ボルトの長さが呼び径の５倍を超える場合）
　※図示　・　°

⑤ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
(7. 2. 2)(7. 3. 2)
(7. 3. 8)
(7. 12. 5)

セットの種類　※１種（Ｆ８Ｔ相当）建築基準法に基づき認定を受けたもの
溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径
・大臣認定を受けた内容による
摩擦面の処理　※ブラスト処理（表面粗度５０μｍＲｚ以上）
・ブラスト以外の特殊な処理（りん酸塩処理）
　すべり耐力等の確認方法　※すべり試験　・図示による

⑥ 普通ボルト
(7. 2. 3)(7. 3. 2)

ボルト及びナットの材料等
○標準仕様書　表7．2．3（ＪＩＳ付属書品）による
・標準仕様書　表7．2．3（ＪＩＳ付属書品）又はＪＩＳ本体規格品（ＩＳＯ規格）による
（ＪＩＳ本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじボルト、強毒分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-0の鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルト径の値以下とする。）
座金　※標準仕様書　表7．2．3（4）による
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
　※ねじの呼び径+1.0mm　・構造図による

⑦ アンカーボルト
(7. 2. 4)
(表7. 2. 3)
(7. 3. 2)
(7. 10. 3)

適用
○構造用アンカーボルト
セットの種類（JIS　B1220）
○ABR400　・ABR490
形状、寸法
○構造図による
○建方用アンカーボルト
材質
○SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度
・標準仕様書　表7．2．3による　・
形状、寸法
　※構造図による

⑧ アンカーボルトの保持及び埋込み工法
(7. 2. 4)
(7. 10. 3)

構造用アンカーフレームの形状及び寸法
　※図示による　・
建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法　　表7. 10. 1
種別　・A種　・B種　　表7. 10. 2
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別
　※標準仕様書 表7．10．2（※A種［モルタル厚さ５０］　・B種［モルタル厚さ３０］）による

⑨ ターンバックル
(7. 2. 6)

種類　建築用ターンバックル胴　　※割枠式　・図示
　　建築用ターンバックルボルト　※羽子板ボルト　・図示
ねじの呼び　※図示による

⑩ 床構造用のデッキプレート
(7. 2. 7)(7. 7. 8)

工法の種別
○合成スラブ（適用箇所　※構造図による　）
・床型枠用　（適用箇所　※構造図による　）
・
材質、形状及び寸法　※構造図による
鉄骨部材への溶接方法　※構造図による
耐火認定　・有り（耐火時間　※構造図による　）　・無し

⑪ スタッド

※頭付きスタッド（ＪＩＳ　Ｂ１１９８）

径（呼び名）	長さ（呼び長さ）mm	使用箇所
○16	・80　○100　・120	
・19	・80　・100　・130　・150	
・22	・80　・100　・130　・150	

⑫ 柱底均しモルタル
(7. 2. 9)(7. 10. 3)

モルタルの種別
　※無収縮モルタル　・
無収縮モルタルの材料及び調合
　※標準仕様書7．2．9（2）（ア）～（エ）による
無収縮モルタルの品質及び試験方法
　※表7．2．5による

⑬ 工作図
(7. 3. 2)

高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
　※構造関係共通事項（鉄骨基準図　2）による
　・図示による

⑭ 製作精度
(7. 3. 3)

・標準仕様書7．3．3及びH12建告第1464号第二号イによる
　通しダイヤフラムの許容誤差
・ダイヤフラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り
　補強方法
　・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
　・全てのダイヤフラムはH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること

１５ 仮組
(7. 3. 10)

※行わない
・行う（仮組を行う範囲　※図示による）

⑯ 高力ボルト接合

スプライスプレートの材質　※鋼材の種別及び引張強さによる区分は母材と同等とする
フィラープレートの材質　　※ＳＳ４００とする

⑰ 溶接接合
(7. 6. 4)(7. 6. 7)

開先の形状　　※構造関係共通事項　4．溶接継手の種類別開先標準による
　　・構造図による
スカラップの形状　　※構造関係共通事項　6．鉄骨溶接施工（3）による
　　・構造図による
エンドタブの切断する部分　※全て　・
エンドタブ・裏あて金　　※鋼材の種別及び引張強さによる区分は母材と同等とする
完全溶込み溶接部の余盛り高さ　※（一社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」
　　付則６［鉄骨精度検査基準］付表３［溶接］による

⑱ 入熱、パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件　※構造関係共通事項（鉄骨基準図　9）による　・図示による
適用箇所　※ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
　　・図示による

⑲ 溶接部の試験
(7. 6. 12)

浸透探傷試験又は磁粉探傷試験　　※行う（適用部位　※部分溶込み部）
　　・行わない
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　※行う　・行わない　　表7. 6. 2～3
　工場溶接の場合
　ＡＯＱＬ　　※4．0%　・2．5%

節	※全て	・	・	・	・
検査水準	※第６水準	・	・	・	・

　工事現場溶接の場合
　ＡＯＱＬ　　※4．0%　・2．5%
　割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う
　突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査
　　独立行政法人建築研究所監修
　　「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
　　・抜き取り検査１　※抜き取り検査２

⑳ 錆止め塗装
(7. 8. 1～4)
(18. 3. 2)

塗料の種別
亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
　※標準仕様書　表１８．３．２のＡ種　・標準仕様書　表１８．３．２のＢ種
　※ＥＰ－Ｇの適用箇所は１８．３．２　表１８．３．２のＣ種　・
耐火被覆材の接着する面への塗装
　○行う
　　適用箇所　　※図示による　・
　　塗装の種別　　※図示による　・
　※行わない

㉑ 耐火被覆
(7. 9. 2～8)

種別及び性能

種別	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
○耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	○半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	―		
・耐火塗料			

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能	適用箇所（部位・部分）
○30分耐火	令70条による柱の耐火被覆：石膏ボード12.5ｔ、セラミック系耐火被覆材
・１時間耐火	
・２時間耐火	
・３時間耐火	

２２ 軽量形鋼構造
(7. 11. 2)

ボルトの接合方法　※普通ボルト接合　・

２３ 梁貫通孔の補強

補強方法　　・補強プレート　・補強トラス工法
適用箇所　　・構造図による　※構造関係共通事項による

㉔ 建方精度
(7. 10. 2)

※（一社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」付則６［鉄骨精度検査基準］付表５［工事現場］による

㉕ 溶融亜鉛めっき工法
(7. 12. 1～7)

種別等

亜鉛めっきの種別	材料	適用箇所
○A種（ＨＤＺ５５）	最小板厚 6.0mm以上の形鋼、鋼板	※図示による
○B種（ＨＤＺ４５）	最小板厚 3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
○C種（ＨＤＺ３５）	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

（主要構造部及び構造耐力上主要な部分に限る）

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

１ コンクリートブロック
(8. 2. 2)(8. 2. 5)
(8. 3. 2)(8. 3. 4)

表8. 3. 1

適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※空洞ブロックＣ（１６）　・

モルタルの調合（容積比）
　※ 標準仕様書　表8.2.1による　・ セメント（　　）：砂（　　）
厚さ　※図示による　・　mm
各部の配筋　※図示による
モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲　※ 図示　・

② ＡＬＣパネル
(8. 4. 2～5)

表8. 4. 2～4

種類	厚さ(mm)	長さ(mm)	幅(mm)	単位荷重(N／m²)	表面加工	耐火性能	工法種別
外壁用	※100　・				・平　・意匠	・60分	・A種・B種
間仕切用	・100				・平　・意匠	・60分　・無	・C種・D種・E種
屋根用	※100　・				・平	・30分	・F種
床用	・100 ・150					・60分　・無 ・120分	

外壁、屋根パネルの工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　・
外壁、間仕切パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅（mm）
　※２０　・
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない
耐火目地材の使用　※パネル製造所の仕様　・

③ 押出成形セメント板（ＥＣＰ）
(8. 5. 2～5)

表8. 5. 1～2

	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	耐火性能	取付工法の種別
・外壁	※フラットパネル	・50　○60			○A種　・B種
	・デザインパネル（図示）	・50　・60	・600		
	・タイルベースパネル	・60			
・間仕切壁	※フラットパネル	・50　・60			・B種　・C種
	・デザインパネル（図示）	・50　・60	・600		
	・タイルベースパネル	・60			

外壁パネルの工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　※図示　・
　パネル相互の目地幅(mm)　※長辺８、短辺１５
　出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)　※１５　・
　耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※パネル製造所の仕様　・
　やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する

		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	・　・図示	・　・図示
	長辺	・　・図示	・　・図示
パネルを切り欠く場合	短辺	・　・図示	・　・図示
	長辺	・　・図示	・　・図示

9 防水工事

１ アスファルト防水
(9. 2. 2～5)

アスファルトの種類　３種
防水層の下地のモルタル塗り　※適用しない　・適用する（施工範囲　※図示　・　　）

屋根保護防水　　表9. 2. 3～6

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ａ－１			※ポリスチレンフィルム厚さ　0.15mm以上 ・	※乾式保護材 ・コンクリート押え
・Ａ－２				
・Ａ－３				
・Ｂ－１				
・Ｂ－２				
・Ｂ－３				
・ＡＩ－１		材質　JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 bA（スキン層付き） 厚さ　※25mm・50mm・	※プラットヤーンクロス70g／m²程度 ・	
・ＡＩ－２				
・ＡＩ－３				
・ＢＩ－１				
・ＢＩ－２				
・ＢＩ－３				

【工事名称】 宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）	【図面番号】
【図面名称】 管理棟　建築工事特記仕様書２	N52-KA-13-A002

（株）坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

防水立上がり部の保護
※乾式保護材
無石綿繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したもの（窯業系パネル）とし、寸法は図示による
品質・性能等
寸法の許容差　厚さ：－５～＋１０％、幅：±１％
曲げ強さ、曲げモーメント（Ｎ・cm）（スパン４０cmにおける単位幅１cmあたりの曲げモーメント）標準時４５０以上、凍結融解完了時（試験サイクル数）３２０以上（２００）耐凍結融解性能（試験サイクル数：上記）試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと
吸水性　（２０％以下）　吸水による長さ変化率（０．０７％以下）
耐火性能　不燃
耐衝撃性　高さ１．０mから試験体の弱点部に５００gのおもりを落としたとき、裏面に達する穴があかないこと
出荷時の含水率　１０％以下

屋根露出防水　表9. 2. 7~8

種別	施工箇所	断熱材	仕上げ塗料 種類	仕上げ塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・Ｄ－１					・
・Ｄ－２					・
・Ｄ－３					・
・Ｄ－４			・	※製造所の仕様による ・	・
・ＤＩ－１		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発砲プラスチック断熱材 種類 ※硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号又は２号 ・ 厚さ ※25mm ・			
・ＤＩ－２					

屋内防水　表9. 2. 9

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・Ｅ－１		・Ｅ－２	

Ｅ－１で工程３を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・　）
保護層　・設ける（図示）
防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書 表6.2.4 打放し仕上げの種別Ｂ種

防水層の種別　9. 3. 2~3 表9. 3. 1~3

種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗材	高日射反射率防水の適用
・ＡＳ－Ｔ１				※製造所の仕様による	・
・ＡＳ－Ｔ２					・
・ＡＳ－Ｔ３					・
・ＡＳ－Ｔ４					・
・ＡＳ－Ｊ１					・
・ＡＳＩ－Ｔ１		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発砲プラスチック断熱材 種類 ※硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号又は２号 ・ 厚さ ※25mm ・	設ける ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄ製造所の仕様による） ・設けない		・
・ＡＳＩ－Ｊ１					・

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書 表9. 3. 1から表9. 3. 3による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書 表9. 3. 1から表9. 3. 3による　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書 表9. 3. 1から表9. 3. 3による　・
押え金物の材質、形状及び寸法
・アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度　・

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水
（9. 4. 2~4）
（表9. 4. 1~2）

防水層の種類

種別	施工箇所	絶縁用シートの材種	断熱材	防湿用フィルム	仕上塗料	高日射反射率防水の適用
・Ｓ－Ｆ１					※製造所の仕様による	・
・Ｓ－Ｆ２						・
・Ｓ－Ｍ１					※製造所の仕様による	・
・Ｓ－Ｍ２						・
・Ｓ－Ｍ３						・
・ＳＩ－Ｆ１			※標準仕様書9.4.2 (3)(1)(b)による (種類)※硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号又は２号 ・ （厚さ）※25mm ・	・設ける ※設けない	※製造所の仕様による	・
・ＳＩ－Ｆ２						・
・ＳＩ－Ｍ１			※標準仕様書9.4.2 (3)(1)(a)による (種類)※硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号又は２号 ・ （厚さ）※25mm ・	・設ける ※設けない	※製造所の仕様による	・
・ＳＩ－Ｍ２		※発泡ポリエチレンシート ・				・

Ｓ－Ｍ２及びＳ１－Ｍ２の立上り部の工法
・接着工法（立ち上がり面のシートの厚さ　※1.5mm　・　）　・機械的固定法

④ 塗膜防水
（9. 5. 3）
（表9. 5. 1~2）

防水層の種類

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水の適用
・Ｘ－１		※製造所の仕様による		・
・Ｘ－２	鉄骨柱、根巻天端	※製造所の仕様による		・
・Ｙ－１	※地下外壁防水			
・Ｙ－２	※屋内防水		・適用する・適用しない	

Ｙ－１、Ｙ－２の工程数及び各工程の使用量
※ 標準仕様書 表9.5.2による　・ 主材料の製造所の仕様　・

5 ケイ酸質系塗布防水
（9. 6. 1~4）
（表9. 6. 1~2）

防水種別　※Ｃ－ＵＩ　・Ｃ－ＵＰ
規格　※ＪＡＳＳ８　Ｔ－３０１
壁及び天井部の防水層の下地
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書 表6.2.4 打放し仕上げの種別Ｂ種
施工箇所
記載のない事項は、主材料製造所の仕様による他、日本建築学会ＪＡＳＳ８防水工事最新版による

6 脱気装置
（9.2.3）（9.3.3）（9.5.3）

種別	種類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による ・ 個／㎡
AS-T3 AS-T4 AS-J1 ASI-T1 ASI-J1	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞの製造所の仕様による ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞの製造所の仕様による ・ 個／㎡
X-1	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・ 個／㎡

⑦ シーリング
（9.7.2）（表 9.7.1）

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは１７章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ALC版、サッシ廻り(仕上あり)	ポリウレタン系(PU-2)
笠木、シート防水端部(仕上なし)	変成シリコーン系(MS-2)

シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による　・
接着試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験

１０ 石工事

1 石　材
（10. 2. 1）

種類　※天然石　・人工石
品質　※１等品（床以外）　※２等品（床）
形状、寸法、厚さ及び割付　※図示
石材の種類及び表面仕上げ　表10. 2. 1~2

施工箇所	種類（産地、名称）	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無

2 取付け金物
（10. 2. 2）

乾式工法用金物の種類　・スライド方式　・ロッキング方式　表10. 2. 4

3 その他の材料
（10. 2. 3）

・石裏面処理材　※専門工事業者の指定する製品　・
・裏打ち処理材　※専門工事業者の指定する製品　・
・ドレンパイプの材質　※専門工事業者の指定する製品　・
・金物固定充填材料　※専門工事業者の指定する製品　・

１１ タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
（11. 1. 3）

位置　※表１１．１．１による　・図示による

② 材料
（11. 2. 2）（11. 3. 2）

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法（mm）	再生材の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 あり	なし	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	耐すべり性	備考
床	300×300	・	⊙	・	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	
外壁	50×100	・	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けること

役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内装	(標準一体成型品以外は接着成型品とする)
外装	出隅、天端出隅、窓台、マグサ

タイルの試験張り　※行わない　・行う（　）
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（　）
有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

③ 外部タイル張り
（11. 2. 3）（11. 2. 5）
（11. 2. 7）

施工箇所　※施設外壁（ホールを含む）　・図示による
適用タイル　・小口タイル　・二丁掛タイル　・
躯体表面処理　※２階以上を行う　⊙行わない
躯体表面処理工法の種類
※目荒し工法
高圧水洗による目荒しは、５０Ｍｐａ以上の水圧で２．５分／㎡程度とし、仕上がり面の程度は監督職員の承諾を受ける
施工箇所の躯体打増しは、図示による
・ＭＣＲ工法
ＭＣＲ工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による
施工箇所の躯体打増し厚さ及び範囲は、図示による
下地モルタル塗り　※モルタル　・ポリマーセメントモルタル　・行わない
ポリマーセメントモルタルの調合は、１５．３．３（４）による　表11. 2. 2~3
工法　※密着張り　・改良圧着張り　・改良積上張り　・モザイクタイル張り　表11. 3. 2
※接着度試験を行う。

④ 内部タイル張り
（11. 3. 3）（11. 3. 7）

施工箇所　※便所等　・図示による
適用タイル　・内装タイル　・５０角モザイクタイル　・
下地モルタル塗り　※モルタル　・ポリマーセメントモルタル　・行わない
ポリマーセメントモルタルの調合は、１５．３．３（４）による　表11. 2. 2~3
工法　※壁タイル接着剤張り　・改良積上げ張り　・　表11. 3. 2

１２ 木工事

① 表面仕上げ
（１２．１．４）

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・Ａ種	
	※Ｂ種	柱、鴨居、敷居、額縁など
	・Ｃ種	
手加工	・Ｈ－Ａ種 ・	
	・Ｈ－Ｂ種	
	・Ｈ－Ｃ種	

② 製　材
（12. 2. 1）

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※２級 ・		※Ａ種 ・		⊙

⊙「製材の日本農林規格」による造作材針葉樹製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
休憩室柱、鴨居、敷居、額縁	杉	図示	1級	単層	※Ａ種 ・		⊙

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※１等 ・		※Ａ種 ・		・

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用
			（　）造作材の場合（※Ａ種　・Ｂ種）	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※Ａ種 ・Ｂ種	・

・代用樹種を使用できない箇所（　）

3 造作用集成材
（12. 2. 1）

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※１等　・２等	・
				※１等　・２等	・
				※１等　・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯　材の樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※１等　・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯　材の樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※１５％以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯　材の樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※１５％以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯　材の樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※１５％以下	・

4 造作用単板積層材
（12. 2. 1）

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（加工　・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（等級：　）	・適用する ・適用しない	・

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		・有り（加工・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（　）	・適用する ・適用しない	※14%以下 ・	・

・直交集成板（ＣＬＴ）

施工箇所	品名	曲げ強度（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法（mm）	間伐材等の適用
							・
							・

⑤ 床張り用合板等
（12. 2. 1）

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
・普通合板

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接　着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

⊙構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	等級	単板の樹種名	接　着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
休憩室床	※12 ・	※2級以上 ⊙1級	針葉樹	※１類 ⊙特類	※C-D以上 ・		⊙適用する ・適用しない	⊙適用する（１級） ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※１類　・特類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※１類　・２類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用
		※１類　・２類			・適用する ・適用しない	・

・パーティクルボード

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	※15 ・		※13タイプ ・	※PF又はM ・	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ（mm）	等級
		・１級　・２級　・３級　・４級

・ミディアムデンシティーファイバーボード（ＭＤＦ）

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						・

⑥ 接　着　剤
（12. 2. 2~3）

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

7 防腐・防蟻処理
（12. 3. 1~2）

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：（　）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法
	※標準仕様書１２．３．１（イ）（ｂ）①～④による　・
	※標準仕様書１２．３．１（イ）（ｂ）①～④による　・
	※標準仕様書１２．３．１（イ）（ｂ）①～④による　・

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　）

１３ 屋根及びひさし工事

1 長尺金属板葺
（13. 2. 2~3）

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ（mm）	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322の屋根用ｺｲﾙ ・			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺　・縫掛葺 ・横葺　・	

下葺材料　・アスファルトルーフィング 940
・ 改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般ﾀｲﾌﾟ・複層基材ﾀｲﾌﾟ・粘着層付ﾀｲﾌﾟ）
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
雪止め　・設置する（図示）

② 折板葺
（13. 3. 2~3）

（13. 2. 2）（13. 3. 2、3）（表 13. 2. 1）

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ⊙ｴｾﾞ締め形 ・かん合形	108 90	400 300	（５）種 3	※鋼板製 ⊙ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製	0.8	⊙有り ・無し	⊙0分 ・無し
	・							

材料　板及びコイルの種類（塗装溶融55%Al-Zn合金めっき鋼板 ）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　AZ-150　）
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理　※標準仕様書 表14. 2. 20の F 種　・
断熱材 ⊙有り（種別：ガラス繊維フェルト　厚さ(mm)：5ｔ　防火性能：0. 5　時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（⊙　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応する工法
折板のけらば納め　※けらば包みによる方法　・

3 粘土瓦葺
（13. 4. 2~3）

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
							・適用する ・適用しない
							・適用する ・適用しない

JIS A 5208に基づく凍害試験等　・ 行う　・ 行わない

瓦桟木　材質　※杉又はひのき　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)　・
棟補強用心材　材質　※杉又はひのき　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)　・
棟補強等に使用する金物等　材質　※ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
・
形状、寸法及び留付け方法　※図示　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
瓦桟木の留付け工法　※図示　・
棟の工法　※標準仕様書13. 4. 3(4)(ｱ)～(ｴ)による　・

④ とい
（13. 5. 2~3）（表 13. 5. 5）

軒といの材種　・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　⊙ガルバリウム鋼板
竪といの材種　・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　⊙ガルバリウム鋼板
大型軒樋（GH12号）
竪樋90φ（GH12号）
とい受け金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔
※ 標準仕様書 表13. 5. 2により、ステンレス製とする
・
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
鋼管製といの防露巻き　・適用する（工法：※標準仕様書表13. 5. 4による　・　）
・適用しない

ルーフドレン

種別	施工箇所
⊙ろく屋根用 ⊙縦型　・横型）	玄関屋根
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

【工事名称】 宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）
【図面名称】 管理棟　建築工事特記仕様書３
【図面番号】 N52-KA-13-A003

（株）坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

14 金属工事

① あと施工アンカー
(14．1．3)

施工後の確認試験　※引張試験を行う　・行わない

表14．2．1

種別	色合等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
BB-1	⊙標準色（　　）・特注色（　　）	笠木、水切り、雨切り、EXP.J.
	・標準色（　　）・特注色（　　）	

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
(14．2．2)

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

表14．2．2

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	⊙Ｃ種	手すり
	・Ｄ種	
電気亜鉛メッキ	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

他の項目に特記されたものを除く

③ 鉄鋼の亜鉛めっき
(14．2．3)

④ 軽量鉄骨天井下地
(14.4.2~4)(表14.4.1)

野縁等の種類
屋外（※ 25 形　・ 19 形）　屋内（※ 19 形　・ 25 形）
⊙屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　・
周辺部の端からの間隔　・図示　・
野縁の間隔　・図示　・
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法　※図示　・
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法　※標準仕様書14.4.4(8)による　・図示
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　※図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所　※ 高さが６ｍを超える天井、それ以外は図示　・
補強方法　※「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」（平成25年国土交通省告示第771号）第３項第２項第二号に適合させる。
・図示

⑤ 金属成形板張り
(14．6．2)(14．6．3)

表14．2．1

種別	※アルミニウム　⊙カラーガルバリウム鋼板
製法	※押出し　⊙ロール
寸法（mm）	板幅 板厚　0.6ｔ
表面処理（表14.2.1）	種別（　　）　色合等（　　）
伸縮継手	・設ける（図示による）　※設けない
形状	・スパンドレル型　⊙図示による

⑥ アルミニウム製笠木
(14．7．2)(14．7．3)

部材の種類　⊙２５０形（呼称肉厚は１．６以上）　表14．7．1
・３００形（呼称肉厚は１．８以上）
・３５０形（呼称肉厚は２．０以上）
表面処理　種別（ BB-1 ）種
色合等　・無着色（　　）　⊙標準色（　　）　・特注色（　　）
隅角部及び突当り部等の役物　笠木製造所の仕様による
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（⊙　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑦ 手すり
(14．8．2)

材料の種別　⊙図示による　・
表面処理　⊙図示による　・

⑧ タラップ
(14．8．3)

材料の種別　※ステンレス（ＳＵＳ３０４）　・
表面処理　⊙図示による　・亜鉛めっきの場合は表１４．２．２のＣ種　・

9 サッシ取合い間仕切り板

※アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具の項による）
・鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　亜鉛の付着量Ｚ１２又はＦ１２）

10 エキスパンションジョイント金物

材質　・アルミニウム製　※ステンレス製
表面処理　種別（　　）種
色合等　・無着色（　　）　・標準色（　　）　・特注色（　　）
クリアランス　・５０　・１００　・１５０　・２００　⊙３００
耐火性能　・図示による

15 左官工事

① モルタル塗り
(15．3．2)(15．3．5)

モルタル　※ 現場調合材　・既調合材料（材料　　）
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示　・　　）
・設けない
床の目地　⊙設ける　目地割り　※２㎡程度、最大目地間隔３ｍ程度　・
種類　※押し目地　・
・設けない

② 床コンクリート直均し仕上げ
(15．4．2)(6．2．5)

下表以外は６．２．５及び１５．４．２による

平坦さ（mm）	施　工　箇　所
⊙ａ種	
・ｂ種	
・ｃ種	

3 セルフレベリング材塗り
(15．5．2)

種類及び品質（表15.5.1）　・せっこう系　・セメント系
標準塗厚（mm）　※ 図示　・

④ 仕上塗材仕上げ
(15．6．2)

・薄付仕上塗材　表15．6．1~2

呼び名	仕上げの形状	工法
・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	吹付け

・厚付仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材
・外装厚塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理	吹付け	・行う ・行わない

・複層仕上げ塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性 ※耐候形３種・　　）		
・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ⊙複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＥ	・凸部処理 ・凹凸状 ⊙ゆず肌状	・吹付け ⊙ローラー	・溶剤系 ・弱溶剤系 ※水系	※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系	※つやあり ・つやなし ・メタリック

・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法
・吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け
・こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする　・図示による

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

⑤ 所要量等の確認
(15．6．7)

所要量等の確認　※単位面積当たりの使用量による　・
仕上りの程度の確認　　標準仕様書 表１５．６．４による

16 建具工事

① 防火戸
(16．1．3)

⊙適用する　指定箇所（※建具表による　・　　）

2 建具見本の製作
(16．1．4)

※製作しない　・製作する（※納まり等が分かる程度のもの　・　　）

3 防犯建物部品
(16．1．6)

・適用する　適用箇所（※建具表による　・　　）

④ アルミニウム製建具
(16．2．2~5)

外部に面する建具の性能等級等　表16．2．1

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地			木下地	
	※Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種	・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	※Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	※Ａ－３		・Ａ－４	・Ａ－３	
水密性	※Ｗ－４		・Ｗ－５	・Ｗ－３	
枠見込み(mm)	⊙７０　⊙１００		・100　・	・	・
表面処理	種別（ BB-1 ）種 色合等　※標準色（　　）　・特注色（　　）				

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　⊙Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・

網戸等

種類	材質	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５mm以上	１６～１８メッシュ
・防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）	１．５mm	網目寸法　ピッチ１５mm

結露水の処理方法　※図示　・
水切り板、ぜん板　※図示　・

5 樹脂製建具
(16．3．2~5)

外部に面する建具の性能等級等　表16．3．1

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地			木下地	
	※Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種	・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	※Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	※Ａ－４				
水密性	※Ｗ－４	・Ｗ－５		・Ｗ－３	
枠見込み	※建具表による　・				
表面色	※標準色（　　）　・特注色（　　）				

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－４　・Ｈ－５　・Ｈ－６

網戸等

種類	材質	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５mm以上	１６～１８メッシュ
・防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）	１．５mm	網目寸法　ピッチ１５mm

水切り板、ぜん板　※図示　・

⑥ 鋼製建具
(16．4．2~4)

外部に面する建具の耐風圧性の等級　・Ｓ－４　・Ｓ－５　⊙Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　⊙Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
鋼板類の厚さ　※標準仕様書表16.4.2による　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

⑦ 鋼製軽量建具
(16．5．2~4)

外部に面する建具の耐風圧性の等級　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　⊙Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う
戸の鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ピニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板　(mm)

表16．5．1

区分	材質
召合わせ、縦小口包み板	※鋼板　・ステンレス　・アルミニウム
扉の表面材、押縁	※鋼板　・ピニル被覆鋼板
枠類	※鋼板（くつずりはステンレス）　・製作所仕様

8 ステンレス製建具
(16．6．2~5)

外部に面する建具の耐風圧性　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６　・
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
ステンレス鋼板（屋外）　※ＳＵＳ３０４　・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ＳＵＳ４４３Ｊ１
ステンレス鋼板（屋内）　・ＳＵＳ３０４　・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ＳＵＳ４４３Ｊ１
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（・ａ角　・ｂ角　・ｃ角）

9 木製建具
(16．7．2~4)

建具材の加工、組立時の含水率　※Ｂ種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
ふすまの材料　種別　※表１６．７．３のⅡ型
上張り紙　※ビニル紙　・新鳥の子
押入等の裏側　※雲花紙
縁の仕上げ　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
枠及びくつずり材料　※図示による

10 鍵
(16．8．4)

マスターキー　・製作する（　　組）　・製作しない　・既存に組込む
鍵箱　・設ける（　　個用　組）　・設けない

11 自動ドア開閉装置
(16．9．2~3)

センサーの種類　表16．8．1~3
※光線（反射）・熱線　・音波　・光電
・電波　・タッチ　・押しボタン　・多機能便所
取付け位置　・床面　※天井面　・壁面　・無目
凍結防止措置　⊙適用する　・適用しない

12 自閉式上吊り引戸装置
(16．10．3)

自閉式上吊り引戸装置の性能　※表１６．１０．１による

13 重量シャッター
(16．11．2)

種類　⊙管理用　・外壁用防火　⊙屋内用防火　・防煙
防火又は防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする
耐風圧強度　管理用（　　）Ｎ／㎡　外壁用（１０００）Ｎ／㎡
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等　※設ける　・設けない
開閉方式の種類　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　表16．11．1
管理用シャッターのシャッターケース　※設ける　⊙設けない
障害物感知装置　※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板　※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
⊙ステンレス（SUS304）

14 軽量シャッター
(16．12．2~4)

開閉方式の種類　※手動式　・上部電動式（手動併用）　表16．12．1
耐風圧強度（　　）Ｎ／㎡
スラットの材質　※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
JIS G 3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑｰ亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
スラットの形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形
シャッターケース　※設ける　・設けない
ガイドレールの材質　※ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ１．５mm（※中柱共）
座板（屋外の場合）　※ステンレス製既製品　・
障害物感知装置　※設ける　・設けない

15 オーバーヘッドドア
(16．13．2)
(16．13．3)

セクション材料による区分
※スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　・ファイバーグラスタイプ
耐風圧性能　・５００Ｐａ　・７５０Ｐａ　・１０００Ｐａ　・１２５０Ｐａ　・１７５０Ｐａ
開閉方式による区分　※バランス式　・チェーン式　・電動式
収納形式による区分　・スタンダード形　・ローヘッド形　・ハイリフト形　・バーチカル形
ガイドレールの材質　※溶融亜鉛めっき鋼板　・ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ２．０mm
障害物感知装置　※設ける　・設けない

16 ガラス
(16．14．2)

下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等　※建具表による　・
・合わせガラス

材料板ガラスの種類	組合せ	特性による種類
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ－１類 ・Ⅱ－２類　・Ⅲ類
・網入合わせガラス	・網入り、フロート板合わせガラス ・網入り、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ－１類 ・Ⅱ－２類

・強化ガラス

材料板ガラスの種類	材料板ガラスの種類による名称	特性による種類
※フロート板ガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類　・Ⅲ類
・型板ガラス	※型板強化ガラス	
・熱線反射ガラス	※熱線反射強化ガラス	

・複層ガラス

種　類	断熱性による区分						日射取得性、日射遮へい性による区分
・Low-E複層ガラス	・T1	・T2	・T3	・T4	・T5	・T6	・Ｇ　・Ｓ

・熱線反射ガラス

材料板ガラスによる種類	色　調
※熱線反射ガラス	・ブルー　・グレー
・高性能反射板ガラス	・ブロンズ　・シルバー

種　類	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※熱線反射ガラス ・高性能反射板ガラス	・１種 ・２種 ・３種	Ａ種 ・Ａ種　・Ｂ種 Ｂ種	

反射皮膜面　※内面　・外面
映像調整　※行わない　・行う

・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスの種類による名称	性能による種類	色　調
※熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入り磨き板ガラス	・１種　・２種	・グリーン ・

17 ガラスの留め材
(16．14．2)

建具の種類	材　種	ガラス溝の大きさ（mm）
鋼製	※シーリング材　・ガスケット	※建具の製造所の仕様による　・
アルミニウム製	※シーリング材　・ｶﾞｽｹｯﾄ(ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ形)	※建具の製造所の仕様による　・
ステンレス製	※シーリング材　・ガスケット	※建具の製造所の仕様による　・
木製	※シーリング材　・ガスケット	※建具の製造所の仕様による　・
樹脂製	※シーリング材　・ｶﾞｽｹｯﾄ(ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ形)	※建具の製造所の仕様による　・

ガラス溝の寸法、形状等
(16．14．3)

防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による

18 ガラスブロック積み
(16．14．5)

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調 クリア	色調 乳白	目地幅（mm） 平積み	目地幅（mm） 曲面積み	伸縮調整目地（mm）	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	※8~15 ・15~25	外側 ※15以下 ・ 内側 ※６以上 ・	※6m以下毎に10~25 ・図示による ・	※なし ・あり
	・160×160	・95　・125	・	・				
	・200×200	・95　・125	・	・				
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の１０倍以上とする
壁用金属枠及び補強材　・設ける　（形状　※図示による　・　　）
力骨　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）径５．５mmはしご形状複筋及び単筋　・
目地部の力骨の納まり　※ガラスブロック製造所の仕様による　・
化粧目地モルタルの色　（　　）
シーリング材　※表９．７．１による　・
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　・図示による　・
形状　・図示による　・
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

19 ガラス用フィルム

名　称	張り面	性能値
	・内張り　・外張り	
	・内張り　・外張り	

品質　ＪＩＳ　Ａ５７５９による。

20 付属電気設備
(16．15．2)

電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機０．４ｋｗ以上の場合は機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する

21 引き戸錠
(16．15．3)

※誤作動防止装置付き

17 カーテンウォール工事

① カーテンウォール
(17．1．3)
(17．2．2~5)
(17．3．2~5)

取付方法　・層間方式　・柱、梁方式　⊙方立方式　・スパンドレル方式
性能

耐震性能 水平方向（ｋＨ） 垂直方向（ｋＶ）	※１．０　・ ※０．５　・	気密性	・Ａ－１　⊙Ａ－２ ・Ａ－３　・Ａ－４　・
		耐火性	・３０分 ・１時間
		耐温度差性	・８０℃　・７０℃　・６０℃
		遮音性	・Ｔ－１　⊙Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
水密性	・Ｗ－１　⊙Ｗ－２　・Ｗ－３ ・Ｗ－４　・Ｗ－５	断熱性	・Ｈ－１　⊙Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４ ・Ｈ－５　・Ｈ－６

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離（ｈ）	耐風圧性能	状態
４ｍ以下	※たわみ量が±（１／１５０）ｘｈかつ絶対量２０mm以下であること ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと
４ｍを超える	・	

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量（ｈ＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※±（１／２００）ｘｈ以上 ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと シーリングは補修程度の損傷であること
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・±（１／３００）ｘｈ以上	

シーリング材　※標準仕様書表9.7.1による　・
構造用ガスケットの材質、形状、寸法　※図示　・
断熱材　種類（　　）　厚さ（　　）mm　施工箇所　※図示　・
その他の性能　図示による
種類　⊙メタルカーテンウォール
金属材料の種類（見掛かり部分の仕上げ）
⊙アルミニウム製（ BB-1　　）
・鋼製（　　）
・ステンレス製（　　）
ガラス溝の寸法、形状等　※ カーテンウォールの製造所の仕様による　・
・ＰＣカーテンウォール
コンクリート　※標準仕様書17.3.2(1)(ｱ)～(ｳ)による　・
鉄筋　※SD295A（・D13　・D10）
補強鉄線の径（mm）　※3.2　・4.0　・5.0　・6.0
先付けの材料　・建具枠　・ゴンドラ用ガイドレール　・
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

18 塗装工事

① 材料
(18．1．3)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

② 素地ごしらえ
(18．2．2~7)

⊙木部　・不透明塗料塗り　（※Ａ種　・Ｂ種）　表18．2．1~7
・透明塗料塗り　（・Ａ種　※Ｂ種）
⊙鉄鋼面　（・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種）
⊙亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）　（・Ａ種　・Ｂ種）
・ﾓﾙﾀﾙ面及びﾌﾟﾗｽﾀｰ面　（・Ａ種　※Ｂ種）
・ｺﾝｸﾘｰﾄ面及びALCﾊﾟﾈﾙ面　（・Ａ種　※Ｂ種）
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板面　（・Ａ種　※Ｂ種）
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法が継目処理工法（※Ａ種　・Ｂ種）
・その他の場合　（・Ａ種　※Ｂ種）

③ 錆止め塗料塗り
(18．3．2)(18．3．3)

(表18．3．1)(表18．3．3)

塗　装　面			塗　料	工　程
鉄鋼面	屋内（EP-G以外） 屋外	見え掛り	A種（JIS K 5674）	※Ａ種　・Ｂ種
		見え隠れ		・Ａ種　※Ｂ種
	屋内（EP-G）	見え掛り	B種（※JASS 18 M-111 ・JIS K 5674）	※Ａ種　・Ｂ種
		見え隠れ		・Ａ種　※Ｂ種

(表18．3．2)(表18．3．4)

塗　装　面			塗　料	工　程
亜鉛めっき鋼面	屋内（EP-G以外）	鋼製建具等	※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	※Ａ種　・Ｂ種
	屋外	鋼製建具等以外	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種	・Ａ種　※Ｂ種
	屋内（EP-G）	鋼製建具等	・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種	※Ａ種　・Ｂ種
		鋼製建具等以外	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	・Ａ種　※Ｂ種

④ 仕上げ塗料塗り
(18．4．1~18．14．2)

塗装の種類	塗装面（塗料の種別）		種　別
⊙合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）	・木部（外部）	※１種　・	※Ａ種　・Ｂ種
	・木部（内部）	※１種　・	・Ａ種　※Ｂ種
	・鉄鋼面	※１種　・	・Ａ種　※Ｂ種
	・亜鉛めっき鋼面	※１種　・	表１８．４．３
・クリアラッカー塗り（ＣＬ）	木部		・Ａ種　※Ｂ種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）	・屋内のコンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内のモルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
⊙耐候性塗料塗り（ＤＰ）	・屋外の鉄鋼面	上塗り等級（　）級	表１８．７．１
	・屋外の亜鉛めっき鋼面	上塗り等級（　）級	表１８．７．２
	・屋外のコンクリート面	上塗り等級（　）級	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）	・コンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・モルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
	・プラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうボード面		・Ａ種　※Ｂ種
	・		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内の木部		表１８．８．２
	・屋内の鉄鋼面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内の亜鉛めっき鋼面		表１８．８．４
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）	・コンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・モルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
	・プラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうボード面		・Ａ種　※Ｂ種
	・		・Ａ種　※Ｂ種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）	・屋内のコンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内のモルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内のプラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内のせっこうボード面		・Ａ種　※Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）	木部		・Ａ種　※Ｂ種
・オイルステイン塗り（ＯＳ）	木部	・水性　・油性	表１８．１３．１
・木材保護塗料塗り（ＷＰ）	木部		・Ａ種　※Ｂ種

【工事名称】 宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）

【図面名称】 管理棟　建築工事特記仕様書４

【図面番号】 N52-KA-13-A004

（株）坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

１９ 内装工事

① 接着剤
(19. 2. 2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。

② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル
(19. 2. 2)（19. 2. 3）

ビニル樹脂系材料の原材料
再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で１５％以上使用されているもの

⊙ビニル床シート

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）	工法
※発泡層のないもの	※ＦＳ ・ＴＳ	・プレーン ・マーブル ・特殊柄	※２．０ ・２．５	・突付け ※熱溶接
・発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ	・プレーン ・マーブル ・柄物	・	・突付け ・熱溶接

・ビニル床タイル

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）
※接着形	・ＦＴ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	※２．０　・
	・ＴＴ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	・
	・ＫＴ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	※２．０　・
※置敷形	・ＦＯＡ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	・
	・ＦＯＢ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	・

⊙特殊機能床材（帯電防止）

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
・帯電防止床シート	・ＦＳ ・	・	・２．０ ・	帯電防止性能評価値（ＪＩＳ　Ａ１４５５） １．２以上～３．２未満
⊙帯電防止床タイル	⊙ＦＯＡ ・ＦＯＢ	⊙標準色 ・	⊙　４.０ ・	又は体積電気抵抗値（ＪＩＳ　Ａ１４５４） 1×10^{7}～1×10^{10}Ω程度

・特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ（mm）	寸法（mm）	材料	色柄
⊙誘導用床材、注意喚起用床（表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１）	・	・３００×３００ ・４００×４００	※塩ビ　・合成ゴム 合成ゴム	・黄色 ・
⊙				

ビニル幅木の高さ（mm）　※６０　・７５
厚さ（mm）　※２．０　・
材質　※軟質　・硬質

③ カーペット敷き
(19. 3. 2)（19. 3. 3）

⊙タイルカーペット　（19. 3. 2~3）

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	事務室	※ 500×500	※ 7.0	帯電防止機能付き
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※ 500×500	※ 6.5	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※ 500×500	※ 6.5	

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・
見切り、押え金物の材質、種類及び形状　※ 図示　・

４ 合成樹脂塗床
(19. 4. 3)

・弾性ウレタン樹脂系塗り床材　表19. 4. 4
仕上げの種類　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗り床材　表19. 4. 5~7
工法の種類　・薄膜流しのべ工法　・厚膜流しのべ工法　・樹脂モルタル工法
仕上げの種類　・防滑仕上げ　・平滑仕上げ
塗料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

５ 床用防じん塗料塗り
材質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗りとし、総塗布量は０．２５Ｋｇ／㎡以上とする
仕上げの種類　・防滑仕上げ　・平滑仕上げ

６ フローリング張り
(19. 5. 2~6)

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種
種別・工法
・単層フローリング（・フローリングボード１等　・フローリングブロック１等　・モザイクパーケット）
・湿式工法　・乾式工法（・釘どめ工法　・接着工法）
※複合フローリング（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種）　表層　※なら　・ヒノキ
・乾式工法（・釘どめ工法　・接着工法）
仕上げ　※ウレタン樹脂ワニス　・オイルステイン塗りのうえワックス　・生地のままワックス
間伐材等の適用　※適用する　・適用しない
間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が
１０％以上であること
居室の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量（ＪＡＳ規格による測定方法）が平均
値で０．３ｍｇ／ｌ以下かつ最大値で０．４ｍｇ／ｌ以下であること

⑦ 畳敷き
(19. 6. 2)

種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　※Ｄ種　表19. 6. 1
Ｄ種の場合の畳床記号　・ＫＴ－Ⅰ　・ＫＴ－Ⅱ　⊙ＫＴ－Ⅲ
・ＫＴ－Ｋ　・ＫＴ－Ｎ

⑧ せっこうボードその他ボード及び合板張り
(19. 7. 2)

天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板の原材料
合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、製紙未利用低質
チップ、林地残材、かんき、小径木（間伐材を含む）等の再生資源である木質材料又は植物繊維
の重量比配合割合が５０％以上であること。（この場合、再生資材全体に占める体積比配合率が
２０％以下の接着材、混和剤等（パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質系セメ
ント板におけるセメント等で主要な原材料相互間を接着する目的で、使用されるもの）を計上せ
ずに、重量比配合率を計算することができるものとする）

目地工法の種類とせっこうボードのエッジの種類

目地処理の種類	張り方	せっこうボードのエッジの種類
・継目処理	・直張り　・上張り	※テーパーエッジ　・ベベルエッジ
・突付け	・直張り　・上張り　・下張り	※スクェアエッジ
⊙突付けＶ目地	⊙直張り　⊙上張り	※ベベルエッジ
・目透し	・直張り　・上張り	・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

⑨ 壁紙張り
(19. 8. 2)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別
図示による	図示による	図示による

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

１０ 断熱材打込み工法
(19. 9. 2)

断熱材の種類　※押出法ポリスチレンフォーム断熱材２種ｂＡ　厚さ　※２５ｍｍ　・
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ｂＡ（土間下）　厚さ　※２５ｍｍ　・
・硬質ウレタンフォーム断熱材１種２号　厚さ　※２０ｍｍ　・
・フェノールフォーム断熱材Ａ種　厚さ　・

断熱補修材　・断熱材と同材
※吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材（次項による）

フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

１１ 断熱材現場発泡工法
(19. 9. 3)

断熱材の種類　※Ａ種１　・Ａ種１Ｈ
厚さ　⊙２５　・３０　・
施工箇所　※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン廻りの床版下等、部分的に後張り
としなければいけない箇所
・図示による

１２ 断熱材の原材料
(19. 9. 2~3)

押出法ポリスチレンフォーム断熱材、グラスウール断熱材及びロックウール断熱材
フロン類が使用されていないこと。また、可能な限り熱損失防止性能の数値が小さいものであること。

１３ 不燃吸音織物内装材
ソファラ30ｔ（不燃）（ＡＢＣ商会同等）

２０ ユニット及びその他の工事

１ フリーアクセスフロア
(20. 2. 2)

施工箇所	⊙事務室	・
工法	⊙置敷式	・支柱調整式
耐震性能	⊙Ｔ．０Ｇ　・０．６Ｇ	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ
所定荷重	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ
パネル寸法（mm）	・	・
高さ（mm）	⊙００　・	・　・
床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット ⊙帯電防止床タイル	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※メーカー仕様　・図示による	※メーカー仕様　・図示による

寸法精度　※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)による　・
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※２０～３０％　・製造所の仕様による
配線取り出し開口　※パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上　・製造所の仕様による
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
※なし
・有り　（※固定式　・可変式）：　施工箇所（※図示による　・　　）
耐荷重性能　※変形5.0mm以下、残留変形3.0mm以下　・
耐衝撃性能　※残留変形3.0mm以下及び損傷がない　・
ローリングロード性能　※残留変形3.0mm以下　・
耐燃焼性能
・建築基準法に基づく不燃材料の指定又は認定を受けたもの
・JIS A 1450に基づく燃焼試験において、燃焼終了後の残炎時間が０秒であること

２ 可動間仕切
(20. 2. 3)

ＪＩＳ　Ａ６５１２によるほか、下記による
構造形式による種類　※スタッド式（・スタッド露出・スタッド内蔵）・スタッドパネル式
構成基材の種類　※図示による
表面材質及び厚さ（mm）　※鋼板０．６　・鋼板０．８　・
パネル表面仕上げ　メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色　・指定色）
パネル総厚さ（mm）　・　　mm程度
遮音性の区分　・０　・１５程度　・３０程度　・３６以上
防火性能　・不燃
パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　　）　・なし

③ 移動間仕切
(20. 2. 4)

パネルの操作方法による種類　⊙製造所の仕様による　・図示による
表面材質及び厚さ（mm）　※鋼板０．６　・
仕上げ　メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色　・指定色）
パネル総厚さ（mm）　・　　mm程度
パネル圧接装置の操作方法　・製造所の仕様による　・図示による
遮音性の区分　・３６未満　⊙３６以上　（ＪＩＳ　Ａ６５１２に準拠する）

④ トイレブース
(20. 2. 5)

表面材　※メラミン樹脂系化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板
ドアエッジ材質形状　※アルミＲエッジ　・
幅木材質形状　※ステンレス幅木　・

⑤ 階段滑止め
(20. 2. 6)

材種　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（・埋込工法　※接着工法）
端部フラットエンド　※有（※タイヤと同材　・ステンレス鋼）　・無
型式　※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り　・
幅（mm）　※約３５　・

⑥ 黒板及びホワイトボード
(20. 2. 8)

⊙ホワイトボード　ほうろう　形状及び寸法は図示による
・黒板　種類　・鋼製黒板　・ほうろう黒板　色彩　※緑　・　形状及び寸法は図示による

７ 鏡
(20. 2. 9)

取付箇所　・図示による　・（　　）
寸法（mm）　・図示による　・
厚さ（mm）　※５　・

⑧ 表示
(20. 2. 10)

⊙案内板　・施設案内板（※標準詳細図による　・図示による）
・各階案内板（※標準詳細図による　・図示による）
・視覚障害者用案内板（※図示による）
⊙室名札　※標準詳細図による　・市販品
・ピクトグラフ　標準案内図用記号　※ＪＩＳ　Ｚ８２１０による　・図示による
形状・その他　※図示による
・施設文字　※標準詳細図による　・
・切抜文字（・ステンレス製・黄銅製）　・箱文字（・ステンレス製・黄銅製）
字数（　　）　文字の大きさ（　　×　　）
⊙対人衝突防止表示　・図示による
⊙非常用進入口　・図示による
案内図用記号はＪＩＳ　Ｚ８２１０による

９ 煙突ライニング
(20. 2. 11)

煙突用成形ライニング材　適用安全使用温度　※４００℃　・６５０℃
キャスタブル耐火材　※煙突成形ライニング材の製造所の仕様による

１０ ブラインド
(20. 2. 12)

形式	・横型ブラインド	・縦型ブラインド（防炎性能を有するもの）
スラットの材種	アルミニウム合金製	・アルミスラット　・クロススラット
スラットの種類	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・１本操作コード式 ※２本操作コード式
スラットの幅（mm）	※２５　・３５	・８０以上　・１００

１１ ロールスクリーン
(20. 2. 13)

操作方式　・スプリング式　・コード式（チェーン式）　・電動式
材種　・図示による　・
遮光性能　・図示による　・
寸法　・図示による　・

１２ カーテン及びカーテンレール
(20. 2. 14)

カーテン

施工箇所	形式	開閉形式	操作方式	きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分	※手動 ・電動		
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分	※手動 ・電動		

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	カーテン用付属金物
	・１０－６０ ※１０－９０	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	
	・１０－６０ ※１０－９０	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	

・暗幕用は３００mm以上の召し合せの重掛けとする

１３ 点検口
天井　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　※４５０ｘ４５０　・６００ｘ６００
形式　一般型　外枠　⊙額縁タイプ　・目地タイプ
内枠　・額縁タイプ　・目地タイプ
枠の許容差　±０．５mm以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０mm以内
材料の品質及び性能
外枠、内枠の材質
アルミニウム合金押出形材　ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理　表１４．２．１のＡＣ－１種、ＡＣ－２種（外部はＢＢ－１種、ＢＢ－２種）
外枠及び内枠のコーナーピース、吊り金物、取付ボルト
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの

床　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　・４５０ｘ４５０　※６００ｘ６００
形式　※屋内用一般型　・密閉形
パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したもの
枠の許容差　±０．５mm以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０mm以内
材料の品質及び性能
受枠材、蓋枠材、コーナーピース、底板材、底板補強材
アルミニウム合金押出形材　ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理　表１４．２．１のＡＢ－１種、ＡＢ－２種、ＢＢ－１種、ＢＢ－２種
開閉方式　施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式
その他　製造所の仕様による

１４ 屋外掲示板
本体材質　※ステンレス製　・
照明器具　・有り　・無し
掲示板面材質　・
施錠装置　※有り　・無し
形状寸法　※図示による　・

１５ 鋼製書架及び物品棚
・固定式（下記以外は図示による）
鋼製書架　※ＪＩＳ　Ｓ１０３９による　・
鋼製物品庫　※ＪＩＳ　Ｓ１０３９による　・
⊙移動式　形状等は図示による

１６ くつふきマット
※塩化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））ワンライン型
・硬質アルミニウム合金製（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））
・ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））

１７ フェンス
フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・鋼管フェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス　・アルミフェンス
高さ　・図示による　・

１８ 階段手すり笠木

材質	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所
・集成材	・ＣＬ　・	・６０　・４５　・４０　・	
・ステンレスパイプ	・ＨＬ　・	・６０　・４５　・４０　・	
・鋼製パイプ	・ＥＰ－Ｇ　・	・６０　・４５　・４０　・	
⊙樹脂製		⊙３６	

１９ 天井見切り縁
材種　※アルミニウム既製品　⊙ビニル既製品

２０ ピクチャーレール
※見切り縁兼用タイプ　・
移動フック　２ヶ／ｍ　安全荷重　※１５kg以上　・

２１ 誘導用床材、注意喚起用床材
材種　・レジンコンクリート製（厚さ３０mm）　⊙磁器質タイル製　・コンクリート製（厚さ６０mm）
⊙樹脂製
表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１による
寸法　※３００ｘ３００
色　※黄色　・

２２ 旗竿
形式　・ロープ式（テーパー式）
※ハンドル式（テーパー式又は同一断面式）
材種　・アルミニウム合金　・
高さ（m）　・
旗竿受金物　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）製　・

２３ 既製家具
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

２４ 定礎
花崗岩（本磨き）700ｘ500ｘ50（鋼製裏箱含む）

２５ キッチン
流し台仕様
流し台：W1500天板ステンレス、排水カップ蓋共
コンロ台：W=600バックガード及び側面ガード（SUS304）
吊戸棚：W1500×H500
IHヒーター据え置きタイプ（２口IH）
レンジフード：シロッコファン共　W600×H600
システムライト（LEDタイプ）
電気温水器12L

２１ 排水工事

１ 排水管
(21. 2. 1)

水切り棚：W＝900ステンレス製
・遠心力鉄筋コンクリート
種類　※外圧管１種　・
呼び径　※図示　・
継手　※ゴム接合　・モルタル接合
・硬質ポリ塩化ビニル管
種類　・ＶＰ　・ＶＵ
・ＲＳ－ＶＵ
建物外での硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化
ビニルが製品全体重量比で３０％以上使用されていること
呼び径　※図示　・

２ 側塊、排水桝等
(21. 2. 1)

・鋳鉄製ふた
型式　※水封型　・簡易密閉型　・密閉型　・中ふた付密閉型
適用荷重（安全荷重［ｋＮ］）
屋内用　・Ｔ－２用（５）　・
屋外用　・Ｔ－２用（５）　※Ｔ－６用（１５）　・Ｔ－２０用（５０）　・
鍵　・有　・無
・グレーチング

種類	形式	用　途	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状
・鋼製	・受枠付 ・ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目	※凹凸形 ・
・ステンレス製	・受枠付 ・ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目	・凹凸形 ・平形

２２ 舗装工事

１ 路床
(22. 2. 2~5)

路床の構成　※標準詳細図による　・
盛土に用いる材料（表3.2.1による）　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土
凍上抑制層　※適用しない　・適用する（厚さ　　）
透水性舗装フィルター層　※適用しない　・適用する（厚さ　　）
路床安定処理　※適用しない　・適用する（方法　　）
支持力比（ＣＢＲ）試験　※行わない　・行う（※乱した土　・乱さない土）
締固め度の試験　※行わない　・行う
現場ＣＢＲ試験　※行わない　・行う

２ 路盤
(22. 3. 2~5)

路盤の構成　※標準詳細図による　・図示による
路盤材料　※再生材クラッシャラン　・クラッシャラン鉄鋼スラグ
締め固め度試験　※行わない　・行う

３ アスファルト舗装
(22. 4. 2~6)

舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
車道部の基層　・あり　・なし
アスファルト　※再生アスファルト　・ストレートアスファルト
骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材
加熱アスファルト混合物等の種類
※表層　※密粒度アスファルト混合物（１３）
・細粒度アスファルト混合物（１３）
・
・基層　・粗粒度アスファルト混合物（２０）
シールコート　※行わない　・行う
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

４ コンクリート舗装
(22. 5. 2~6)

コンクリート　※標準仕様書表22.5.1による　・
舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
溶接金網　※使用する（１５０Ｘ１５０Ｘ６φ）　・使用しない
コンクリート版の厚さの試験　※行わない　・行う

５ 透水性アスファルト舗装
(22. 7. 2~6)

舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
アスファルト　※再生アスファルト　・ストレートアスファルト
骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

６ ブロック系舗装
(22. 8. 2)（22. 8. 3）

舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
※インターロッキングブロック
材質（※コンクリート　・　　）　種類（※普通　・透水性　・保水性）
形状（・長方形　・正方形　・六角形）　厚さ（・６０　・８０　・１００）
表面加工　・ショット仕上げ　表22. 8. 1
クッション材　※空練りモルタル　・砂
・再生材料を用いた舗装用ブロック（焼成）
・再生材料を用いた舗装用ブロック類（プレキャスト無筋コンクリート製品）

７ 区画線
路面表示用塗料（ＪＩＳ　Ｋ５６６５（路面表示用塗料）による）
・１種　・２種　※３種１号
色　※白　・　塗布幅　※図示による　・　塗布厚さ　※1.0　・

２３ 植栽及び屋上緑化工事

１ 植栽地の確認
(23. 1. 3)

土壌の水素イオン濃度指数（ｐＨ）試験　・行う　※行わない
電気伝導度（ＥＣ）の試験　・行う　※行わない

２ 植栽基盤の整備
(23. 2. 2~4)

排水　・設置する（・暗きょ　・閉きょ　・排水層　・縦穴排水）　・設置しない
電気伝導度（ＥＣ）の試験　・行う　※行わない
整備工法　表23. 2. 2
樹木　・行う（※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種）　※行わない
芝及び地被類　※行う（※Ｂ種　・　　）　・行わない
植込み用土　※現場発生土の良質土　・客土
土壌改良材
・適用する（施工箇所　　）
・バーク堆肥
製品は以下を満足すること
有機物の含有率（乾物）　：７０％以上
炭素窒素比［Ｃ／Ｎ比］　：３５以下
陽イオン交換容量［ＣＥＣ］（乾物）：７０ｍｅｑ／１００ｇ以上
ｐＨ　：５．５～７．５
水分　：５５～６５％

窒素全量［Ｎ］（現物）　：０．５％以上
りん酸全量［Ｐ２０５］（現物）　：０．２％以上
加里全量［Ｋ２Ｏ］（現物）　：０．１％以上
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和４８年総理府令第５号）の別表
第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないもの
ひ素：０．００５％以下　カドミウム：０．０００５％以下
水銀：０．０００２％以下　ニッケル：０．０３％以下
クロム：０．０５％以下　鉛：０．０１％以下
有機物の含有率（乾物）：３５％以上　炭素窒素比［Ｃ／Ｎ比］：２０以下
ｐＨ：８．５以下　水分：５０％以下
窒素全量［Ｎ］（現物）：０．８％以上　りん酸全量［Ｐ２０５］（現物）：１．０％以上
アルカリ分（現物）：１５％以下（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの
限りでない）
施工箇所の土壌及び植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行う
ものとする

３ 支柱材
(23. 3. 2)

※丸太（間伐材）　・真竹

４ 新植樹木の枯補償
(23. 3. 4)

枯補償の期間　※引渡しの日から１年　・
枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のもの再植樹すると
ともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする

５ 移植樹木の枯損処置
(23. 3. 5)

枯損処置の期間　※引渡しの日から１年　・
枯損処置の期間内に樹木が枯した場合は、伐採及び伐根を行い、良質土で埋め戻し整地するものとする

【工事名称】　宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）
【図面名称】　管理棟　建築工事特記仕様書５
【図面番号】　N52-KA-13-A005

（株）坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

使用材料一覧表

部品名	取付場所	番号（参考同等品）	メーカー名（同等メーカー）	特記
押出し成形セメント板60t	外壁		株式会社ノザワ	ニューセーフティ工法
折板108山	屋根	ヨドルーフ108山ハゼ	株式会社　淀川製鋼所	
折板90山	屋外階段、渡り廊下屋根	ヨドルーフ90山ハゼ	〃	
	庇・ポーチ廻り屋根			
軒樋	大屋根他	HACO GH12号	タニタ	ガルバリウム鋼板
竪樋	〃	９０φ	〃	〃
硬質木片セメント板	パラペット立上り下地			
小庇	1階通用口上部	グロンダードT型	(株)ツヅキ	
防水	屋外階段・機械置場	ウレタン系塗膜防水(X1,X2工法)		経年劣化を考慮し補強布不要の製品が望ましい
エキスパンションジョイントカバー	躯体非接触部	ステンレス製	理研軽金属(株)	
鋼製建具	外部廻り		三協立山(株)	
室内鋼製建具	室内		三和シャッター(株)	
シャッター	車庫、受付		三和シャッター(株)	
トイレブース	トイレ		三和シャッター(株)	
グレーチング	歩廊	R13JL	ダイクレ	亜鉛メッキ処理　専用取付金物共
後付タラップ	2階 倉庫兼書庫	KA-ATR19S		
スクリーンボード	3階 大会議室	WOL-BR	泉株式会社	
電動遮光遮光スクリーン	〃	マイテックループ 遮光N	TOSO株式会社	
天板	カウンター、ライニング	t=22	アイカ工業(株)	各箇所共通
耐火塗料塗	内部　鉄骨柱露出部	SKタイカコート	エスケー化研(株)	30分耐火
耐火区画壁（1）	EV壁	Sウォール-WR 1時間耐火壁	吉野石膏	LGS下地　タイガーボード ・タイプZ-WR 21mm+21ミリ張　（片面張り）
耐火区画壁（2）	ホール間仕切壁、 渡り廊下間仕切	S12　1時間耐火壁	吉野石膏	LGS下地　タイガーボード ・タイプZ-12.5mm+12.5ミリ張（両面張り）

部品名	取付場所	番号（参考同等品）	メーカー名（同等メーカー）	特記
耐火被覆	外部　鉄骨露出部 （屋外階段、渡り廊下）	セラタイカ（外部仕様）	エスケー化研(株)	

什器備品一覧表

階	設置場所	家具名	形状寸法	数量	品番（参考同等品）	メーカー名（同等メーカー）	備考
1	通用口	下足入	W900×D515×H1790	1	SLK-HT6DGF1	コクヨ同等	水受けトレー付
		ヘルメットラック	ミドリ安全　ヘルメットラック SCキーパー	6	ヘルメットラック SCキーパー	ミドリ安全同等	
		傘立て	W400×D160×H500	1	US-G25	コクヨ同等	
	事務室	デスク	W1200×D750×H720	4	SD-ISN1275LCASPAWNN	コクヨ同等	
		デスク	W1500×D750×H720	1	SD-ISN1575LCASPAWNN	コクヨ同等	
		椅子	W680×D565×H890	5	C04-B192CW-BKYKYK1	コクヨ同等	
		掲示板	W1800×H900	1			
		応接用ソファ	W1300×D650×H760×SH410	2	CE-972W83HHN13	コクヨ同等	
		応接用センターテーブル	W1200×D600×H500	1	NT-252W85N	コクヨ同等	
		ポスト	W1200×D600×H500	1	NX102	田島メタルワーク	
	応接室	応接用ソファ	W1780×D770×H720xSH330	1	CE-173W29CLJO6NN	コクヨ同等	
		応接用センターテーブル	W1500×D650×H450	1	NT-S120W85NN	コクヨ同等	
	書庫	棚	W890×D315×H2100	6	SE-S07317SAW	コクヨ同等	
		棚	W1215×D315×H2100	2	SE-S07417SAW	コクヨ同等	
	男子更衣室	ロッカー	W300×D515×H1790	5	LK-N1SAW	コクヨ同等	
		タオル掛け	W478×D44×H25	1	TY902S4	ＴＯＴＯ同等	下地補強
	女子更衣室	ロッカー	W300×D515×H1790	3	LK-N1SAW	コクヨ同等	
		タオル掛け	W478×D44×H25	1	TY902S4	ＴＯＴＯ同等	下地補強
2	中会議室	会議用テーブル（パネル付）	W1800×D450×H720	8	KT-PS1201MT1N3	コクヨ同等	
		会議用イス	W560×D555×H790×SH435	16	CK-720WPAWGXE3-W	コクヨ同等	
	小会議室	会議用テーブル（パネル付）	W1800×D450×H720	4	KT-PS1201MT1N3	コクヨ同等	
		会議用イス	W560×D555×H790×SH435	8	CK-720WPAWGXE3-W	コクヨ同等	
	休憩室	テーブル	W1800×D450×H720	2	KT-PS1201MT1N3	コクヨ同等	
		会議用イス	W560×D555×H790×SH435	4	CK-720WPAWGXE3-W	コクヨ同等	

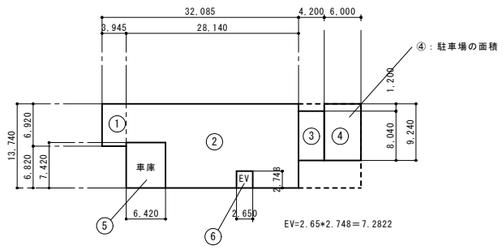
	設置場所	家具名	形状寸法	数量	品番（参考同等品）	メーカー名（同等メーカー）	備考
2	書庫兼倉庫	棚	W1840×D360×H2000	2	RJ-1816F1	コクヨ同等	
		棚	W1040×D360×H2000	3	RJ-1016F1	コクヨ同等	
		棚	W1840×D360×H2000	2	RJ-1826F1	コクヨ同等	
		棚	W1040×D360×H2000	3	RJ-1026F1	コクヨ同等	
		図面保管庫	W978×D740×H415	2	MC-A1F1	コクヨ同等	
3	大会議室	テーブル	W1200×D450×H720	36	KT-PS1204PAWN3	コクヨ同等	
		テーブル	W1800×D450×H720	9	KT-PS1200PAWN3	コクヨ同等	
		会議用イス	W475×D555×H815	105	K11-M34-PWT41	コクヨ同等	
		イス収納台車	W605×D965×H1145	5	CP-360	コクヨ同等	
		演壇	W600×D450×H1050	1	WA-183RNN	コクヨ同等	

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）
名称	管理棟 特記仕様書（6）
検図	
尺度	
単位	
検図	
検図	
完成	令和４年５月３１日
設計	
製図	
図番	52-KA-13-A006
図面	

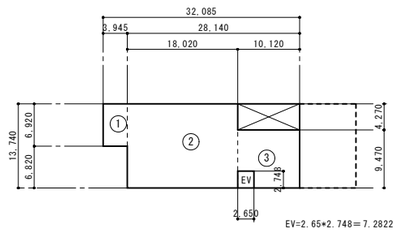
(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
1級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

1階床面積　求積図　S=1/500



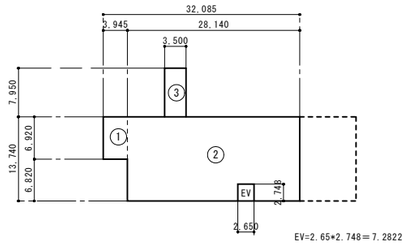
①	3.945 ＊ 6.920 ＝	27.299	（駐輪場面積）	屋外階段：27.299
②	28.140 ＊ 13.740 -6.42 ＊ 74.42 － 2.65 ＊ 2.748 ＝	331.725		管理棟本体：475.851
③	4.200 ＊ 8.040 ＝	33.768		
④	6.000 ＊ 9.240 ＝	55.440	（駐車場面積）	
⑤	6.420 ＊ 7.420 ＝	47.636	（車庫面積）	
⑥	2.650 ＊ 2.748 ＝	7.2822		
	合　計	503.15		

2階床面積　求積図　S=1/500



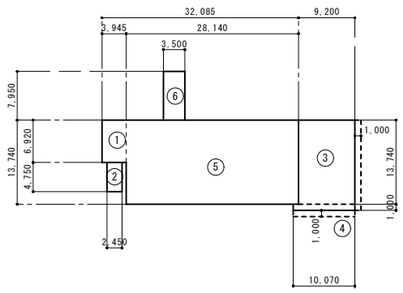
①	3.945 ＊ 6.920 ＝	27.299		屋外階段：27.299
②	18.020 ＊ 13.740 ＝	247.595		
③	10.120 ＊ 9.470 ＝	95.836		管理棟本体：343.431
	合　計	370.730		

3階床面積　求積図　S=1/500



①	3.945 ＊ 6.920 ＝	27.299	（屋外階段３階床面積）
②	28.140 ＊ 13.740 ＝	386.644	（管理棟３階床面積）
③	3.500 ＊ 7.950 ＝	27.825	（渡り廊下３階床面積）
	合　計	441.77	

建築面積　求積図　S=1/500



①	3.945 ＊ 6.920 ＝	27.299		
②	2.450 ＊ 4.750 ＝	11.638	38.937	（屋外階段）
③	9.200 ＊ 13.740 ＝	126.408		
④	10.070 ＊ 1.000 ＝	10.070	523.122	（管理棟本体）
⑤	28.140 ＊ 13.740 ＝	386.644		
⑥	3.500 ＊ 7.950 ＝	27.825	27.825	（渡り廊下）
	合　計	589.884		

構造別面積表

	管理棟	屋外階段	渡り廊下	合　計
建築面積	523.12 ㎡	38.94 ㎡	27.83 ㎡	589.89 ㎡
1階床面積	475.85	27.30	－	503.15
2階床面積	343.43	27.30	－	370.73
3階床面積	386.64	27.30	27.83	441.77
延床面積	1,205.92 ㎡	81.90 ㎡	27.83 ㎡	1,315.65 ㎡

	EV昇降路面積	車庫及駐車場	駐輪場
1階床面積	7.28	102.98	27.30
2階床面積	7.28	－	－
3階床面積	7.28	－	－
合計	21.84 ㎡	102.98 ㎡	27.30 ㎡

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
1級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

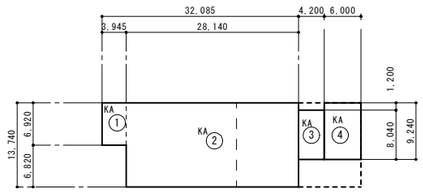
番号	品名	材質	数量	摘要

工事名　宇佐・高田・国東　広域ごみ処理施設整備事業
（管理棟外付属棟建設工事）

名称　管理棟　求積図

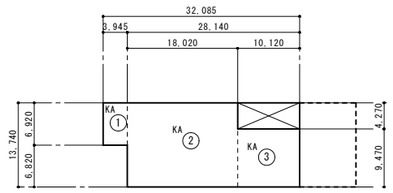
	検図	尺度 A1:1/500 A3:1/1000	単位
検図	検図	完成 令和４年 ５月３１日	
設計	製図	図番 N52-KA-13-A009	
DWNo.			

1階床面積　求積図　S=1/500



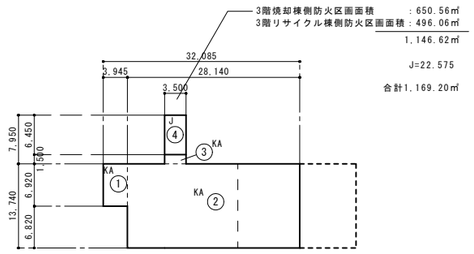
KA区画			
①	3.945 ＊ 6.920 ＝	27.299	
②	28.140 ＊ 13.740 ＝	386.644	
③	4.200 ＊ 8.040 ＝	33.768	
④	6.000 ＊ 9.240 ＝	55.440	
	合　計	503.151	

2階床面積　求積図　S=1/500



KA区画			
①	3.945 ＊ 6.920 ＝	27.299	
②	18.020 ＊ 13.740 ＝	247.595	
③	10.120 ＊ 9.470 ＝	95.836	
	合　計	370.730	

3階床面積　求積図　S=1/500



3階焼却棟側防火区画面積　：650.56㎡
3階リサイクル棟側防火区画面積：496.06㎡
1,146.62㎡

J=22.575

合計1,169.20㎡

KA区画			
①	3.945 ＊ 6.920 ＝	27.299	
②	28.140 ＊ 13.740 ＝	386.644	419.193
③	3.500 ＊ 1.500 ＝	5.250	
J区画			
④	3.500 ＊ 6.450 ＝	22.575	
	合　計　A区画	419.193	J区画　22.575

防火区画面積表

	KA区画	J区画		合　計
1階床面積	503.15	——		503.15
2階床面積	370.73	——		370.73
3階床面積	419.19	22.58		441.77
延床面積	1,293.07 ㎡	22.58 ㎡		1,315.65 ㎡

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
1級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名　宇佐・高田・国東　広域ごみ処理施設整備事業
（管理棟外付属棟建設工事）

名称　管理棟　防火区画求積図

	検図	尺度	A1:1/500 A3:1/1000
単位			
検図	検図	完成	令和４年　５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A010
DWNo.			

特記事項

内装仕上げ使用材料は全てＦ☆☆☆☆とする(のり、接着剤、合板等)	外壁断熱材は硬質発泡ウレタン吹付15ｔとする
ＬＧＳ下地は　間仕切100・65・50（図示）　軽天(外部)25　軽天(内部)19　とする	上記断熱材範囲：外壁に面する壁、柱型、梁型および外部に面するスラブ裏とする
鉄骨見掛り部は(外部)亜鉛ドブ漬けまたは亜鉛メッキ処理品、(内部)特記無きかぎりＯＰ塗りとする	カーテン・ブラインドは防炎品とする
内部サッシュ廻り額縁・コーナービード等木部はカタヤ（シオジ・タモ）ＣＬ塗とする	
内部サッシュ廻り額縁は、アルミ製型材又はアルミL-2.0t曲げ加工品とする(コーナー留加工)	鉄骨の柱は施工令70条の規定により、平成12年建設省告示第1356号による耐火被覆を行うこと
天井裏断熱材グラスウールおよび大会議室遮音用グラスウールは24kg/m3とする	事務室等の柱見え隠れ部分は石膏ボード12.5ｔ張りにより被覆すること。施工が難し部分はロックウール吹付等で代用すること。
手洗い・便所の面台はポストフォームとする	また、渡り廊下1階の柱及屋外階段の柱部分はセラミック系吹付材20ｔによる被覆の上屋外部用吹付塗装とする。
コンクリート表し部分の出隅は面取りすること	（耐火被覆部分は亜鉛メッキなしとする。）
エキスパンションジョイントカバーは、ステンレス製とする	内部の柱部分はセラミック系吹付材10ｔとする。
	※杭工事について、渡り廊下の焼却棟側の２本の杭は焼却棟の杭工事と合わせて先行して施工を行うこと。

主要防火材料認定番号表

ＥＶ竪穴区画:Sウォール-WR 1時間耐火壁　認定 FP060NP-0075
LGS下地　タイガーボード・タイプZ-WR 21ｍｍ+21ミリ張

ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ竪穴区画および3階渡り廊下防火区画：
LGS下地　タイガーボード・タイプZ12.5ｍｍ+Z12.5ｍｍ2重張
及び押出し成形セメント板60ｔ

表記	名称	厚み	防火種別	認定番号
PBｔ12.5	せっこうボード	12.5	不燃	NM-8612・NM-8616 NM-8619
PBｔ9.5	せっこうボード	9.5	準不燃	QM-9828
耐水PBｔ12.5	不燃シージングせっこうボード	12.5	不燃	NM-9639
化粧石膏ボード	不燃積層化粧せっこうボード	9.5	不燃	NM-8613
ケイカル板	繊維混入ケイ酸カルシウム板	6.0	不燃	NM-1217
化粧ケイカル板	化粧繊維混入ケイ酸カルシウム板	6.0	不燃	NM-8579

※防火区画、防火上主要な間仕切を貫通する設備配管等は、
貫通部からそれぞれ両側１ｍ以上不燃材料とする。

外部仕上表

屋　　根	カラーガルバリウム鋼板0.8ｔ　折板108山　ハゼ　Ｒ加工　　裏張り　ガラス繊維フェルト5ｔ　軒先換気面戸　　屋根タラップ、転落防止金物	屋外階段廻り屋根	カラーガルバリウム鋼板0.8ｔ　折板90山　ハゼ　　裏張り　ガラス繊維フェルト5ｔ　軒先換気面戸
		軒　　樋	
ケラバ・鼻隠し	カラーガルバリウム鋼板0.6ｔ曲加工　下地　硬質木片セメント板18ｔ	同上　外　壁	外壁（1）に同じ
軒　　樋	ガルバリウム鋼板0.5ｔ（GH12号同等）　受金物@455　　自在ドレン	同上　軒　裏	屋根：折板裏張り表し　床裏：デッキ表し（亜鉛メッキ品）
竪　　樋　(1)	カラーVP90　　つかみ金物　SUS304	同上　巾　木	1Ｆ：コンクリート打放し　　2Ｆ：ウレタン防水巻上
竪　　樋　(2)	ガルバリウム製90φ（GH12号-90φ同等）　　飾桝付き　　つかみ金物　SUS304	同上　　床	1Ｆ：コンクリート金ゴテ押え　出隅部面取り　　2・3Ｆ：モルタルコテ押エ下地ウレタン防水　勾配付　　排水溝　ウレタン塗膜防水　　中継ドレン
		同上　手　摺	スチール製　亜鉛メッキドブ付
外　　壁　(1)	外装用モザイクタイル100×50貼　接着剤張工法　下地　押出し成形セメント板60ｔ（二層式ウレタンガスケット内部水切りプレート工法）　水抜きパイプ（ＳＵＳ）	同上　階　段	スチール製　亜鉛メッキドブ付
外　　壁　(2)	大型リブ形状スパンドレル0.6ｔ縦張り	同上　門　扉	メッシュフェンス両開き門扉(鉄骨柱に取付　丁番:現場溶接)　柱、壁間メッシュフェンス
巾　　木	コンクリート打放し	室外機置場　屋根	屋外階段に同じ
		同上　外　壁	外部：アルミ防音ルーバー　　内部：複層塗材E　下地押出し成形セメント板60ｔ
		同上　軒　裏	屋外階段に同じ
庇・ﾎﾞｰﾁ廻り屋根	塩ビシート防水1.5ｔ　断熱防水工法　脱気筒　下地コンクリート　　排水溝：ウレタン塗膜防水　　立上り：塩ビシート防水1.5ｔ　下地:硬質木片セメント板　オーバーフロー管 3箇所	同上　巾　木	屋外階段に同じ
	錆鉄製ルーフドレン	同上　　床	モルタルコテ押エ下地ウレタン系塗膜防水(X2工法)　出入口ドア下部:チェッカープレート(SUS-304 4.0t)　SUS製EXP.Jカバー　機械置場:横引きルーフドレン75φ　ステンレス製飾り桝
同上笠木・幕板	フッ素焼付塗装　アルミ2.0ｔパネル加工　（パネル裏　結露防止発泡ウレタン吹付）	同上　手　摺	スチール製　亜鉛メッキドブ付
同上　軒　裏	岩綿吸音板9ｔ（軒天用）捨て貼りPB9.5ｔ　軽天25型下地	植　　込	縁石:片面歩車道境界ブロック(A種)　　別途外構工事：（良質山土H800　植栽:ヘデラ）
同上　外　壁	外壁（1）に同じ	建　　具	ＳＵＳ製シャッター、アルミ製建具(ＥＰＣ用枠)一部(ＡＬＣ用)、スチール製ドア
同上　巾　木	コンクリート打放し		
ポーチ　　床	300角磁器質タイル　下地モルタル　段鼻ノンスリップタイル　　玄関マット　ＳＵＳ製（枠共）	渡り廊下屋根	カラーガルバリウム鋼板0.8ｔ　折板90山　ヨドルーフ同等　裏貼ニュー不燃G5ｔ　軒先換気面戸
車いす駐車場　床	アスファルト舗装　　区画線(車いす用マーク、斜線)　　車止め(既製品)	流れ方向水切	カラーガルバリウム鋼板0.6ｔ加工
		同上　外　壁	ALCt=100 複層塗材E吹付
1階構造スラブ	断熱材：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑｔ＝50　3種、防湿用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄｔ＝0.15敷込、砕石（再生クラッシャラン）厚100	同上　軒　裏	スチール製グレーチング　床周囲間塞ぎ材:チェッカープレートt=4.5　鋼材 溶融亜鉛メッキ処理
小庇	1階通用口1外部　アルミ製軽量ユニット庇	下端水切	下端水切:アルミパネルt=2.0 曲げ加工
		歩　　廊	床:スチール製グレーチング　床周囲間塞ぎ材:チェッカーPL-4.5　亜鉛メッキ処理　溶接固定
		屋根タラップ	L-65×65×6(亜鉛メッキ処理)　　手摺　34φ×2.0　ステンレス製
		落下防止金物	L-40×40×5(亜鉛メッキ処理)　　ハゼ掴み金物で固定
		外構工事	アスファルト舗装、駐車場区画線、斜線、車止めは別途外構工事とする。（ただし、車庫の中の車止めは本工事に含む）

ロ-2準耐

柱：不燃材料（鉄骨及びRC）
はり：不燃材料（鉄骨及びRC）
壁　外壁：不燃材料（ALC100ｔ及びＲＣ、押出成形セメント板）
　　間仕切壁（構造・防火上重要なもの）：不燃材料（ALC100ｔ及びＲＣ）
床　３階以上の床：不燃材料で造る。さらに準耐火構造の床（デッキ+コンクリート（合成床版）、RC造）
　　その他の床：不燃材料（デッキ+コンクリート及びRC造）
屋根：不燃材料（折板）
防火区画の間仕切り（ALC）：受け梁は耐火被覆とする。
PS：PSの防火区画は水平区画とし、階床毎に区画を行うこと。

仕様材料　性能表

カラーガルバリウム鋼板(屋根)	不燃：ＮＭ―８６９７	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火1級)+石膏ボード12.5t(不燃)+不燃下地	不燃：ＮＭ－９９０４	ニュー不燃G5ｔ	不燃：ＮＭ－８６７３
ＡＬＣ100ｔ(屋根・外壁・間仕切壁)	1時間耐火間仕切：国土交通省告示　第1399号	石膏ボード12.5ｔ	不燃：ＮＭ－８６１９	ロックウール吹付10ｔ	不燃：ＮＭ－８６０１
ＡＬＣ100ｔ(床)	1時間耐火：ＦＰ060ＦＬ-9119	石膏ボード9.5ｔ(不燃)	不燃：ＮＭ－０４４１		
		シージングボード12.5ｔ	不燃：ＮＭ－９６３９	セラミック系断熱材吹付10ｔ（柱　鋼管）	１時間耐火：ＦＰ０６０ＣＮ－０２５２
ＱＬデッキ+コンクリート(床)	1時間耐火：FP060FL-9095	メラミン不燃化粧板3ｔ	不燃：ＮＭ－２１８３	セラミック系断熱材吹付10ｔ（柱　Ｈ鋼）	１時間耐火：ＦＰ０６０ＣＮ－０２５３
耐火間仕切(1)強化石膏ボード21ｔ　2重張(片面)	1時間耐火：ＦＰ060ＮＰ-0007	ケイカル板6ｔ	不燃：ＮＭ－８５７８	セラミック系断熱材吹付10ｔ（梁　Ｈ鋼）	１時間耐火：ＦＰ０６０ＢＭ－０２７４
耐火間仕切(2)強化石膏ボード12.5ｔ　2重張(両面)	1時間耐火：ＦＰ060ＮＰ-0174	化粧石膏ボード9.5ｔ(不燃ジプトーン)	不燃：ＮＭ－１８６４	セラミック系断熱材吹付20ｔ（屋外仕様　柱）	１時間耐火：ＦＰ０６０ＣＮ－９００１
		岩綿吸音板9ｔ	不燃：ＮＭ－８５９９	耐火塗料（柱　鋼管）	30分耐火：ＣＣ－０００１
		ＧＷボード吸音材50ｔ	不燃：ＮＭ－８６０６		
		剛体多孔質吸音材50ｔ	不燃：ＮＭ－８６１０		

特 記			
	※防火区画、防火上主要な間仕切を貫通する設備配管等は、貫通部からそれぞれ両側１ｍ以上不燃材料とする。	※内部仕上の材料はＦ☆☆☆☆とする。	防火区画などを貫通する配管等の処理は、貫通する部分及び前後1,000mmをロックウール保温材にて施すか、建設省告示第1422号(平成12年)又は国土交通大臣認定の方法を適用すること。
	※給水・排水その他の配管設備については、令129条の2の4に適合させること。	※天井・小屋裏の材料はＦ☆☆☆以上とする。	※工事施工着手に際し、工事期間中に於ける交通安全、近隣対策等近隣との協議を十分に行うこと。
	※法28条の2 二号：石綿等をあらかじめ添加した建築材料を使用しないこと。	※火気使用がある場合は、消防法9条の基準に適合すること。	
	※法37条に適合する建築材料を使用すること。	※消防法17条：消防用設備等は政令で定める技術基準に適合すること。	
	※カーテン、カーペットを使用する場合、防炎認定品(防炎表示付き)を使用することとする。	※工事に際し、諸官庁への届出等必要な場合は、請負業者の責任に於いて遅滞なく行うこと。	消防用設備等については、計画書の通り施工します。

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）		
名称	管理棟 外部仕上表		
	検図	尺度	単位
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A011
備考			

内部仕上表

階	室名		床	巾木	腰	壁	廻縁	天井	天井高	備考	カーテンブラインド	室名札
1	風除室		300角磁器質タイル　下地モルタル	外装用モザイクタイル	外装用モザイクタイル　下地　押出し成形セメント板60ｔ	外装用モザイクタイル　下地　押出し成形セメント板60ｔ	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り 吊りボルト振れ止め補強 水平補強	3,900			
	エントランスホール		300角磁器質タイル　下地モルタル	鉄骨丸柱:SUS-304 HL 1.5 H=300	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り　全上	3,800	ピクチャーレール、案内板、視覚障害者用サインタイル、手摺		サインパネル(案内板)
				一部外装用モザイクタイル	一部外装用モザイクタイル　下地押し出し成型セメント板60ｔ	一部外装用モザイクタイル　下地押し出し成型セメント板60ｔ		一部ビニルクロス　下地　石膏ボード9.5ｔ　全上		消火器BOX(半埋込式)　露出鉄骨柱:30分耐火 耐火塗料塗		
	廊下		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り　全上	2,600	防火戸上部取付下地に補強斜材を施工すること　消火器BOX(半埋込式)		
	通用口１，２		磁器質150角タイル　下地モルタル	ＳＵＳ　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り　全上	2,600	ＳＵＳ床見切　　下駄箱　ヘルメットラック		
	事務室		帯電防止タイルカーペット4.0ｔ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り　全上	2,600	受付カウンター、カウンター下収納、ポスト(前入後出)、	○	○
			下地フリーアクセスフロア　(防塵塗床仕上コンクリートの上)							ピクチャーレール　造り付棚		
	書庫		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	化粧石膏ボード9.5ｔ　全上	2,609			○
	応接室		タイルカーペット　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り　全上	2,600		○	○
	車庫		強化コンクリート金コテ	コンクリート打放し	押出し成形セメント板60ｔ　表し	押出し成形セメント板60ｔ　表し	塩ビ製	化粧石膏ボード9.5ｔ　全上	2,600	車止め(コンクリート二次製品)		
	男子更衣室	+200	ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	化粧石膏ボード9.5ｔ　全上	2,600	化粧洗面台、目隠しパーテーション、タオル掛け	○	○
	女子更衣室	+200	ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	化粧石膏ボード9.5ｔ　全上	2,600	化粧洗面台、目隠しパーテーション、タオル掛け	○	○
	倉庫		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	化粧石膏ボード9.5ｔ　全上	2,600			○
	湯沸室		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り　全上	2,600	流し台、コンロ台(ＩＨ)、吊戸棚、レンジフード、水切棚		○
					一部メラミン不燃化粧板3ｔ　下地　耐水構造用合板12ｔ							
	男子トイレ 男子洗面所		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ 小便器下：汚垂石	床シート巻上　H=100	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ 一部メラミン不燃化粧板3ｔ　下地　耐水構造用合板12ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	2,600	トイレブース、面台、手洗いカウンター、 腰掛便器(設備)、小便器(設備)、手洗器(設備)、鏡(設備)		ピクト
	女子トイレ 女子洗面所		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	床シート巻上　H=100	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	2,600	トイレブース、面台、手洗いカウンター、		ピクト
					一部メラミン不燃化粧板3ｔ　下地　耐水構造用合板12ｔ					腰掛便器(設備)、手洗器(設備)、鏡(設備)、ＳＫ(設備)		
	多目的トイレ		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	床シート巻上　H=100	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	2,600	オストメイト対応		ピクト
2	ホール		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	車いす用ガード巾木　H=300	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り	2,700	視覚障害者用サインタイル、手摺　　ガラス手摺	○	
				鉄骨丸柱:SUS-304 HL 1.5 H=300	一部外装用モザイクタイル　下地押し出し成型セメント板60ｔ	一部外装用モザイクタイル　下地押し出し成型セメント板60ｔ		階段裏:ケイカル板厚6ソコ目張り EP塗		消火器BOX(半埋込式)　露出鉄骨柱:30分耐火 耐火塗料塗		
	廊下		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り	2,700	防火戸上部取付下地に補強斜材を施工すること　消火器BOX(半埋込式)		
	中会議室		タイルカーペット　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り	2,700		○	○
	小会議室		タイルカーペット　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り	2,600		○	○
	休憩室		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り	2,640	上框(下地ブラ束　フクビ同等品)	○	○
		+200	畳敷き55ｔ一部フローリング15ｔ　下地　構造用合板12ｔ ネダ フォーム和室用130同等品	畳寄せ								
	押入(1)(2)		ラワン合板12ｔ床組共　下地コンクリート金コテ	雑巾ズリ	石膏ボード12.5ｔ　表し	石膏ボード12.5ｔ　表し	塩ビ製	石膏ボード9.5ｔ表し	2,390	中棚、枕棚		
	倉庫兼書庫		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	化粧石膏ボード9.5ｔ	2,600	タラップ		○
	湯沸室		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	2,600	流し台、コンロ台(ＩＨ)、吊戸棚、レンジフード、水切棚		○
					一部メラミン不燃化粧板3ｔ　下地　耐水構造用合板12ｔ							
	男子トイレ 男子洗面所		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ 小便器下：汚垂石	床シート巻上　H=100	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ 一部メラミン不燃化粧板3ｔ　下地　耐水構造用合板12ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	2,600	トイレブース、面台、手洗いカウンター、 腰掛便器(設備)、小便器(設備)、手洗器(設備)、鏡(設備)		ピクト
	女子トイレ 女子洗面所		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	床シート巻上　H=100	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	2,600	トイレブース、面台、手洗いカウンター、		ピクト
					一部メラミン不燃化粧板3ｔ　下地　耐水構造用合板12ｔ					2640		
3	ホール		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	車いす用ガード巾木　H=300	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り 吊りボルト振れ止め補強 水平補強	3,000	ピクチャーレール、視覚障害者用サインタイル、手摺		
	男子トイレ 男子洗面所		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ 小便器下：汚垂石	床シート巻上　H=100	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ 一部メラミン不燃化粧板3ｔ　下地　耐水構造用合板12ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	2,600	トイレブース、面台、手洗いカウンター、ＳＫ(設備) 腰掛便器(設備)、小便器(設備)、手洗器(設備)、鏡(設備)		ピクト
	女子トイレ 女子洗面所		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	床シート巻上　H=100	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	2,600	トイレブース、面台、手洗いカウンター、		ピクト
					一部メラミン不燃化粧板3ｔ　下地　耐水構造用合板12ｔ					腰掛便器(設備)、手洗器(設備)、大型鏡(設備)		
	大会議室		タイルカーペット　下地コンクリート金コテ	木製CL　H=60	吸音壁：不燃吸音繊物内装材30ｔ　下地　石膏ボード12.5ｔ (A通り壁のみ)	吸音壁：不燃吸音繊物内装材30ｔ　下地　石膏ボード12.5ｔ (A通り壁のみ)	塩ビ製	リブ付岩綿吸音板12ｔ　石膏ボード9.5t捨張り	3,000	スクリーンボード 移動間仕切り(上部取付吊り補強材)	電動遮光ブラインド	○
					ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り		岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り　耐震天井		消火器BOX(半埋込式)		
	ホワイエ		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	車いす用ガード巾木　H=300	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り 吊りボルト振れ止め補強 水平補強	3,000	防火戸上部取付下地に補強斜材を施工すること（耐火間仕切り屋根まで） 屋内消火栓　消火器(半埋込式) ピクチャーレール、手摺		
	多目的トイレ		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	床シート巻上　H=100	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	メラミン不燃化粧板3ｔ　下地シージングボード9.5ｔ	塩ビ製	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	2,600	オストメイト対応		
	倉庫		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	ソフト巾木　H=60	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	化粧石膏ボード9.5ｔ	2,600			
	渡り廊下		ビニル床シート2.0ｔ　下地コンクリート金コテ	車いす用ガード巾木　H=300	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	ビニルクロス　下地　石膏ボード12.5ｔ　２重張り	塩ビ製	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り	2,500	手摺、柱：30分耐火　耐火塗料		
					戸袋壁のみ石膏ボードt=12.5 UL工法　素地							
1 2 3	階段		ビニル床シート2.0ｔ　下地モルタル金コテ	側桁ＳＯＰ	手摺：SOP　笠木：樹脂製	――――	――――	――――	3,000(3階)	ゴム付きノンスリップ　ＳＵＳ製、階表示サイン		
	ＥＶ		コンクリートコテ押エ 浸透性防水処理		耐火区画					音声案内、各階案内板　機械室レス		
			15人乗り　寝台タイプ									

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名　宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業
（管理棟外付属棟建設工事）

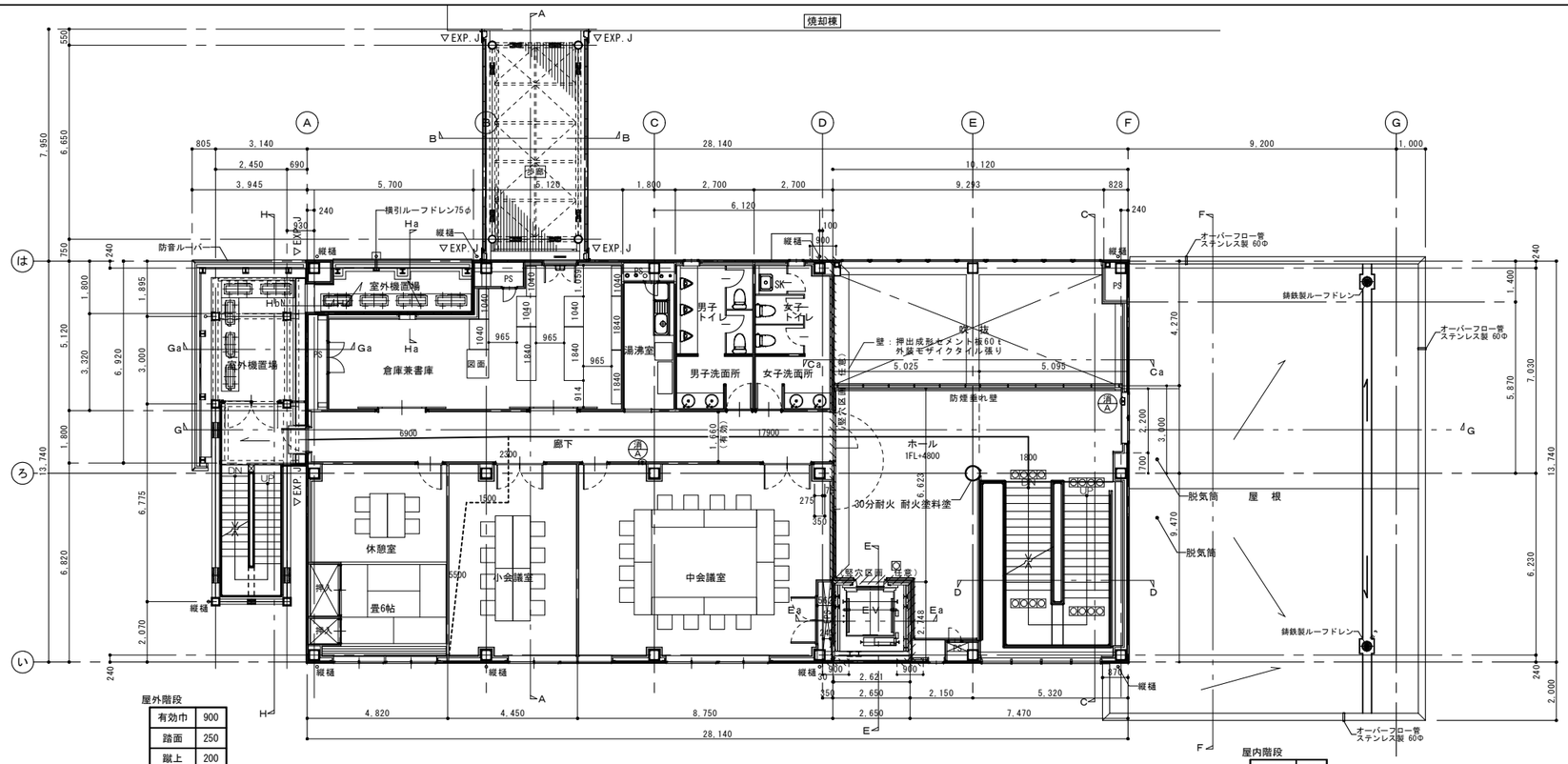
名称　管理棟
内部仕上表

検図	尺度	単位

検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A012

認印

2 階 平 面 図　1/100



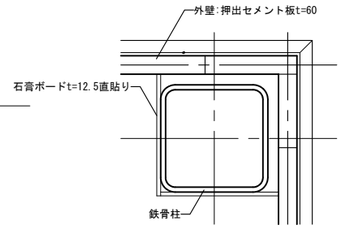
歩行距離、重複距離検討表

階	各検討室	計 算 式	合計(m)
2	小会議室から屋内階段	5.5+1.5+2.3+17.9+1.8	29.0
	小会議室から屋外階段	5.5+1.5+2.3+6.9	16.2
	重複距離	5.5+1.5+2.3	9.3

〈凡例〉

——— 歩行距離を示す。

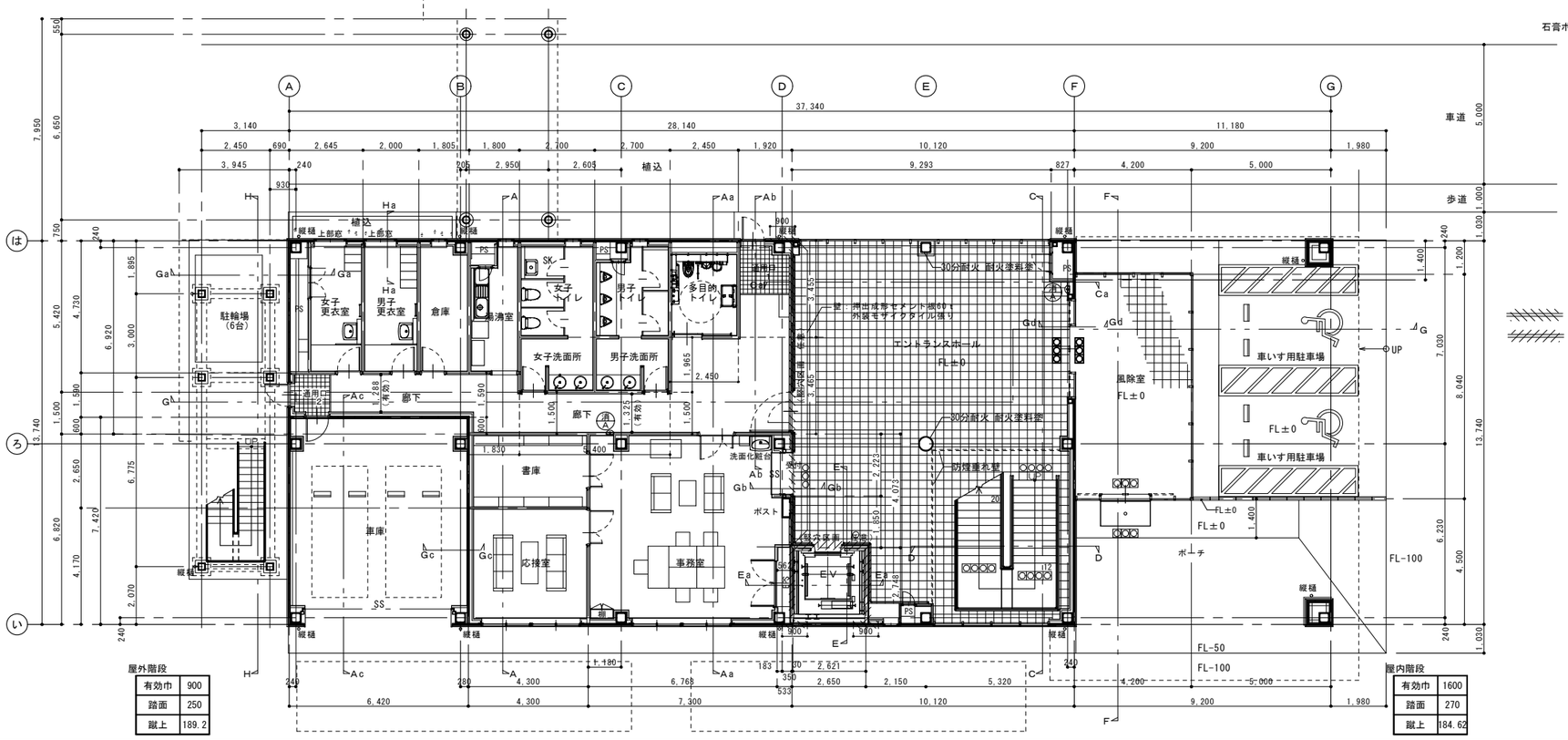
- - - - - 重複距離を示す。



各 階 共 通 納 ま り 図　1/10

建築基準法施行令第70条による
鉄骨柱の施工方法
独立柱の場合は、4方被覆のこと

1 階 平 面 図　1/100



防火区画：1時間耐火仕切り（押し出し成型セメント板60ｔ）

防火区画：1時間耐火仕切り（LGS100　強化石膏ボードF21.0ｔ２重張り片面）

消 A　消火器

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

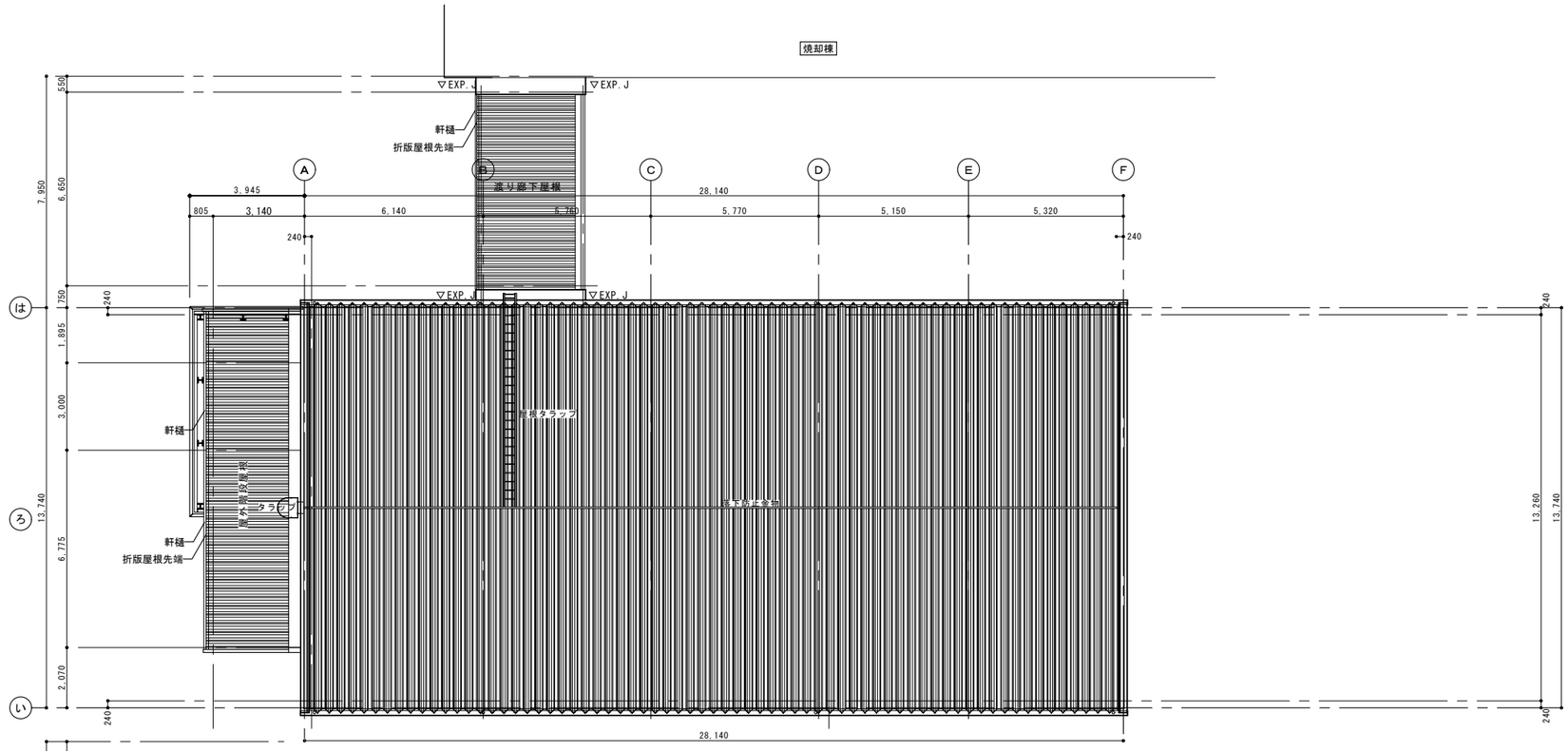
工事名　宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）

名称　管理棟　1，2階平面図

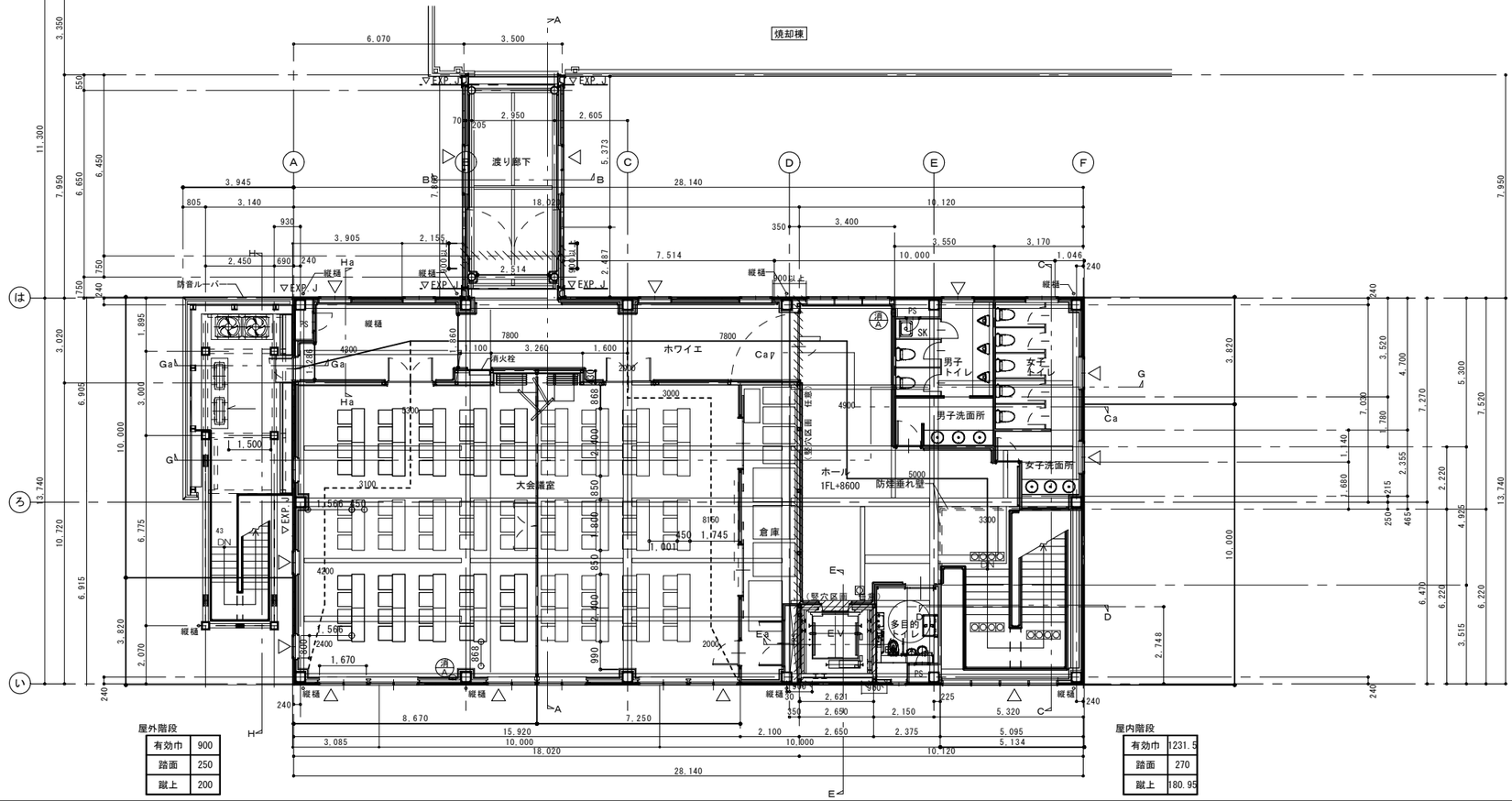
検図	検図	尺度	A1=1:100 A3=1:200	単位
検図	検図	完成	令和４年５月３１日	
設計	製図	図番	N52-KA-13-A013	

DWNo.

屋根伏図　1/100



3階平面図　1/100



歩行距離、重複距離検討表

階	各検討室	計　算　式	合計(m)
3	大会議室から屋内階段	2.4+4.2+3.1+5.3+16+4.9+5+3.3	44.2
	大会議室から屋外階段	2.4+4.2+3.1+5.3+4.3	19.3
	重複距離	2.4+4.2+3.1+5.3	15

〈凡例〉

歩行距離を示す。

重複距離を示す。

防火区画：１時間耐火仕切り（LGS100　強化石膏ボード12.5ｔ２重張り両面）

防火区画：１時間耐火仕切り（LGS100　強化石膏ボード21.0ｔ２重張り片面）

△　非常用進入口に代わる窓

消火器

屋外階段

有効巾	900
踏面	250
蹴上	200

屋内階段

有効巾	1231.5
踏面	270
蹴上	180.95

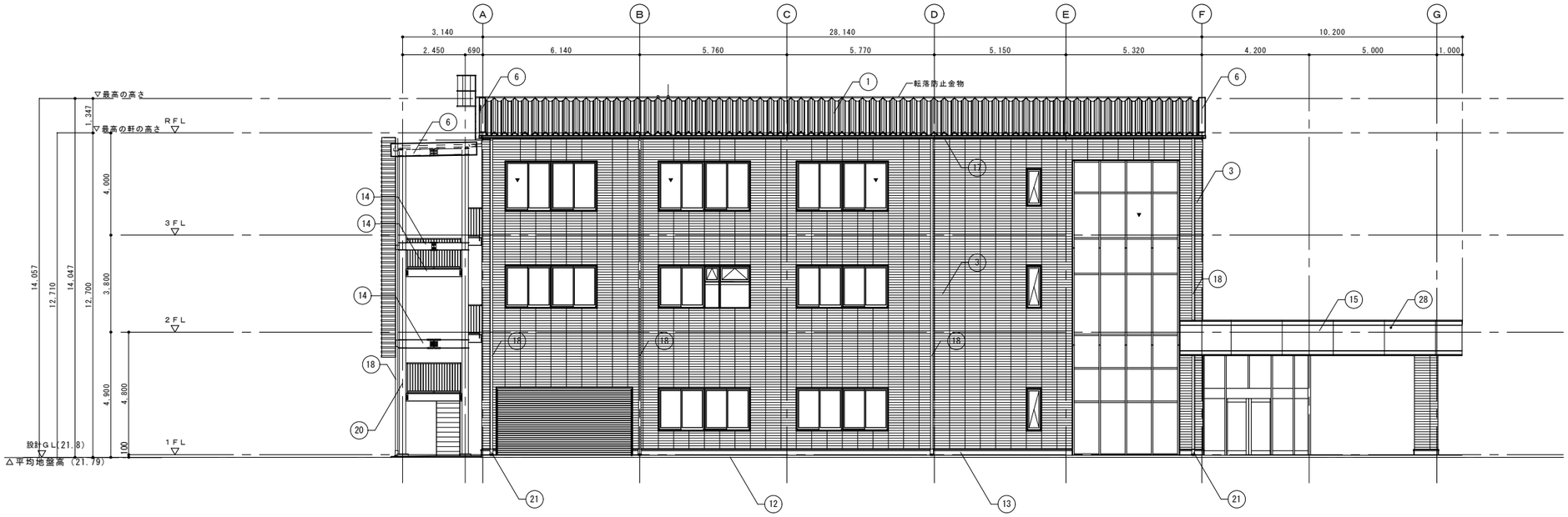
(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名　宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）

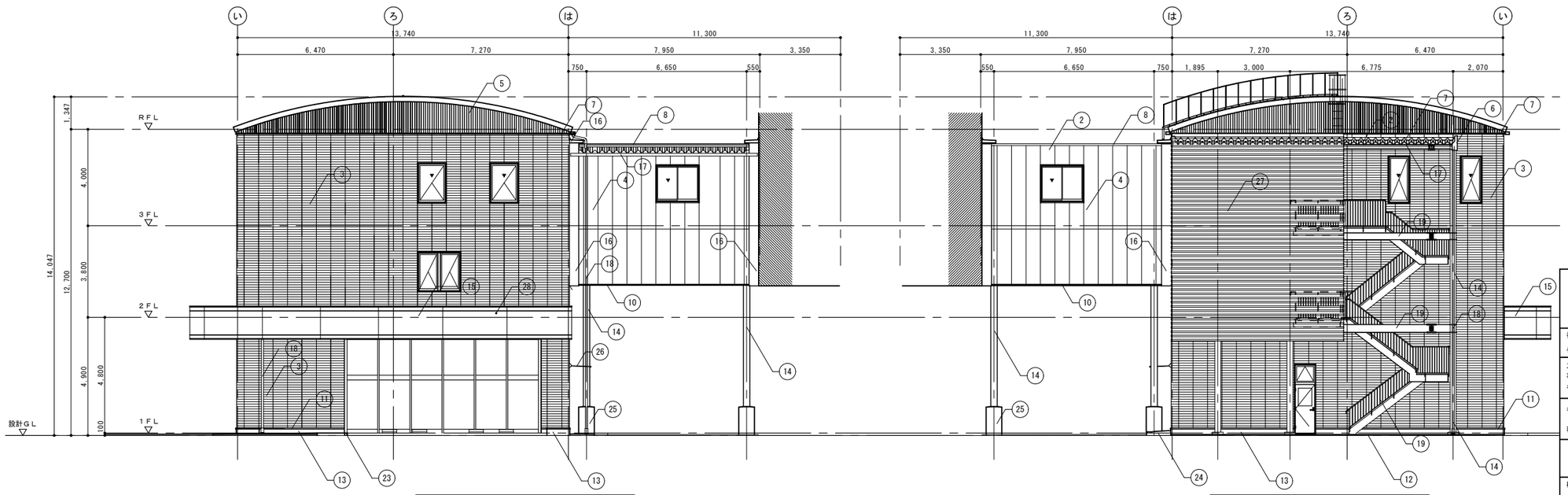
名称　管理棟　３階平面図　屋根伏図

	検図	尺度 A1=1:100 A3=1:200	単位
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A014
DWNo.			



西 立 面 図　　S=1/100

記号	仕上げ(部品名)	記号	仕上げ(部品名)	記号	仕上げ(部品名)	記号	仕上げ(部品名)
①	カラーガルバリウム鋼板0.8ｔ　折板108山　ハゼ　R加工 裏張り　ガラス繊維フェルト5ｔ	⑧	アルミ笠木　W=135	⑮	フッ素焼付塗装　アルミ2.0ｔパネル加工 （パネル裏　結露防止発泡ウレタン吹付）	㉒	
②	屋根:カラーガルバリウム鋼板0.8ｔ　折板90山　ハゼ 裏張り　ガラス繊維フェルト5ｔ	⑨	中止	⑯	エキスパンションジョイントカバー:ステンレス製	㉓	地先境界ブロック
③	外装用モザイクタイル貼 下地 押出し成形セメント板60ｔ	⑩	アルミ製下端水切	⑰	軒樋:ガルバリウム製大型軒樋	㉔	縁石:片面歩車道境界ブロック(A種)
④	複層塗材E吹付 ALCt=100 下地	⑪	外水切プレート（SUS304厚1.0）	⑱	竪樋:ガルバリウム製　90φ	㉕	コンクリート巻き 450φ H=1200
⑤	大型リブ形状スパンドレル 0.5ｔ縦張り	⑫	外周部土間:コンクリート金コテ押エ	⑲	鋼材部:溶融亜鉛メッキ処理	㉖	庇:アルミ製軽量ユニット庇　(株)ツヅキ　グロンダート Tシリーズ　同等品
⑥	ケラバ包み:ガルバリウム鋼板t=0.8	⑬	コンクリート打放し	⑳	竪樋:ガルバリウム製　75φ	㉗	防音ルーバー
⑦	水切:ガルバリウム鋼板t=0.6	⑭	外部鉄骨柱：セラミック系吹付材20ｔによる被覆の上屋外用吹付塗料	㉑	最下部接続部:排水カバー付	㉘	オーバーフロー管



南 立 面 図　　S=1/100

北 立 面 図　　S=1/100

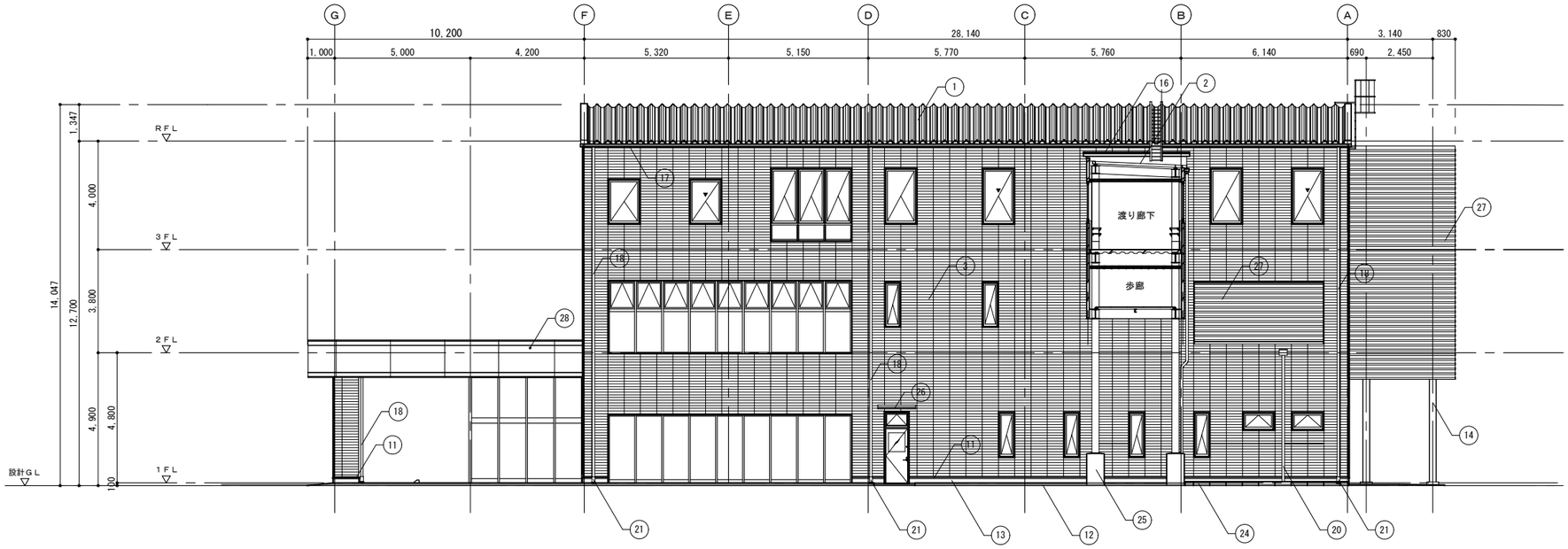
(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名　宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業
（管理棟外付属棟建設工事）

名称　管理棟
西、南、北立面図

	検図	尺度	A1=1:100 A3=1:200
単位			
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A015
DWNo.			



東立面図　　S=1/100

記号	仕上げ(部品名)	記号	仕上げ(部品名)	記号	仕上げ(部品名)	記号	仕上げ(部品名)
①	カラーガルバリウム鋼板0.8ｔ　折板108山　ハゼ　R加工 裏張り　ガラス繊維フェルト5ｔ	⑧	アルミ笠木　W=135	⑮	フッ素焼付塗装　アルミ2.0ｔパネル加工 （パネル裏　結露防止発泡ウレタン吹付）	㉒	欠番
②	屋根:カラーガルバリウム鋼板0.8ｔ　折板90山　ハゼ 裏張り　ガラス繊維フェルト5ｔ	⑨	中止	⑯	エキスパンションジョイントカバー:ステンレス製	㉓	地先境界ブロック
③	外装用モザイクタイル貼 下地 押出し成形セメント板60ｔ	⑩	アルミ製下端水切	⑰	軒樋:ガルバリウム製大型軒樋	㉔	縁石:片面歩車道境界ブロック(A種)
④	複層塗材E吹付 ALCt=100 下地	⑪	外水切プレート（SUS304厚1.0）	⑱	竪樋:ガルバリウム製　90φ	㉕	コンクリート巻き 450φ H=1200
⑤	大型リブ形状スパンドレル 0.6ｔ縦張り	⑫	外周部土間:コンクリート金コテ押エ	⑲	鋼材部:溶融亜鉛メッキ処理	㉖	庇:アルミ製軽量ユニット庇　(株)ツヅキ　グロンダート Tシリーズ　同等品
⑥	ケラバ包み:ガルバリウム鋼板t=0.8	⑬	コンクリート打放し	⑳	竪樋:ガルバリウム製　75φ	㉗	防音ルーバー
⑦	水切:ガルバリウム鋼板t=0.6	⑭	外部鉄骨柱：セラミック系吹付材20ｔによる被覆の上屋外用吹付塗料	㉑	最下部接続部:排水カバー付	㉘	オーバーフロー管

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

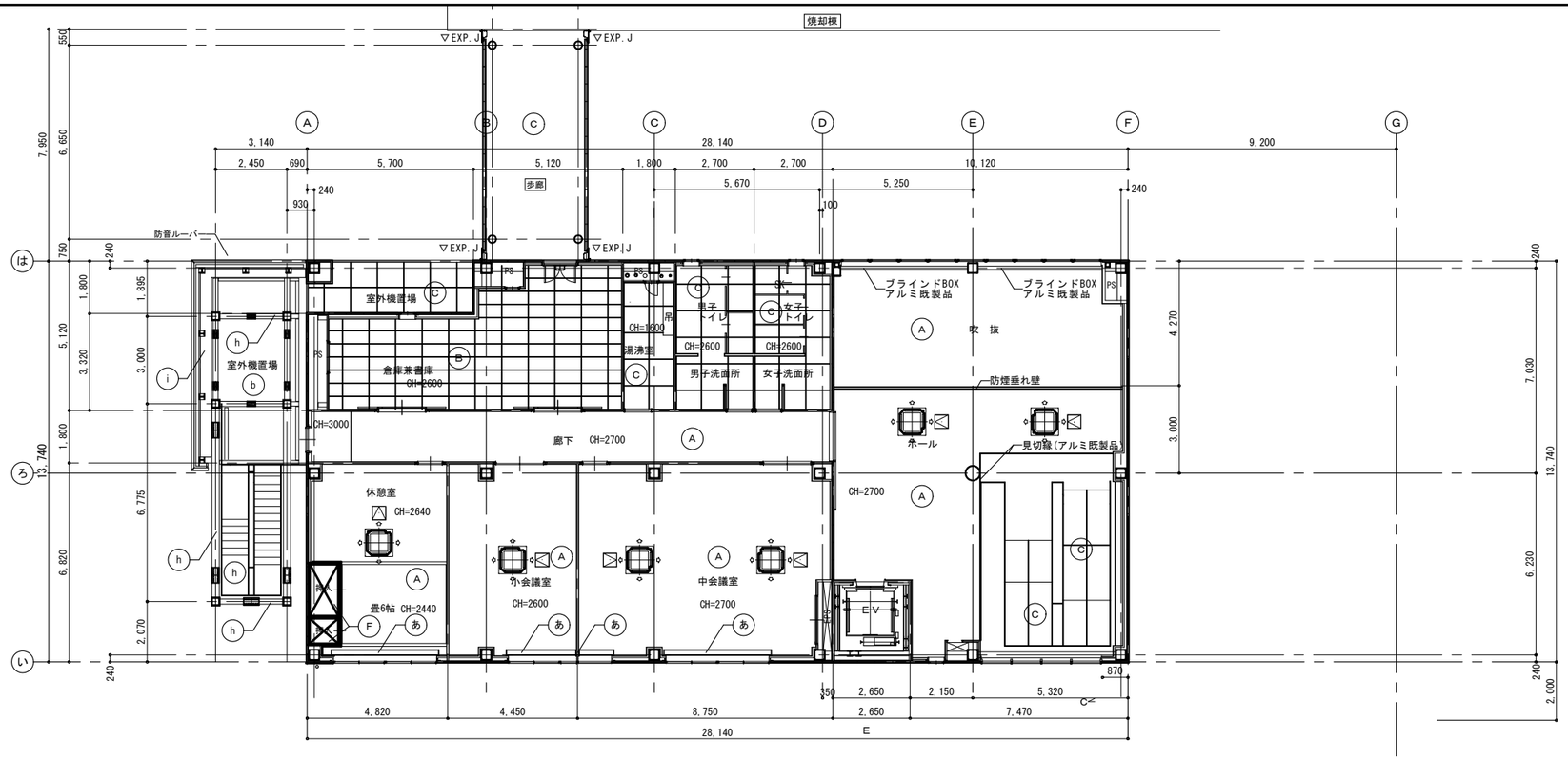
番号	品名	材質	数量	摘要

工事名　宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）

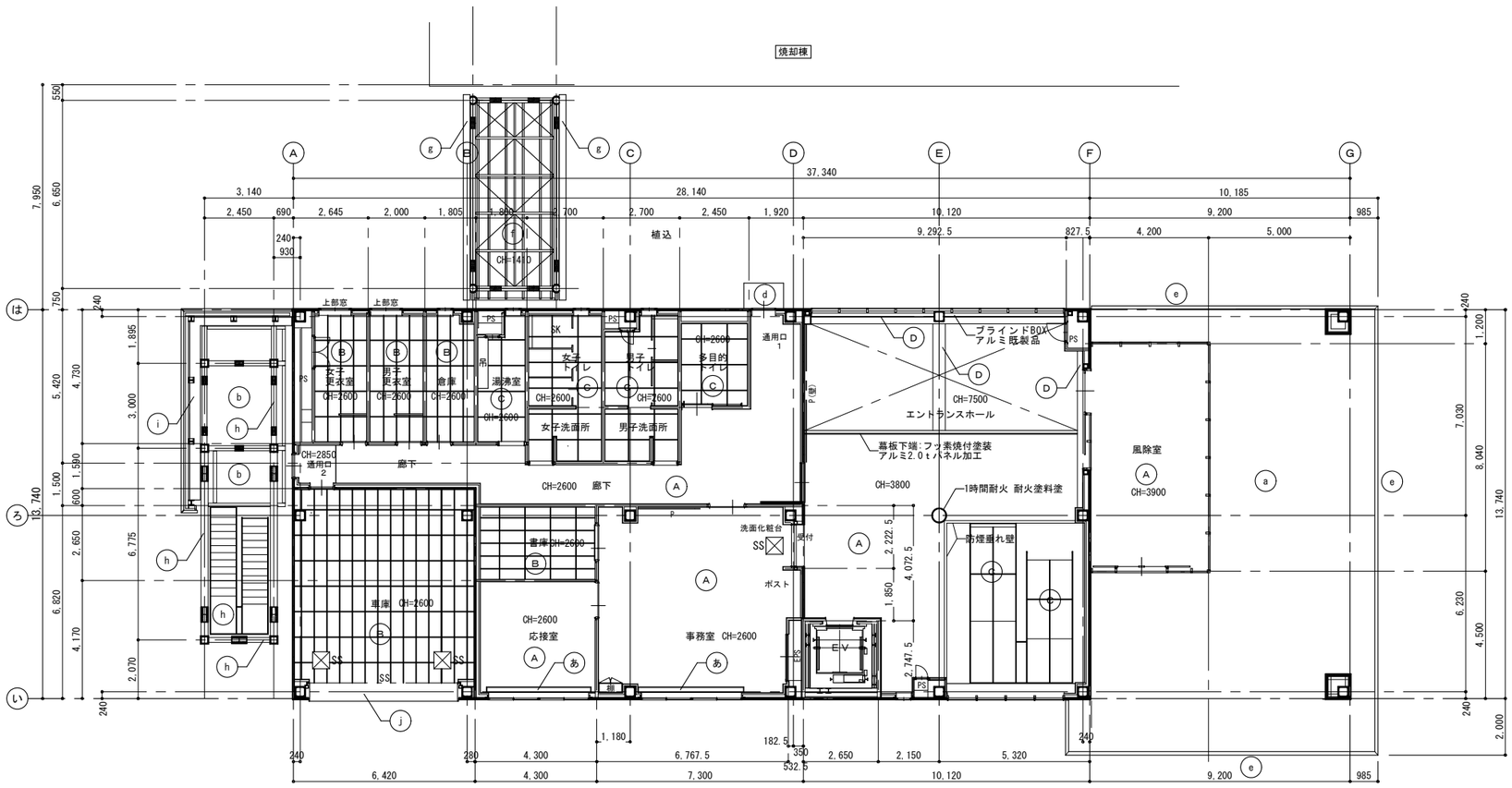
名称　管理棟
東立面図

	検図	尺度	A1=1:100 A3=1:200
単位			
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A016
DWNo.			

２階天井伏図　1/100



１階天井伏図　1/100



外部仕上凡例

記号	仕上
a	岩綿吸音板9ｔ（軒天用）　捨て貼りPB9.5ｔ 耐風圧天井下地
b	デッキプレート下端 溶融亜鉛メッキ処理
c	折板90山　ハゼ 裏張り　ガラス繊維フェルト5ｔ
d	アルミ製軽量ユニット庇
e	笠木下端:フッ素焼付塗装 アルミ2.0ｔパネル加工（パネル裏　結露防止発泡ウレタン吹付）
f	床用グレーチング　亜鉛メッキ処理品
g	下端水切:アルミパネルt=2.0 曲げ加工
h	鋼材:亜鉛メッキ処理
i	チェッカーPL-4.5 溶融亜鉛メッキ処理
j	ステンレス３方枠 曲げ加工

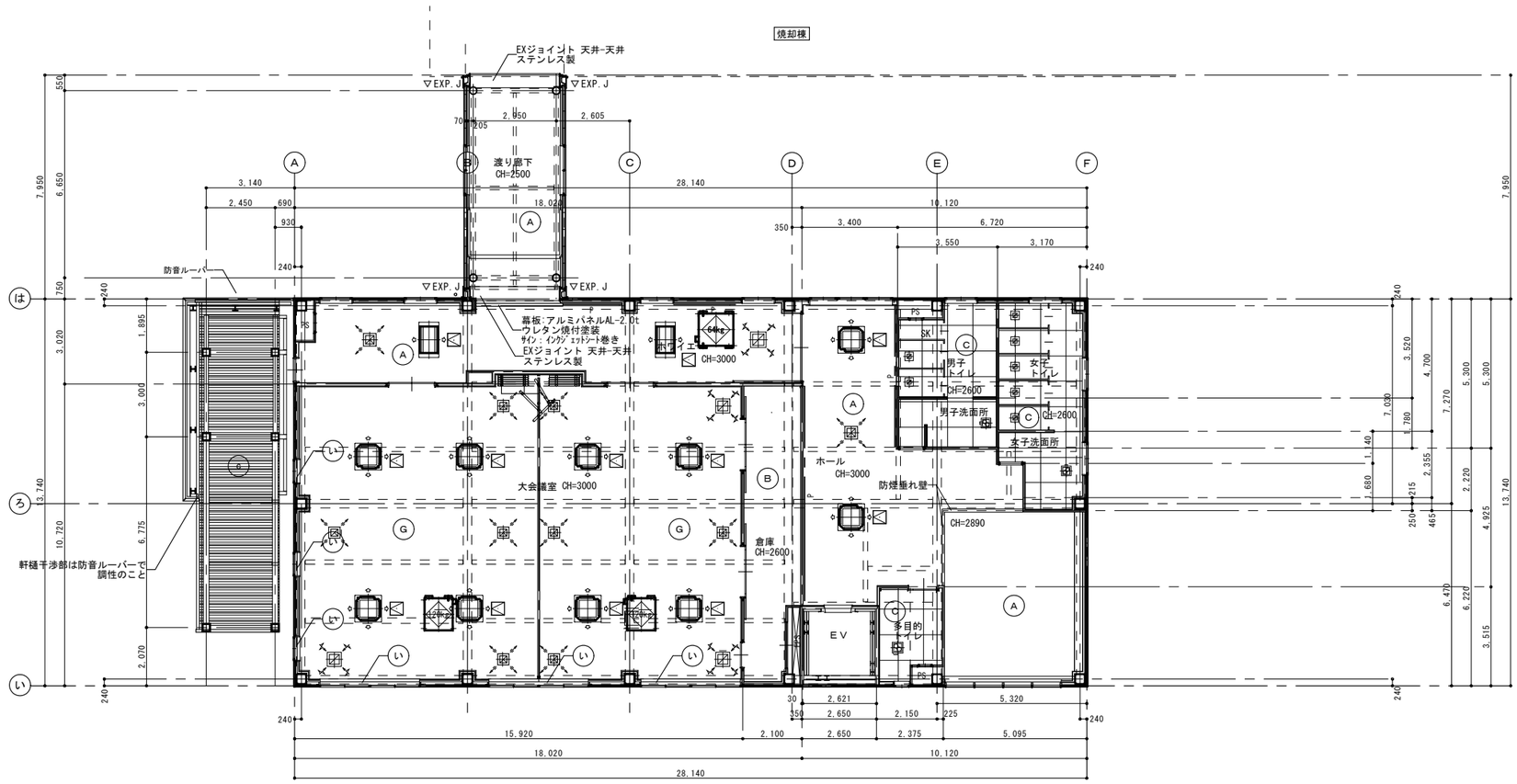
内部仕上凡例

記号	仕上	
A	岩綿吸音板9ｔ　石膏ボード9.5t捨張り	不燃
B	化粧石膏ボード9.5ｔ	不燃
C	ＥＰ仕上　下地ケイカル板6ｔ　底目張り	不燃
D	ビニルクロス　下地　石膏ボード9.5ｔ　or 12.5t	不燃
E	LGS下地　GB-R　t=12.5の上 ビニルクロス張り	不燃
F	石膏ボード9.5ｔ表し	不燃
G	リブ付岩綿吸音板12ｔ　石膏ボード9.5t捨張り	不燃
あ	ブラインドBOX	
い	スチール製電動ブラインドBOX	
吊	吊戸棚を示す	
P	ピクチャーレール(天井取付)	
P(壁)	ピクチャーレール(壁取付)	
SK	天井点検口(機械設備用) アルミ製 450×450程度	
SKE	天井点検口(電気設備用) アルミ製 450×450程度	
SKSS	天井点検口(電動シャッター用) アルミ製 600×600程度	

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）		
名称	管理棟 １，２階天井伏図		
	検図	尺度	A1=1:100 A3=1:200
単位			
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A017
DWNo.			



３階天井伏図 1/100

外部仕上凡例

記号	仕上
a	岩綿吸音板9ｔ（軒天用） 捨て貼りPB9.5ｔ 耐風圧天井下地
b	デッキプレート下端 溶融亜鉛メッキ処理
c	折板90山 ハゼ 裏張り ガラス繊維フェルト5ｔ
d	アルミ製軽量ユニット庇
e	笠木下端:フッ素焼付塗装 アルミ2.0ｔパネル加工（パネル裏 結露防止発泡ウレタン吹付）
f	床用グレーチング 亜鉛メッキ処理品
g	下端水切:アルミパネルt=2.0 曲げ加工
h	鋼材:亜鉛メッキ処理
i	チェッカーPL-4.5 溶融亜鉛メッキ処理
j	アルミパネルt=2.0 曲げ加工

内部仕上凡例

記号	仕上	
A	岩綿吸音板9ｔ 石膏ボード9.5t捨張り	不燃
B	化粧石膏ボード9.5ｔ	不燃
C	ＥＰ仕上 下地ケイカル板6ｔ 底目張り	不燃
D	ビニルクロス 下地 石膏ボード9.5ｔ or 12.5t	不燃
E	LGS下地 GB-R t=12.5の上 ビニルクロス張り	不燃
F	石膏ボード9.5ｔ表し	不燃
G	リブ付岩綿吸音板12ｔ 石膏ボード9.5t捨張り	不燃
あ	ブラインドBOX	
い	スチール製電動ブラインドBOX	
吊	吊戸棚を示す	
P	ピクチャーレール(天井取付)	
P(壁)	ピクチャーレール(壁取付)	
	天井点検口(機械設備用) アルミ製 450×450程度	
E	天井点検口(電気設備用) アルミ製 450×450程度	
SS	天井点検口(電動シャッター用) アルミ製 600×600程度	

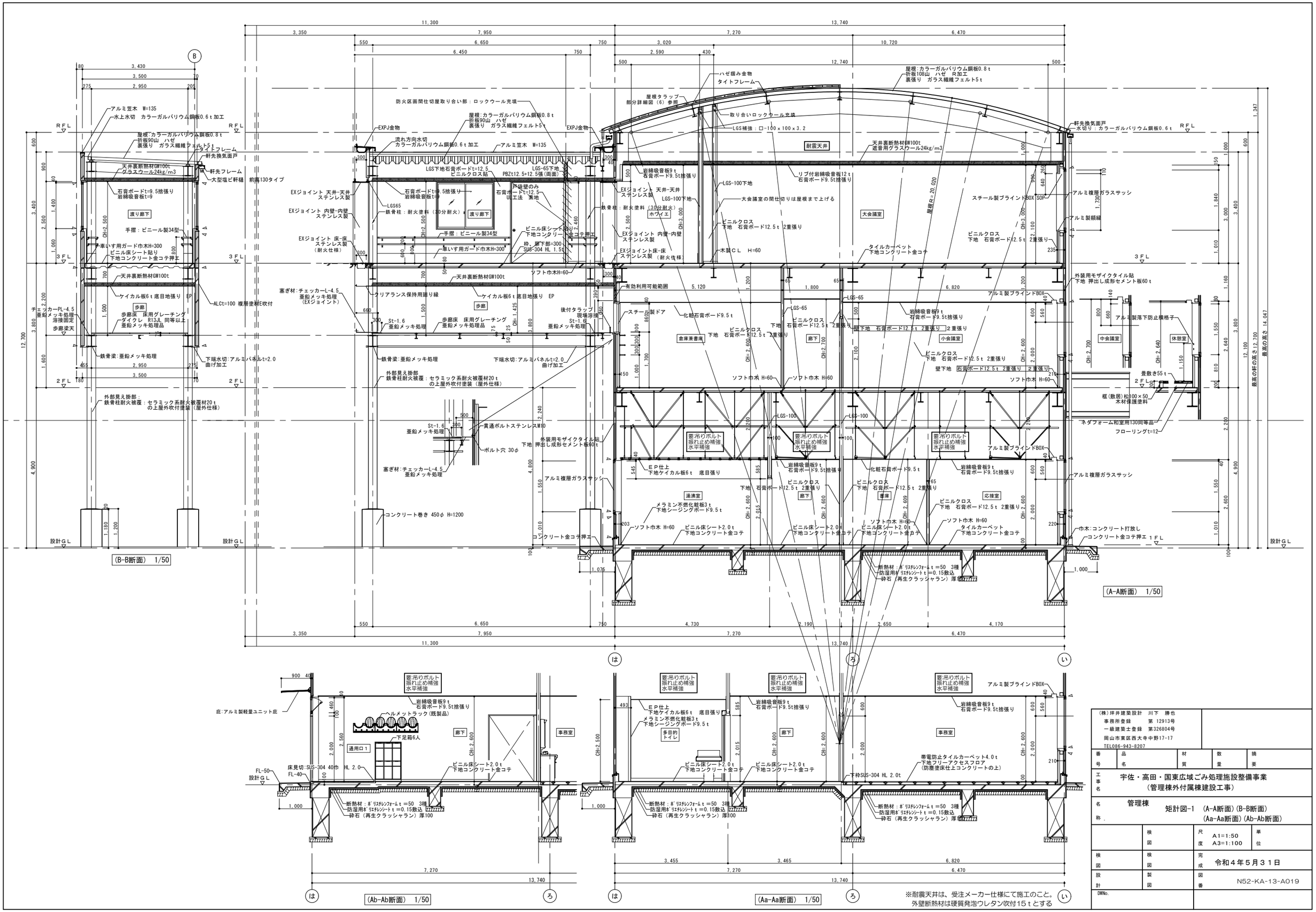
(株)坪井建築設計 川下 勝也
事務所登録 第 12913号
一級建築士登録 第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名: 宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）

名称: 管理棟 ３階天井伏図

	検図	尺度 A1=1:100 A3=1:200	単位
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A018
DWNo.			



(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

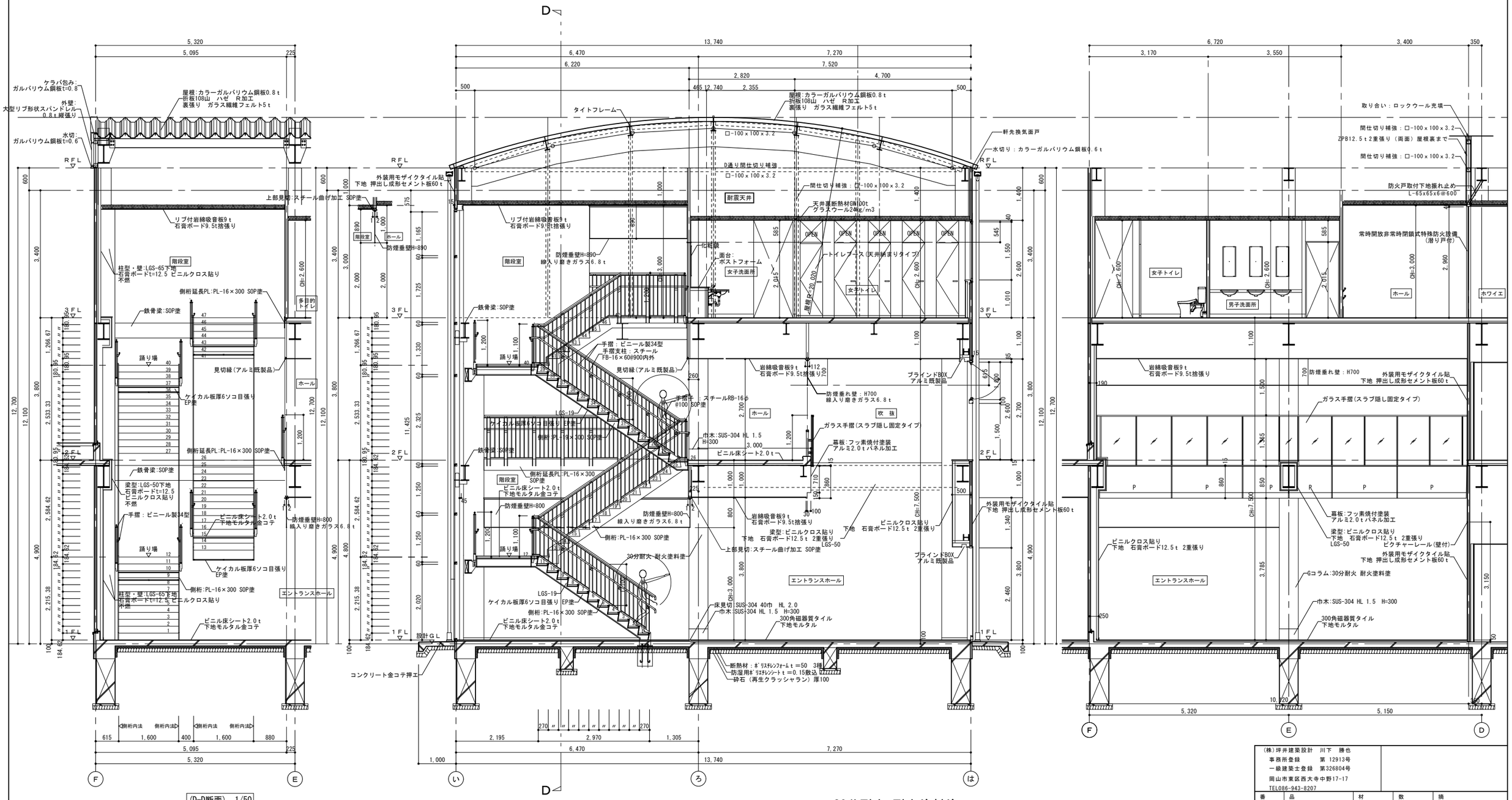
番号	品名	材質	数量	摘要

工事名：宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業
（管理棟外付属棟建設工事）

名称：管理棟　矩計図-1　(A-A断面)(B-B断面)
(Aa-Aa断面)(Ab-Ab断面)

	検図	尺度	A1=1:50 A3=1:100
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A019

DWNo.



(D-D断面)　1/50

(C-C断面)　1/50

30分耐火 耐火塗料塗

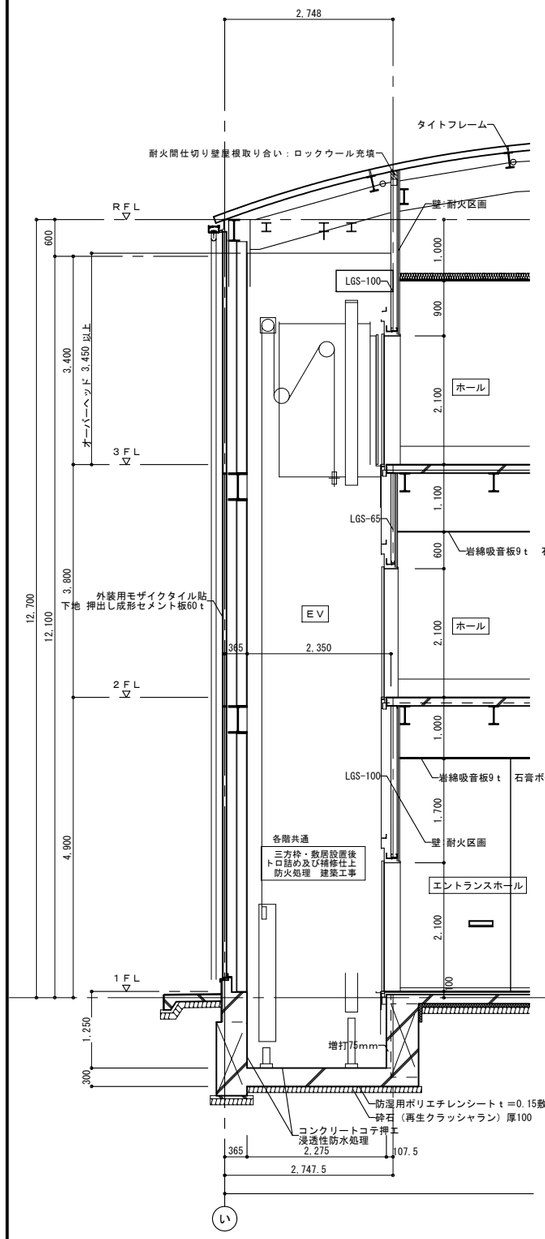
(Ca-Ca断面)　1/50

外壁断熱材は硬質発泡ウレタン吹付15tとする

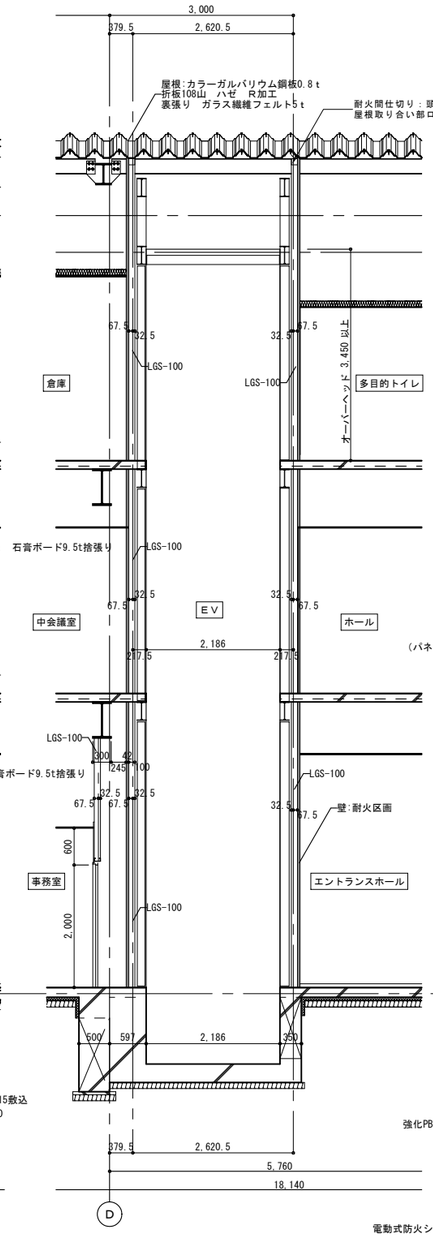
(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

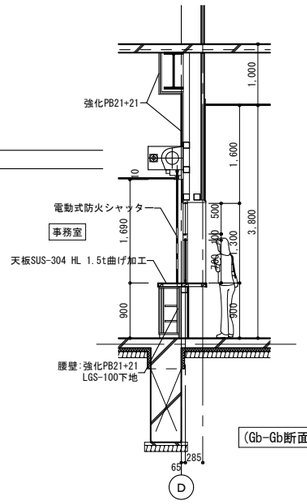
工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）
名称	管理棟　矩計図-2　(C-C断面)(D-D断面) (Ca-Ca断面)
検図	
尺度	A1＝1:50 A3＝1:100
単位	
検図	
検図	
完成	令和４年５月３１日
設計	
製図	
図番	N52-KA-13-A020
DWNo.	



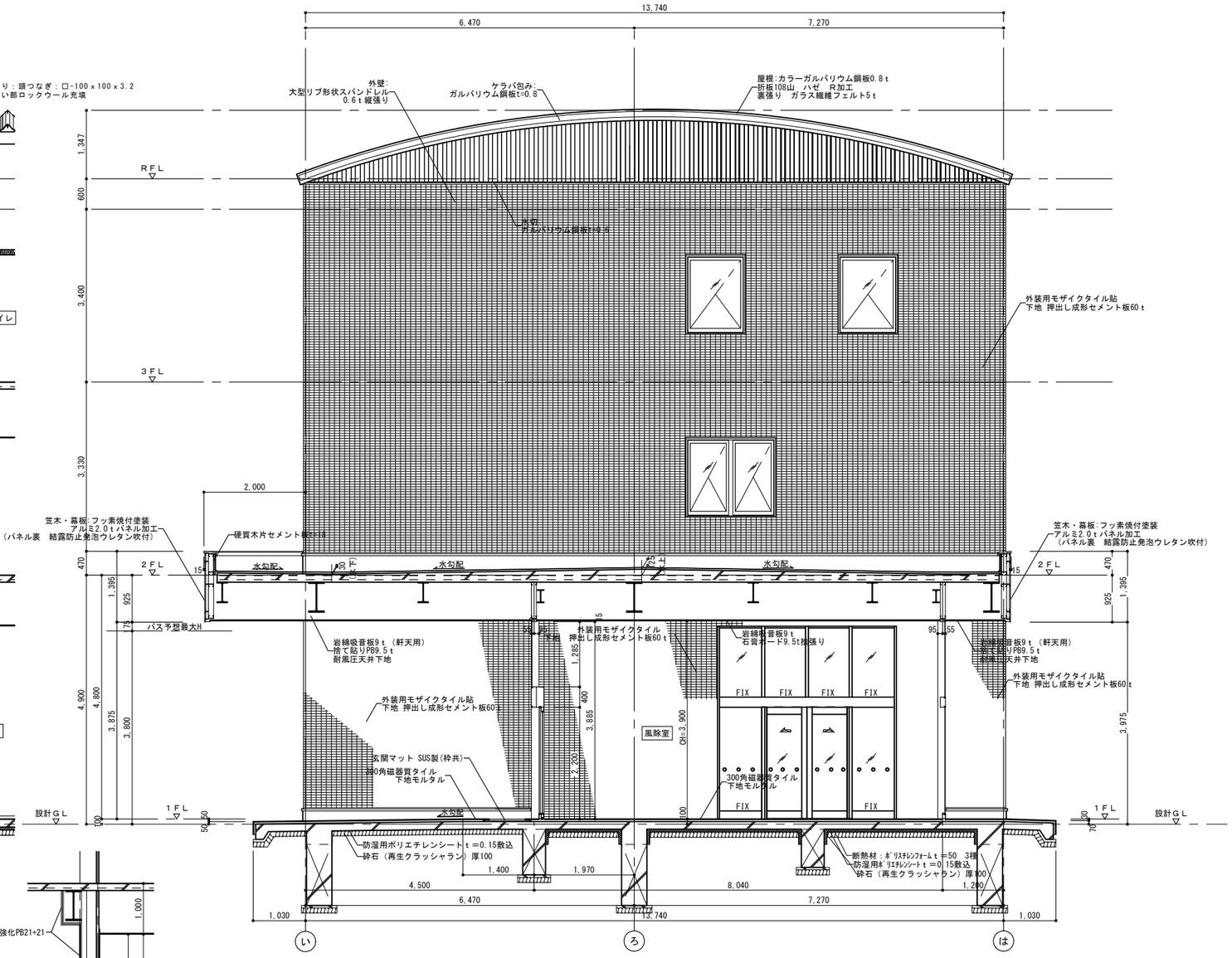
(E-E断面) 1/50



(Ea-Ea断面) 1/50



(Gb-Gb断面) 1/50



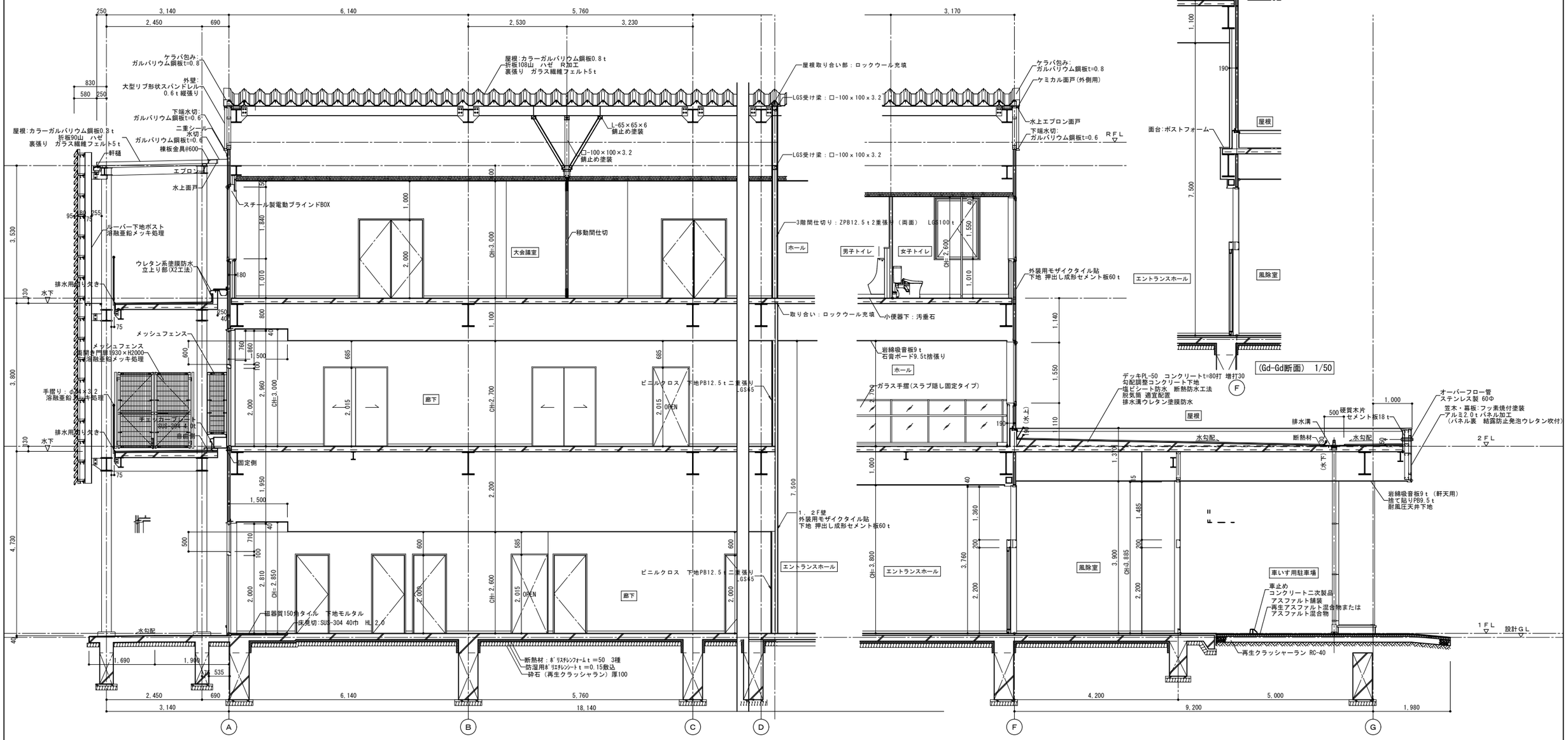
(F-F断面) 1/50

外壁断熱材は硬質発泡ウレタン吹付15ｔとする

(株)坪井建築設計 川下 勝也
事務所登録 第 12913号
一級建築士登録 第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）		
名称	管理棟 矩計図-3 (E-E断面)(F-F断面) (Ea-Ea断面) (Gb-Gb断面)		
	検図	尺度	A1=1:50 A3=1:100
単位			
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A021
DWNo.			



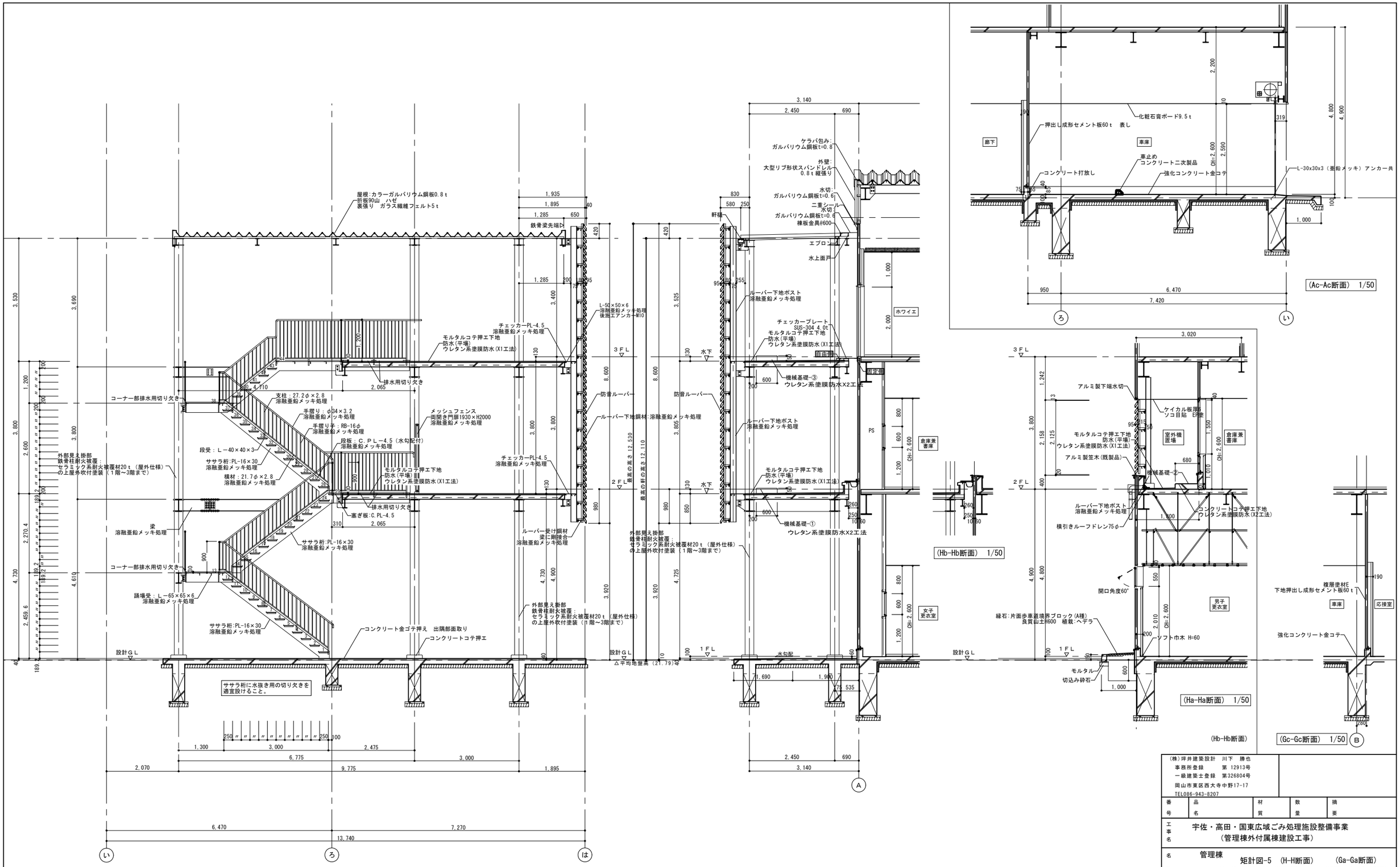
(G-G断面)　1/50

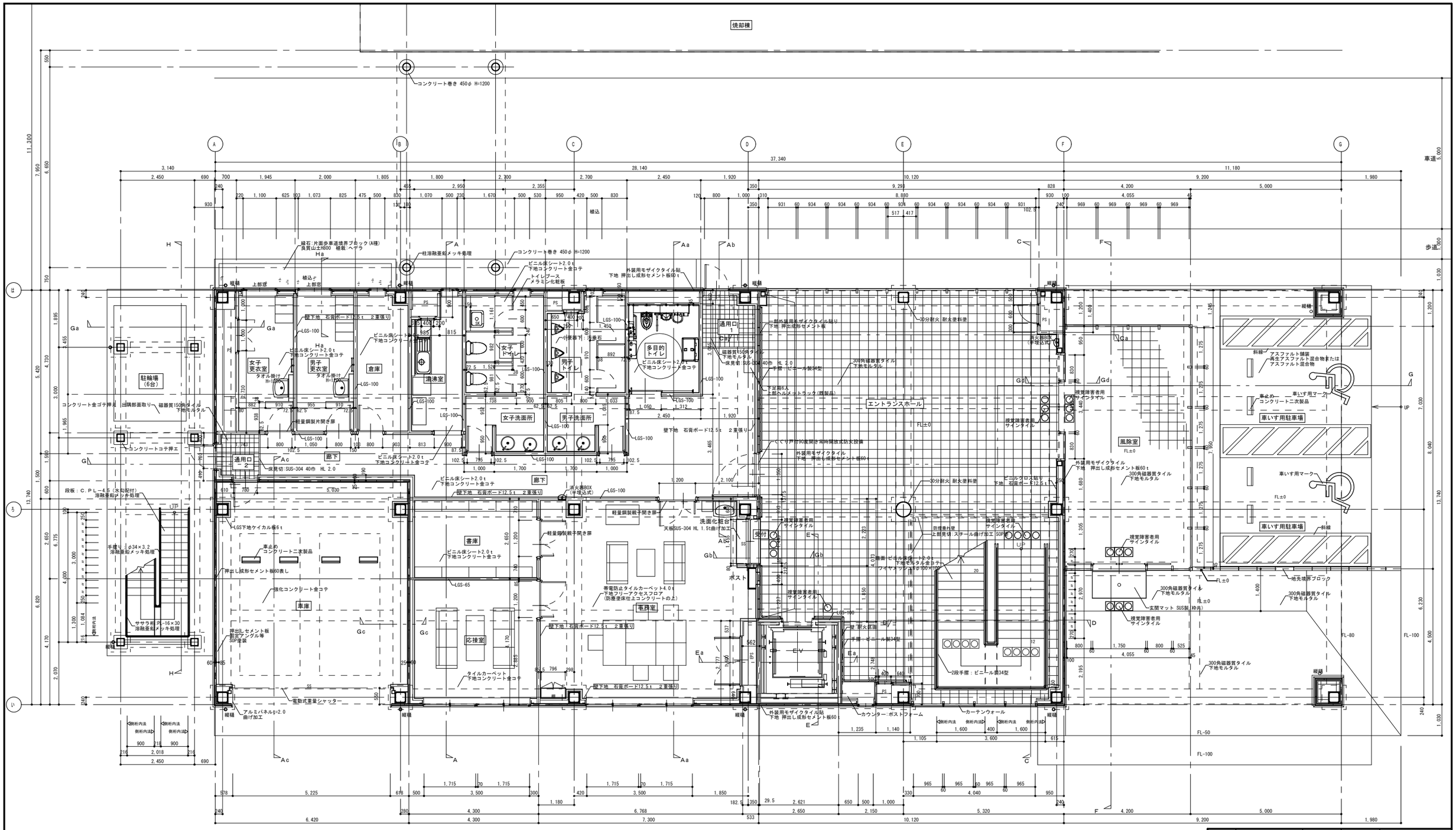
外壁断熱材は硬質発泡ウレタン吹付15ｔとする

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）		
名称	管理棟　矩計図-4　(G-G断面)(F-F断面) (Gd-Gd断面)		
	検図	尺度	A1=1:59 A3=1:100
単位			
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A022
DWNo.			


屋根:カラーガルバリウム鋼板0.8ｔ
折板90山　ハゼ
裏張り　ガラス繊維フェルト5ｔ
鉄骨梁先端R
L-50×50×6
溶融亜鉛メッキ処理
後挿エアンカーM10
チェッカーPL-4.5
溶融亜鉛メッキ処理
モルタルコテ押エ下地
防水(平場)
ウレタン系塗膜防水(X1工法)
排水用切り欠き
コーナー部排水用切り欠き
支柱：27.2φ×2.8
溶融亜鉛メッキ処理
手摺り：φ34×3.2
溶融亜鉛メッキ処理
手摺り子：RB-16φ
溶融亜鉛メッキ処理
メッシュフェンス
両開き門扉1930×H2000
溶融亜鉛メッキ処理
段受：Ｌ－40×40×3
段板：Ｃ．ＰＬ－4.5（水勾配付）
溶融亜鉛メッキ処理
ササラ桁:PL-16×30
溶融亜鉛メッキ処理
横材：21.7φ×2.8
溶融亜鉛メッキ処理
外部見え掛部
鉄骨柱耐火被覆：
セラミック系耐火被覆材20ｔ（屋外仕様）
の上屋外吹付塗装（1階～3階まで）
塞ぎ板:C.PL-4.5
梁
溶融亜鉛メッキ処理
踊場受：Ｌ－65×65×6
溶融亜鉛メッキ処理
ササラ桁:PL-16×30
溶融亜鉛メッキ処理
コンクリート金ゴテ押え　出隅部面取り
コンクリートコテ押エ
ルーバー受け鋼材
梁に剛接合
溶融亜鉛メッキ処理
外部見え掛部
鉄骨柱耐火被覆：
セラミック系耐火被覆材20ｔ（屋外仕様）
の上屋外吹付塗装（1階～3階まで）
ササラ桁に水抜き用の切り欠きを
適宜設けること。
設計ＧＬ
△平均地盤高（21.79）
3ＦＬ
2ＦＬ
1ＦＬ
(H-H断面)　1/50
ケラバ包み:
ガルバリウム鋼板t=0.8
外壁:
大型リブ形状スパンドレル
0.8ｔ縦張り
水切:
ガルバリウム鋼板t=0.6
二重シール
水切:
ガルバリウム鋼板t=0.6
棟板金具#600
軒樋
エプロン
水上面戸
ルーバー下地ポスト
溶融亜鉛メッキ処理
チェッカープレート
SUS-304 4.0t
モルタルコテ押エ下地
防水(平場)
ウレタン系塗膜防水(X1工法)
機械基礎-③
ウレタン系塗膜防水X2工法
ルーバー下地ポスト
溶融亜鉛メッキ処理
モルタルコテ押エ下地
防水(平場)
ウレタン系塗膜防水(X1工法)
機械基礎-①
ウレタン系塗膜防水X2工法
防音ルーバー
ホワイエ
倉庫兼
書庫
女子
更衣室
(Ga-Ga断面)　1/50
押出し成形セメント板60ｔ　表し
化粧石膏ボード9.5ｔ
庇下
車庫
車止め
コンクリート二次製品
コンクリート打放し
強化コンクリート金コテ
L-30x30x3（亜鉛メッキ）アンカー共
(Ac-Ac断面)　1/50
アルミ製下端水切
ケイカル板厚8
ソコ目貼　EP塗
モルタルコテ押エ下地
防水(平場)
ウレタン系塗膜防水(X1工法)
アルミ製笠木(既製品)
室外機
置場
倉庫兼
書庫
機械基礎-②
ルーバー下地ポスト
溶融亜鉛メッキ処理
コンクリートコテ押エ下地
ウレタン系塗膜防水(X2工法)
横引きルーフドレン75φ
開口角度60°
男子
更衣室
緣石:片面歩車道境界ブロック(A種)
良質山土#600　植栽:ヘデラ
ソフト巾木 H=60
モルタル
切込み砕石
(Hb-Hb断面)　1/50
(Ha-Ha断面)　1/50
複層塗材E
下地押出し成形セメント板60ｔ
車庫
応接室
強化コンクリート金コテ
(Gc-Gc断面)　1/50
(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207
番号
品名
材質
数量
摘要
工事名
宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業
（管理棟外付属棟建設工事）
名称
管理棟
矩計図-5　(H-H断面)　(Ga-Ga断面)
(Ha-Ha断面)(Hb-Hb断面)(Ac-Ac断面)(Gc-Gc断面)
検図
尺度
A1=1:50
A3=1:190
単位
検図
検図
完成
令和４年５月３１日
設計
製図
図番
N52-KA-13-A023
DWNo.
外壁断熱材は硬質発泡ウレタン吹付15ｔとする



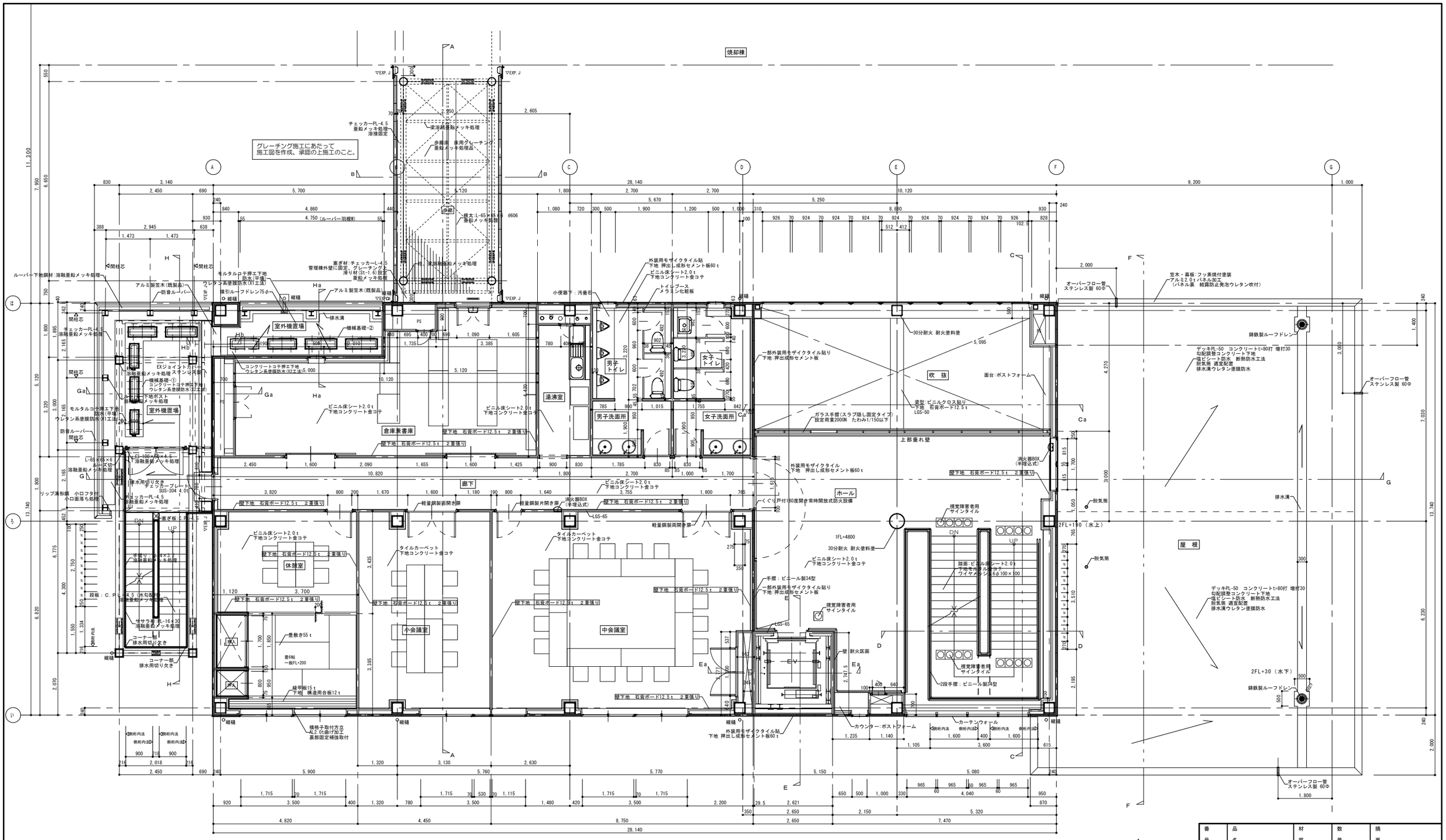
1階平面詳細図　1/60

外壁断熱材は硬質発泡ウレタン吹付15ｔとする

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要

工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業 （管理棟外付属棟建設工事）		
名称	管理棟 1階平面詳細図		
	検図	尺度	A1=1:60 A3=1:120
		単位	
検図	検図	完成	令和４年５月３１日
設計	製図	図番	N52-KA-13-A024
DWNo.			

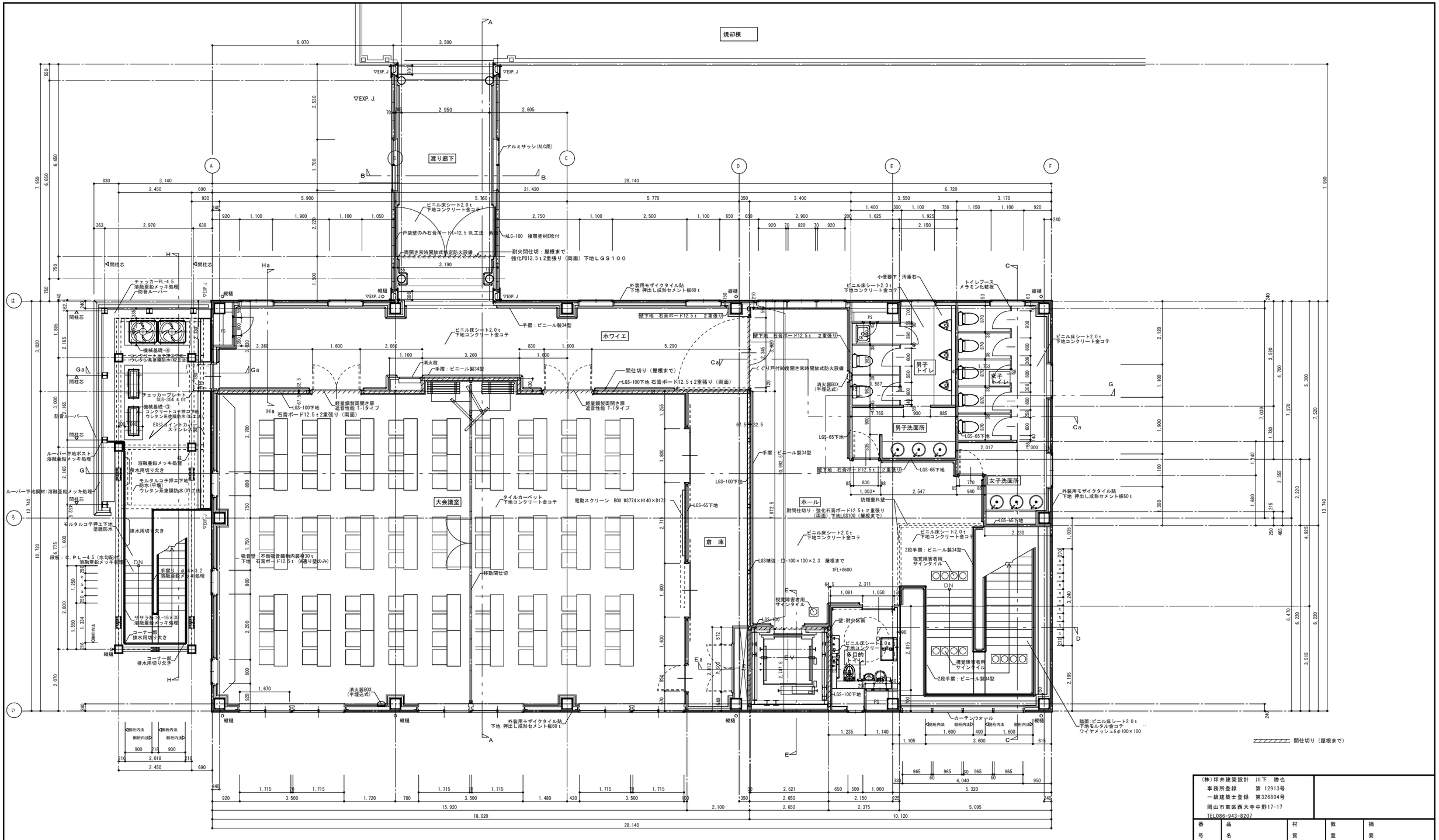


2階平面詳細図　1/60

外壁断熱材は硬質発泡ウレタン吹付15ｔとする

番号	品名	材質	数量	摘要
工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）			
名称	管理棟 2階平面詳細図			
	検図	尺度	A1=1:60 A3=1:120	単位
検図	検図	完成	令和４年５月３１日	
設計	製図	図番	N52-KA-13-A025	
DWNo.				

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207



3階平面詳細図　1/60

外壁断熱材は硬質発泡ウレタン吹付15ｔとする

(株)坪井建築設計　川下　勝也
事務所登録　第 12913号
一級建築士登録　第326804号
岡山市東区西大寺中野17-17
TEL086-943-8207

番号	品名	材質	数量	摘要
工事名	宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設整備事業（管理棟外付属棟建設工事）			
名称	管理棟 3階平面詳細図			
	検図	尺度	A1=1:60 A3=1:120	単位
検図	検図	完成	令和４年５月３１日	
設計	製図	図番	N52-KA-13-A026	
DWNo.				